

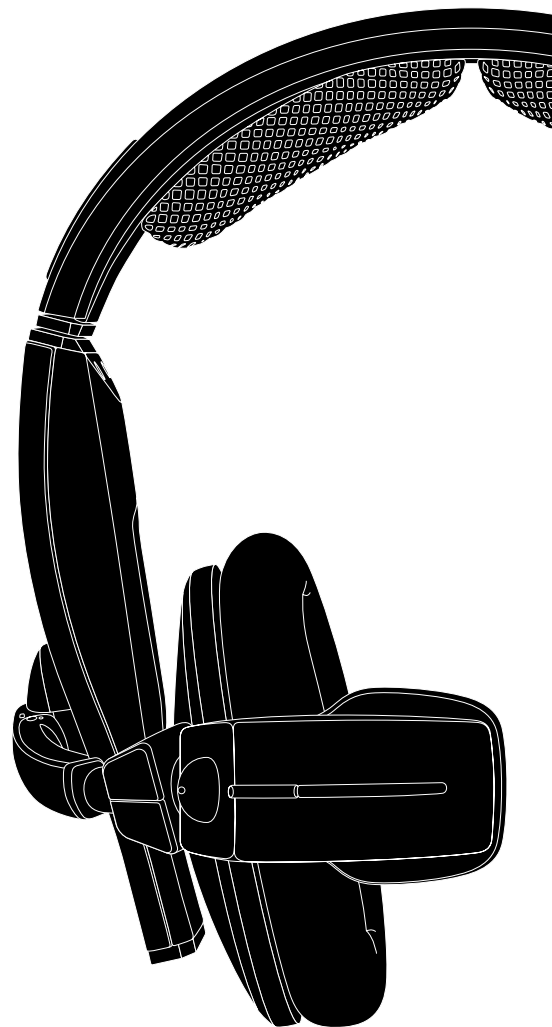
Nikon

メディア ポート UP300/UP300x

MEDIA PORT UP

UP300/UP300x

使用説明書



Jp

はじめに	第 1 章 : UP300/UP300x の装置方法	第 2 章 : 基本的な使用方法	第 3 章 : 動画を見る	第 4 章 : 音楽を聴く	第 5 章 : 写真を見る	第 6 章 : Web ページを閲覧する	第 7 章 : 外部再生機器と接続する	第 8 章 : 便利な機能
------	-------------------------------	---------------------	------------------	------------------	------------------	-------------------------	------------------------	------------------

はじめに

メディア ポート UP300/UP300x をお買い上げくださいます。誠にありがとうございます。お使いになる前に、この使用説明書をよくお読みになり、内容を十分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、動画や音楽を楽しむためにお役立てください。

ご注意

- 使用説明書の一部あるいは全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 使用説明書に記載されている内容は予告なしに変更されることがあります。
- 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 仕様、性能は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 本製品の不具合に起因する付随的損害（利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

表記について

- この使用説明書は、パソコンの OS に関する基礎的な知識をお持ちの方にお読みいただくことを想定しています。基本的な用語や操作などについてはパソコンの使用説明書などでご確認ください。
- Windows Vista 32bit 版のすべてのエディション (Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate) を「Windows Vista」と総称しています。
- Windows XP Home Edition と Windows XP Professional を「Windows XP」と総称しています。

使用説明書で使用する画面について

説明中では、Windows Vista Ultimate の画面を主に使用していますが、操作方法は Windows Vista/Windows XP ほぼ共通です。画面に表示されている画像ははめ込み合成によるものが含まれています。OS のバージョンの違いによって、画面の外観や操作が使用説明書に掲載されているものと一部異なる場合があります。OS 特有の操作や表示画面については、ご使用の OS の使用説明書をご覧ください。

目次

1/3

はじめに	i
目次	ii
安全上のご注意	v
電波に関するご注意	xi
お使いになる前に	xii
取り扱い上のご注意	xiii
本体の取り扱い上のご注意	xiii
電池の取り扱いについて	xiv
メディア ポート UP300/UP300x で できること	1
目的別かんたん検索	3
本体と付属品を確認する	5
各部の名称	6

第 1 章 : UP300/UP300x の 装着方法	7
バッテリーを充電する	8
バッテリーを入れる	9
電源を ON/OFF する	10
視聴する目を切り換える	11

視度を調節する	12
パスワードを設定する	13

第 2 章 : 基本的な使用方法..... 14

UP300/UP300x の基本画面	15
UP300/UP300x の基本操作	16
項目の選択	16
機能の実行	16
各メニューの表示方法	17
音量の調節	17
画面の明るさを調節する	17
頭の動きで操作する (モーションセンサー)	18
パソコンと接続する	19
Windows Media Player	20
UPLink ソフト (UP リンクソフト)	20
パソコンとの接続解除	21
無線 LAN アクセスポイントと 接続する	22
無線 LAN ネットワークの設定	22
無線 LAN 接続の設定について	22

第 3 章 : 動画を見る..... 25

動画を再生できるメニュー	26
movie で再生する動画ファイルを 転送する	27
movie で動画を再生する	29
UP リンクの概要	30
UP download/UP stream の概要	31
[チャンネル] と [カテゴリ] に ついて	32
UP download で番組を再生する	33
UP stream で番組を視聴する	35
podcast の概要	37
コンテンツの登録方法	37
podcast で動画を再生する	38
動画再生時の便利な機能	39
動画再生時の画面構成	39
スキップ	40
チャプター送り	40
サーチ	40
ストリームサーチ	40
動画のサムネイルを変更する	41
見たい場所から見る	41

目次

2/3

同じ部分を繰り返して見る	42
音声の効果を変更する	43
リピート設定を変更する	43
動画の表示サイズを変更する	44
動画の音声を変更する	44
アームユニットで一時停止する	45
第 4 章 : 音楽を聴く	46
音楽を再生できるメニュー	47
music で再生する音楽ファイルを 転送する	48
music で音楽を再生する	51
music で再生する音楽を選ぶ	52
最後に再生したファイル	52
アーティスト	52
ジャンル	52
アルバム	52
プレイリスト	52
podcast の概要	53
コンテンツの登録方法	53
podcast で音楽を再生する	54

音楽再生時の便利な機能	55
音楽再生時の画面構成	55
サーチ	56
音楽を聴きながら スライドショーを見る	56
同じ部分を繰り返して聴く	57
音声の効果を変更する	58
リピートの方法を変更する	58
ミュージックポジションを使用する	59

第 5 章 : 写真を見る	60
photo 概要	61
photo で表示する画像ファイルを 転送する	62
photo で画像を表示する	66
画像ファイル表示時の画面構成	67
音楽を聴きながら画像を表示する	68
最後に聴いた音楽ファイルを BGM として聴く	68
聴きたい音楽ファイルを選ぶ	68

第 6 章 : Web ページを閲覧する	69
UP web 概要	70
UP web の基本的な使用方法	71
UP web の画面構成	71
フォーカスの移動	72
ページのジャンプ	72
ブックマークの追加と削除	73
ページの移動	74
マウスカーソルを表示	74
文字サイズの変更	74
UP web の終了	74
UP web の設定	75
ホームページ	75
表示幅	75
文字コード	75
画像表示設定	75
JavaScript	75
ActiveX コントロール	75
削除	75

目次

3/3

第 7 章 : 外部再生機器と接続する 76

外部再生機器と接続する 77

第 8 章 : 便利な機能..... 78

画面の表示設定を変更する 79

画面の明るさを自動的に調節 79

画面のコントラストを調整 79

画面のカラーバランスを調整 79

音量調整の表示時間の変更 79

ステータスサインの表示の変更... 79

オープニング画面の表示 /
非表示を変更 80

フィットナビゲーターの表示 /
非表示を変更 80

音声の設定を変更する 81

操作音の音量を変更 81

ミュート時の画像表示を変更 81

ミュージックポジションを使用... 81

音量の上限を変更 81

本体の設定を変更する 82

オートパワーオフの時間を
変更 82

モーションセンサーの使用 /
不使用を変更 82

使用する電池の種類を設定 82

パスワードを変更 83

表示する言語を設定 83

ファームウェアのバージョンを
表示 83

別売の専用リモコン MC-UP1 に
ついて 84

リモコン用リチウム電池
(CR2025) の入れ方 84

使用時のリモコンの
向きについて 84

トラブルシューティング 85

動画再生関連 85

音楽再生関連 87

画像再生関連 87

UP web 関連 88

AV-in 関連 88

無線 LAN 関連 89

その他 90

別売専用リモコン (MC-UP1)
関連 92

エラーメッセージ一覧 93

再生全般 93

AV-in 93

DRM 94

UP リンク 94

USB 96

UP web 97

無線 LAN 98

その他 98

主な仕様 99

UP300/UP300x プリインストール
ソフトウェアのご使用条件 100

U300/U300x で使われるフリー
ソフトウェアコンポーネントに
関するエンドユーザーライセンス
アグリーメント原文 (英語) 101

索引 110

カスタマーサポートについて 114

安全上のご注意

1/6

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しい方法でお使いください。

この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

付属のバッテリーおよびバッテリーチャージャーの使用方法是、それぞれに付属している取扱説明書をよくお読みになり、取扱説明書に従ってご使用ください。

表示と意味は次のようになっています。

	危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。
	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例	
	△ 記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（△ の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘ 記号は、禁止の行為（してはいけないこと）を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（⊘ の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（● の場合は電池を取り出す）が描かれています。

⚠ 警告（本体について）



使用禁止

18 歳未満の方は使用しないこと
目の発達と視覚機能に悪い影響を与えるおそれがあります。



使用禁止

閃光や光の点滅によってけいれん、てんかんの発作や意識の喪失などをおこしたことがある方は使用しないこと
目の発達と視覚機能に悪い影響を与えるおそれがあります。



使用禁止

心臓ペースメーカーを使用されている方は無線 LAN 機能を使用しないこと
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。



使用禁止

満員の電車やバスなど混雑した場所では無線 LAN 機能を使用しないこと
心臓ペースメーカーを使用している方が近くににいる可能性があり、動作に影響を与えるおそれがあります。



使用注意

航空機内に持ち込むときは、離着陸時には電源を OFF にすること
飛行中は無線 LAN 機能を使用しないこと
病院で使うときは、病院の指示に従うこと
本製品が出す電磁波や無線電波などにより、航空機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります（無線 LAN システムが装備されている航空機では、離着陸時を除き無線機能を利用できる場合があります。詳しくは航空会社にお問い合わせください）。



使用禁止

長時間続けて使用しないこと
長時間にわたる連続使用は目に悪い影響を与えるおそれがあります。60 分の使用を目安に休憩をお取りください。



使用禁止

映像が周辺まで鮮明に見えない方、目の動きや視野に異常のある方は使用しないこと
使用すると目に悪い影響を与えるおそれがあります。



使用禁止

心臓疾患の方、高血圧の方、視聴覚異常がある方、目の動きの異常のある方、像が二重に見える方は使用しないこと
上記いずれかに該当する方は使用前に医師に相談し、体の変調を感じたら、ただちに使用を中止してください。

安全上のご注意

2/6

⚠ 警告 (本体について)



警告

本製品の使用状況によっては、以下の症状が起きるおそれがあります

- ・吐き気・目の痛み、目の疲れ
- ・めまい・頭痛・首の痛み、肩こり
- ・気分が悪い・手と目の感覚のずれ
- ・乗り物酔いの症状・耳の痛み

上記いずれかの症状を感じた時は、使用をやめ、回復するまで休んでください。
回復するまでは歩いたり、動き回ったり、乗り物を運転しないでください。



使用禁止

歩行中やランニングをしているとき、または自動車、自転車などを運転しているときは本製品を使用しないこと

死角が生じるため、重大な事故の原因となります。



使用禁止

映像が安定しない、鮮明に見えない、映像がまぶしい場合は本製品の使用をやめること

故障したまま、または正しく装着されていない状態で本製品を見続けると、目に悪い影響を与えることがあります。



使用禁止

大音量で本製品を使い続けられないこと

聴覚障害の原因となることがあります。

公共の場においての警報などの大切な回りの音が聞き取れなくなるおそれがあります。



分解禁止

分解したり修理・改造をしないこと

感電したり、異常動作によりケガの原因となります。



接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと

感電したり、破損部でケガをする原因となります。

電池を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



すぐに
修理依頼を

⚠ 警告 (本体について)



電池を
取る



すぐに
修理依頼を

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電池を取り出すこと

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。

電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。

電池を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



水かけ
禁止

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと

発火したり感電の原因となります。



警告

内部に金属物や燃えやすいものを入れないこと

感電、火災、故障の原因となります。



使用禁止

引火・爆発のおそれがある場所では使用しないこと

プロパンガス、気化したガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。



保管注意

幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届かないところに置くこと

幼児の飲み込みの原因となります。

万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。



使用禁止

使用時に雷が鳴り出したら、本製品の使用をやめること

感電の原因となります。

雷が鳴り止むまで本製品から離れてください。



警告

指定の電池およびバッテリーチャージャーを使用すること

指定以外のものを使用すると、火災・感電の原因となります。



警告

使用時にディスプレイユニットを押したり、引っばったり、ぶつけたりしないこと

ケガやディスプレイユニットの故障の原因となります。



警告

ケーブルの取り扱いに注意すること

本製品をケーブルで接続して使用するときは、ケーブルが家具、電車や車のドアなどに引っかかるなど、転倒によるケガや故障の原因となります。

安全上のご注意

3/6

⚠ 警告 (本体について)



使用禁止

ケーブルが張った状態で使用しないこと
つますいで転倒したり、機器が破損するおそれがあります。



使用禁止

暗い場所、明るすぎる場所で使用しないこと
液晶ディスプレイと周囲との明暗の差が強い場所で使用すると、目に悪い影響を与えるおそれがあります。



注意

頭に装着する前にはボリュームを最小にすること
突然大きな音が出て、思わぬケガの原因となることがあります。



禁止

本製品は布団などでおおったり、つつんだりして使用しないこと
熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。



放置禁止

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所、火のそばなど、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと
内部の部品に悪影響を与え、火災の原因となることがあります。



禁止

長期間使用しないときは電池や USB ケーブルを外すこと
電池の液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。



電池を取る



保管注意

本製品は幼児の手の届かないところに置くこと
ケガの原因になることがあります。



使用禁止

医療など精度を要する用途には使用しないこと
死角が生じるため、重大な事故の原因となります。



使用禁止

本機器を使用したまま睡眠を取らないこと
低温やけどなどの原因となります。



使用禁止

種類の異なる電池、充電済みと放電後の電池などを混ぜて使用しないこと
発熱、発火の原因となります。

⚠ 警告 (本体について)



警告

視聴中は視聴してない目をふさいだまま使用しないこと
視界がふさがるため、重大な事故の原因となります。



警告

使い切った電池は本機器からすぐに取り外すこと
液漏れにより製品が腐食したり、電池が破裂したりするおそれがあります。

⚠ 注意 (本体について)



注意

ぐらつき・傾きのある不安定なところには置かないこと
落下によりケガや故障の原因となります。



使用禁止

かゆみ・違和感を感じたら使用しないこと
本製品を使用中にかゆみ・違和感を感じたときは、すぐに使用を中止して医師にご相談ください。



注意

ご使用のメガネと本製品がぶつからないように注意すること
メガネの形状によっては、ご使用になれません。
メガネ・本製品の破損の原因となることがあります。



使用禁止

イヤリング・ピアスなど、耳の装身具をつけたまま使用しないこと
ケガの原因となることがあります。



注意

スピーカーやディスプレイユニットのヒンジ部分を動かすときは、指や頭髮を巻き込まないようにすること
頭髮の抜け、指や頭皮のケガの原因となることがあります。



使用禁止

体の揺れの激しい環境の中、不安定な状態では使用しないこと
めまい、吐き気、頭痛、または乗り物酔いの症状をおこすおそれがあります。



使用禁止

ホームビデオなどのぶれの大きい映像や点滅の激しい映像、動きの激しいゲーム映像などは見ないこと
めまい、吐き気、頭痛、または乗り物酔いの症状をおこすおそれがあります。

安全上のご注意

4/6

⚠ 注意 (本体について)



警告

異常な音が出たとき本製品を頭から外すこと

すぐに
修理依頼を

電池を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



感電注意

ぬれた手でさわらないこと

感電の原因になることがあります。

⚠ 危険 (専用ニッケル水素充電電池について)



危険

専用の充電器を使用すること

ケガや故障の原因となる場合があります。



危険

ネックレス、ヘアピンなどの金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しないこと

ショートして液もれ、発熱、破裂の原因となる場合があります。



使用禁止

三洋電機製エネループ HR-3UTG は、三洋電機製エネループ用バッテリーチャージャー NC-MDRO2 に対応しています。三洋電機製エネループ HR-3UTG に対応していない機器には使用しないこと

液もれ、発熱の原因となる場合があります。



危険

電池からもれた液が目に入ったときはすぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること

そのままにしておく、目に傷害を与える原因となる場合があります。



危険

電池の+部分を変形させたり、+部分に設けたガス抜き穴をふさがないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となる場合があります。



禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となる場合があります。

⚠ 危険 (専用ニッケル水素充電電池について)



分解禁止

電池をショート、分解しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となる場合があります。



危険

電池の「+」と「-」の向きをまちがえないようにすること

液もれ、発熱、破裂の原因となる場合があります。



危険

電池に記載された危険、注意を守ること

ケガや故障の原因となる場合があります。



注意

電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となる場合があります。

⚠ 警告 (専用ニッケル水素充電電池について)



保管注意

電池は幼児の手の届かない所に置くこと

幼児の飲み込みの原因となる場合があります。

万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

水かけ
禁止

水につけたり、ぬらさないこと

液もれ、発熱の原因となる場合があります。



警告

変色・変形・液もれ、外装チューブの破損、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと

液もれ、発熱の原因となる場合があります。



警告

充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめること

液もれ、発熱の原因となる場合があります。



警告

電池をリサイクルするときはテープなどで接点部を絶縁すること

他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となる場合があります。ニコンサービス機関やリサイクル協力店へご持参くださるか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。



警告

電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときはすぐにきれいな水で洗うこと

そのままにしておく、皮膚がかぶれたりする原因となる場合があります。

安全上のご注意

5/6

⚠ 警告 (専用ニッケル水素充電電池について)



外装チューブを剥がしたり傷つけたりしないこと
ケガや故障の原因となることがあります。

⚠ 危険 (バッテリーチャージャーについて)



ぬれた手で本体を抜き差ししないこと
感電の原因になることがあります。



0℃～40℃以外の温度のところで充電しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となることがあります。



テレビやストーブなどの発熱体の近くで充電や放置をしないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となることがあります。

⚠ 警告 (バッテリーチャージャーについて)



分解したり修理・改造をしないこと
感電したり、異常動作をしてケガの原因となることがあります。



落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと
感電したり、破損部でケガをする原因となることがあります。
電池を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



すぐに
修理依頼を



プラグを抜く
熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに本体をコンセントから抜くこと
そのまま使用すると火災、やけどの原因となることがあります。
本体をコンセントから抜く際、やけどに充分注意してください。
ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



すぐに
修理依頼を

⚠ 警告 (バッテリーチャージャーについて)



水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと
発火したり感電の原因となることがあります。



使用禁止
引火・爆発のおそれのある場所では使用しないこと
プロパンガス、気化したガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となることがあります。



警告
電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布で拭き取ること
そのまま使用すると火災の原因となることがあります。



使用禁止
指定以外の電池、新旧の電池を混ぜて充電しないこと
発熱、発火の原因となることがあります。



警告
本体に金属などを差し込まないこと
ショートして液もれ、発熱、破裂の原因となることがあります。



使用禁止
雷が鳴り出したら本体に触れないこと
感電の原因となることがあります。
雷が鳴り止むまで機器から離れてください。



警告
電源プラグが傷んだりコンセントの差し込みが緩い場合は使用しないこと
感電や発熱による火災の原因となることがあります。



使用禁止
交流 100～240V 以外の電圧では使用しないこと
交流 100～240V 以外の電源には接続しないでください。
火災・感電の原因となることがあります。



警告
充電するときは電池をしっかりと差し込むこと
感電や接触不良による火災の原因となることがあります。



使用禁止
トラベルコンバータや DC/AC コンバータに接続して充電しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となることがあります。



警告
電池の「+」と「-」の向きをまちがえないようにすること
液もれ、発熱、破裂の原因となることがあります。

安全上のご注意

6/6

⚠ 警告 (バッテリーチャージャーについて)



警告

お手入れの際は本体をコンセントから抜くこと
感電や発熱による火災の原因となることがあります。



警告

充電時以外は本体をコンセントから抜き、プラグを収納した状態で保管すること
感電や発熱による火災の原因となることがあります。



禁止

布団などでおおったり、つつんだりして使用しないこと
熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。



注意

重い物を載せたり、落下しやすいところや磁気、ほこりの多い場所に置かないこと
そのまま使用すると火災の原因となることがあります。



放置注意

幼児の手の届かないところに置くこと
ケガの原因となることがあります。



注意

充電中にバッテリーチャージャーに長時間ふれないこと
低温やけどの原因となることがあります。

⚠ 注意 (バッテリーチャージャーについて)



注意

電池を取り外す際は、接点などでケガをしないように注意すること
ケガの原因となることがあります。

⚠ 警告 (ソフトケースについて)



警告

ソフトケースを頭にかぶったりしないこと
窒息などの原因となることがあります。



保管注意

幼児の手の届かないところに置くこと
窒息などの原因となることがあります。

⚠ 危険 (別売リモコン MC-UP1 用リチウム電池について)



危険

電池からもれた液が目に入ったときはすぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること
そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となることがあります。



禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となることがあります。



分解禁止

電池をショート、分解しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となることがあります。



危険

電池の「+」と「-」の向きをまちがえないようにすること
液もれ、発熱、破裂の原因となることがあります。

⚠ 警告 (別売リモコン MC-UP1 用リチウム電池について)



水かけ禁止

水につけたり、ぬらさないこと
液もれ、発熱の原因となることがあります。



警告

リチウム電池 (CR2025) 以外を使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となることがあります。



保管注意

幼児の手の届かないところに置くこと
幼児の飲み込みの原因となります。万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。



禁止

充電式電池以外は充電しないこと
液もれ、発熱の原因となります。



警告

電池をリサイクルするときはテープなどで接点部を絶縁すること
他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となることがあります。お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。



警告

電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときはすぐにきれいな水で洗うこと
そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。

はじめに	第 1 章： UP300/UP300x の装置方法	第 2 章： 基本的な使用方法	第 3 章： 動画を見る	第 4 章： 音楽を聴く	第 5 章： 写真を見る	第 6 章： Web ページを閲覧する	第 7 章： 外部再生機器と接続する	第 8 章： 便利な機能
------	------------------------------	--------------------	-----------------	-----------------	-----------------	------------------------	-----------------------	-----------------

電波に関するご注意

1 本製品は日本の電波に関する法律に準拠しており、本製品の無線機能は日本以外では使用できませんのでご注意下さい。日本以外でのご使用については、弊社では一切の責任を負いかねます（無線以外の機能については日本以外でもご使用できます）。

2 次の場所では、本製品を使用しないでください。

電子レンジ付近などの磁場、静電気、電波障害が発生するところ（環境により電波が届かない場合があります。）

※ 2.4GHz 付近の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

3 本製品は、技術基準適合認定を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。

- 本製品を分解 / 改造すること
- 本製品に印刷してある証明ラベルをはがすこと

4 本製品の使用する無線チャンネルが出荷時設定以外の場合は、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。

- 産業・科学・医療用機器
- 工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の無線局

①構内無線局（免許を要する無線局）

②特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

5 本製品を使用する場合は、前項 4 の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

- 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。

使用周波数は、無線 LAN アクセスポイントのチャンネル番号を変えて接続先情報を再設定することで変更できます。

- その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本使用説明書裏面に記載されている UP カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

6 本製品は無線 LAN 機器としてお使いください。万一、無線 LAN 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
- 無線 LAN 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

7 本製品は、米国製暗号ソフトを搭載しているため、米国輸出管理規制 (EAR) の対象となり、米国禁輸国※（キューバ、イラン、北朝鮮、スーダン、シリア）への輸出や持ち出しはできませんのでご注意ください。

※ 2008 年 10 月現在の禁輸国

2.4 DS/OF 4	この無線機器の使用周波数は 2.4GHz 帯です。変調方式として DS-SS、OFDM 変調方式を採用し、干渉距離は 40m です。
--------------------	--

この機器には、電波法に基づく認証を受けた無線設備が内蔵されており、証明ラベルは無線設備上に添付されております。

はじめに	第 1 章： UP300/UP300x の装置方法	第 2 章： 基本的な使用方法	第 3 章： 動画を見る	第 4 章： 音楽を聴く	第 5 章： 写真を見る	第 6 章： Web ページを閲覧する	第 7 章： 外部再生機器と接続する	第 8 章： 便利な機能

お使いになる前に

●本製品を安心してお使いいただくために

本製品は、当社製付属品や別売のアクセサリ（電池、バッテリーチャージャーなど）に適合するように作られておりますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにしないと、ご購入後 1 年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

●ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、ラジオやテレビの近くでお使いになると、受信障害を引き起こすことがあります。

使用説明書にしたがって正しくお取り扱いください。

●著作権についてのご注意

著作権の対象となっている動画、画像、音声データは、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●メディア ポート UP300/UP300x を譲渡 / 廃棄するときのご注意

メディア ポート UP300/UP300x 内のデータはパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には消去されません。譲渡 / 廃棄した後に市販のデータ修復ソフトなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メディア ポート UP300/UP300x 内のデータはおお客様の責任において管理してください。

メディア ポート UP300/UP300x を譲渡 / 廃棄する際は、データを完全に消去するか、初期化後にメディア ポート UP300/UP300x のメモリーがいっぱいになるまで、空や地面などの万一反元されても支障のない画像で置き換えることをおすすめします。メディア ポート UP300/UP300x を物理的に破壊して廃棄する場合は、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。また、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。

取り扱い上のご注意

1/2

本体の取り扱い上のご注意

●強いショックを与えないでください

落としたり、ぶつけたりしないようにご注意ください。強い衝撃や振動を加えると、破損したり精密に調整された部分に悪影響を及ぼします。

●水にぬらさないでください

水にぬらさないようにご注意ください。浴室やシャワー室では使用しないでください。メディアポート UP300/UP300x 内部に水滴が入ったりすると部品がさびついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

●急激な温度変化を与えないでください

極端に温度差のある場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆になるところ）に持ち込むと、製品内外に水滴が生じ、故障の原因となります。周囲の温度になじませてからお使いください。

●強い電波や磁気の発生する場所で使用しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲や、強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、映像や音声へのノイズ混入など、正常に機能しない場合があります。

●お手入れについて

お手入れの際は、電池を取り出し、プロアーでゴミやホコリを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。特に、海辺で使った後は、真水を数滴たらした柔らかい清潔な布で塩分を拭き取ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いて乾かしてください。

※アルコール・シンナーなど揮発性の薬品は、お使いにならないでください。

●保管について

長期間本製品を使用しないときは、バッテリーを取り出して下さい。バッテリーを取り出す前には、電源が OFF になっていることをご確認ください。また、次の場所に本製品を保管しないようにご注意ください。

- ・換気の悪い場所や湿度の高い場所
- ・テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の周辺
- ・温度が 50℃以上、または -10℃以下の場所
- ・湿度が 60% を超える場所

●電池を取り外すときは、必ず電源を OFF にしてください

メディア ポート UP300/UP300x の電源が ON の状態で、電池の取り出しを行うと、故障の原因となります。

●クイックスタートガイドの「UP300/UP300x の装着」に従って、正しく装着してください

●液晶ディスプレイについて

・液晶ディスプレイの特性上、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。

・屋外では周囲の明るさなどの加減で液晶ディスプレイが見えにくい場合があります。

・万一、液晶ディスプレイ部分が破損した場合、ガラスの破片などでケガをするおそれがありますので充分ご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、充分ご注意ください。

●レンズについて

レンズ部分を強くこすったり、強く押したりしないでください。レンズが傷つく原因になります。もしホコリやゴミなどが付着した場合は、プロアーで軽く吹き払う程度にしてください。なお、スプレー缶方式のプロアーの場合、スプレー缶を傾けずにご使用ください（中の液体が気化されずに吹き出し、レンズを傷つける場合があります）。レンズに万一指紋などが付いてしまった場合は、柔らかい清潔な布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭き取ってください。

●ケーブルについて

専用のケーブルを使用してください。指定以外のものを使用すると、故障の原因となることがあります。

取り扱い上のご注意

2/2

電池の取り扱いについて

●接点の汚れについて

電池の接点が汚れている場合は、乾いた布などで拭いてください。

●電池に関する使用上のご注意

電池の使用方法を誤ると液漏れにより製品が腐食したり、電池が破裂したりするおそれがあります。次の使用上の注意をお守りください。

- 電池を長時間使用した後は、電池が発熱していることがあるのでご注意ください。
- 必ず指定の電池をお使いください。
- 電池を火の中に投入したり、ショートさせたり、分解したりしないでください。
- 充電量のちがう電池を使用しないでください。

●ご使用温度範囲について

- 放電 : - 5℃ ~ 50℃
- 充電 : 0℃ ~ 40℃
- 保存 : - 20℃ ~ 30℃

この温度範囲以外では、電池の性能や寿命を低下させる原因となります。

●低温時には十分に充電された電池を使用してください

低温時に消耗した電池を使用すると、作動しない場合があります。低温時には十分に充電された電池を使用し、保温した予備の電池を用意して暖めながら交互に使用してください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかった電池でも、常温に戻ると使える場合があります。

●電池の残量について

電池残量がなくなった電池をメディア ポート UP300/UP300x に入れたまま、何度も電源の ON/OFF を繰り返すと、電池の寿命に影響をおよぼす可能性があります。電池残量がなくなった電池は、充電してご使用ください。

●充電が完了した電池を、続けて再充電しないでください

電池性能が劣化します。

●電池のリサイクルについて

充電を繰り返して劣化し使用できなくなった電池は廃棄せず、再利用のためリサイクルにご協力ください。端子にテープなどを貼り付けて絶縁させてから、ニコンサービスマシンやリサイクル協力店へご持参ください。



Ni-MH

商標について

Microsoft、Windows、Windows Vista は 米国 Microsoft Corporation の米国またはその他の国における登録商標です。iPod は米国またはその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

MPEG Layer-3 decoding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.

This Product contains Adobe® Flash® player software under license from Adobe Systems Incorporated, Copyright © 1995-2007 Adobe Macromedia Software LLC. All rights reserved. Adobe and Flash are trademarks of Adobe Systems Incorporated.

Copyright © 1995-2007 Adobe Macromedia Software LLC. All rights reserved.

本製品は Adobe Systems Incorporated が開発した Adobe® Flash® player テクノロジーを搭載しています。

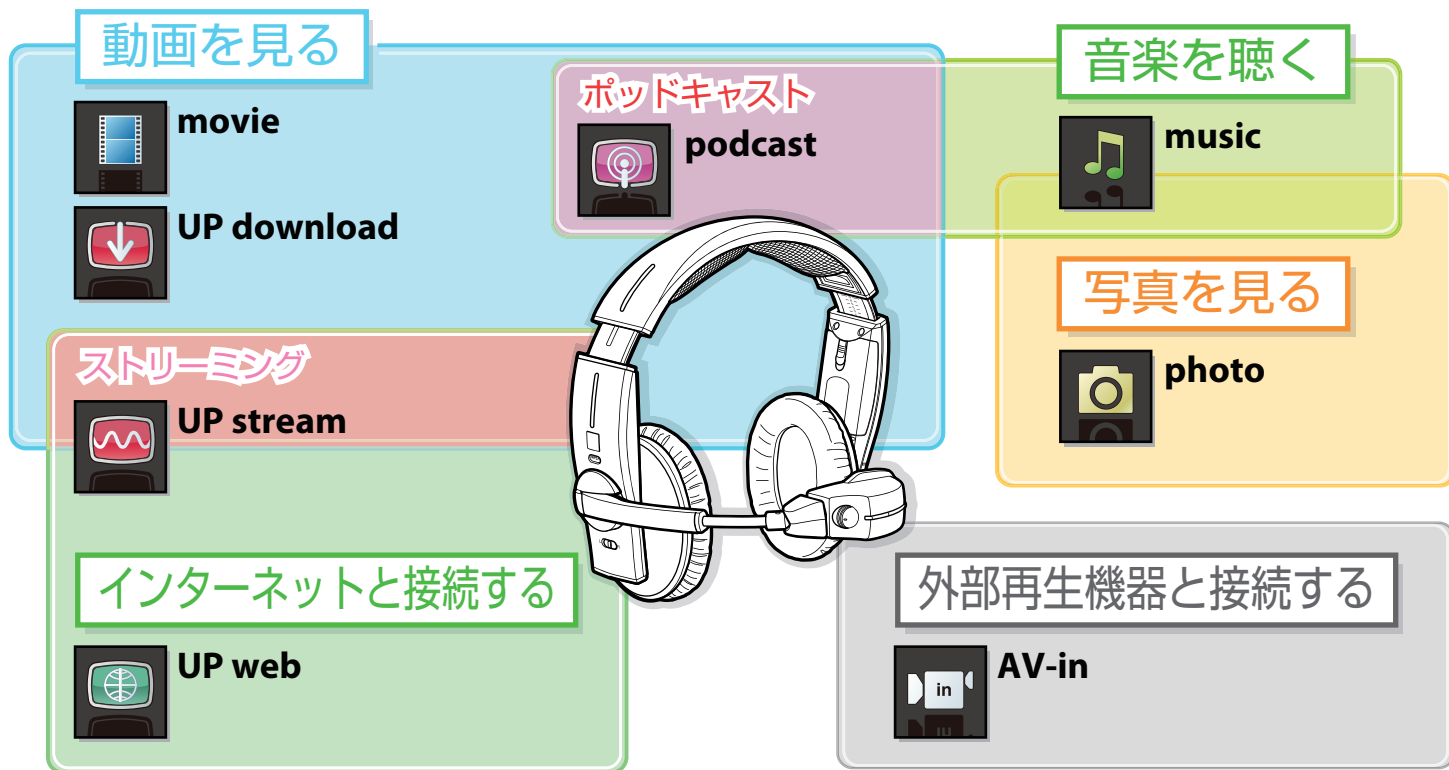
Adobe、Flash は Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

メディア ポート UP300/UP300x でできること

1/2

メディア ポート UP300/UP300x（以下 UP300/UP300x と記載）は、どこでも動画や音楽を楽しむモバイル機器です。片方の目で視聴するため、シーンにオーバーラップし、映像を楽しめます。



メディア ポート UP300/UP300x でできること

2/2

目的	使用するメニュー	説明	参照
音楽を聴く	music	Windows Media Player の音楽ファイルを転送して、どこでも音楽が楽しめます。	music で再生する音楽ファイルを転送する music で音楽を再生する
	podcast	podcast を配信している Web サイトから、音声 / 動画ファイルをダウンロードして再生できます。	podcast で音楽を再生する podcast で動画を再生する
動画を見る	movie	Windows Media Player の動画ファイルを転送して、どこでも動画が楽しめます。	movie で再生する動画ファイルを転送する movie で動画を再生する
	UP download	UP リンクサーバー からダウンロードした動画コンテンツを転送して見るができます。	UP download/UP stream の概要 UP download で番組を再生する
	UP stream	UP リンクサーバー に登録されている動画コンテンツを無線 LAN でインターネットに接続して視聴できます。	UP download/UP stream の概要 UP stream で番組を視聴する
インターネットと接続する	UP web	無線 LAN でインターネットに接続してネットサーフィンを楽しめます。	UP web の基本的な使用方法
写真を見る	photo	Windows Media Player の画像ファイルを転送して、どこでも画像を見られます。	photo で表示する画像ファイルを転送する photo で画像を表示する
外部再生機器と接続する	AV-in	iPod や DVD プレイヤーと接続して音楽や動画を見られます (UP300x のみ)。	外部再生機器と接続する

目的別かんたん検索

1/2

使いたい機能や知りたい機能から、説明が記載されているページを簡単に調べることができます。

基本的な機能について

使いたいこと・知りたいこと	キーワード
視聴する目を変えたい	ポジションスイッチ
画面のピントを合わせたい	視度調節ダイヤル
ハンズフリーで操作したい	モーションセンサー
無線 LAN アクセスポイントと接続したい	無線 LAN アクセスポイント
パソコンと接続してファイルを転送するソフトについて知りたい	Windows Media Player Uplink ソフト

動画の転送について

使いたいこと・知りたいこと	キーワード
手持ちの動画ファイルを転送したい	movie
ニコンの動画配信サービスを利用したい	UP リンク
UP リンクサーバーからダウンロードした番組を転送したい	UP download
UP リンクの番組を無線 LAN で再生したい	UP stream
podcast でダウンロードした動画コンテンツを転送したい	podcast

動画の再生について

使いたいこと・知りたいこと	キーワード
早送り / 巻き戻しをしたい	サーチ
サムネイルを変更したい	サムネイル画像の変更
見たい場所から見たい	タイムサーチ
同じ部分を繰り返し見たい	A-B 間リピート再生
音質を変えたい	イコライザー
繰り返し見たい	リピート再生
ディスプレイの表示サイズを変えたい	表示サイズ
主音声 / 副音声を変更したい	音声切り換え

音楽の転送について

使いたいこと・知りたいこと	キーワード
手持ちの音楽ファイルを転送したい	Windows Media Player
podcast でダウンロードしたコンテンツを転送したい	podcast

目的別かんたん検索

2/2

音楽の再生について

使いたいこと・知りたいこと	キーワード
早送り / 巻き戻しをしたい	サーチ
聴きながらスライドショーが見たい	スライドショー
同じ部分を繰り返し聴きたい	A-B 間リピート再生
音質を変えたい	イコライザー
ランダム / リピート再生したい	音楽再生設定
ミュージックプレーヤーとして使いたい	ミュージックポジション

インターネットの閲覧について

使いたいこと・知りたいこと	キーワード
文字サイズを変更したい	文字サイズ
UP web を終了したい	UP web を終了する

外部再生機器の接続について

使いたいこと・知りたいこと	キーワード
iPod や DVD プレイヤーなどを接続したい	AV-in

画像の転送・再生について

使いたいこと・知りたいこと	キーワード
手持ちの画像ファイルを転送したい	Windows Media Player
転送した画像を見たい	photo
スライドショーで見たい	スライドショー
スライドショーの効果を変更したい	写真表示設定
音楽を聴きながら見たい	BGM

本体の設定について

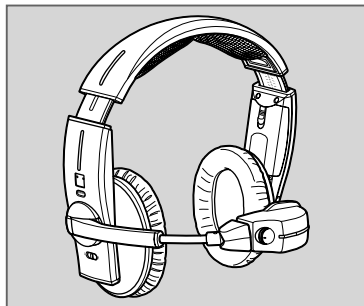
使いたいこと・知りたいこと	キーワード
コントラストやカラーバランスなど、画面の表示設定を変更したい	映像設定
効果音の音量や音量の上限を設定したい	音声設定
オートパワーオフの時間や表示言語など、本体の設定を変更したい	一般設定

インターネットの閲覧について

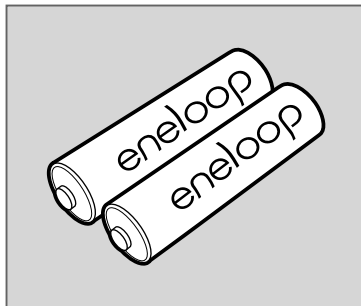
使いたいこと・知りたいこと	キーワード
インターネットを閲覧したい	UP web
ブックマークを追加 / 削除したい	ブックマーク
ページを移動したい	移動
マウスカーソルを表示したい	マウスカーソル

本体と付属品を確認する

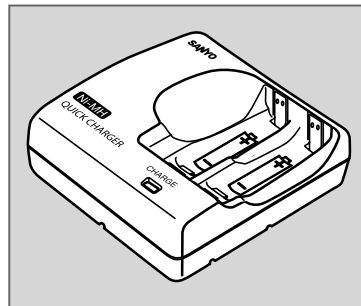
ご使用になる前に、UP300/UP300x 本体と付属品が全てそろっていることを確認してください。



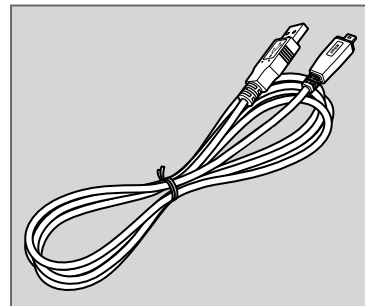
□ メディア ポート UP300/
UP300x 本体



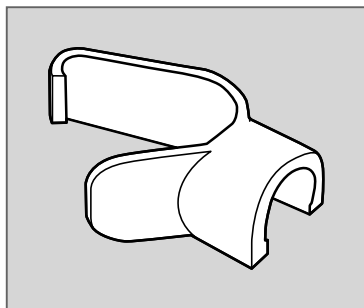
□ 三洋電機製エネループ
HR-3UTG × 2



□ 三洋電機製エネループ用
バッテリーチャージャー
NC-MDR02



□ USB ケーブル UC-UP1



□ アングルリミッター AL-UP1
(工場出荷時は UP300/UP300x
に装着されています)

□ ソフトケース SC-UP1

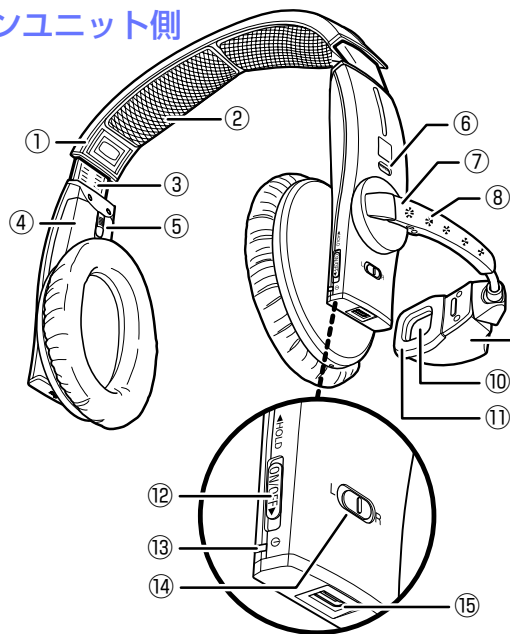
□ 保証書

□ クイックスタートガイド：UP300/UP300x をはじめてお使いになる方のために、装着方法などを説明しています。

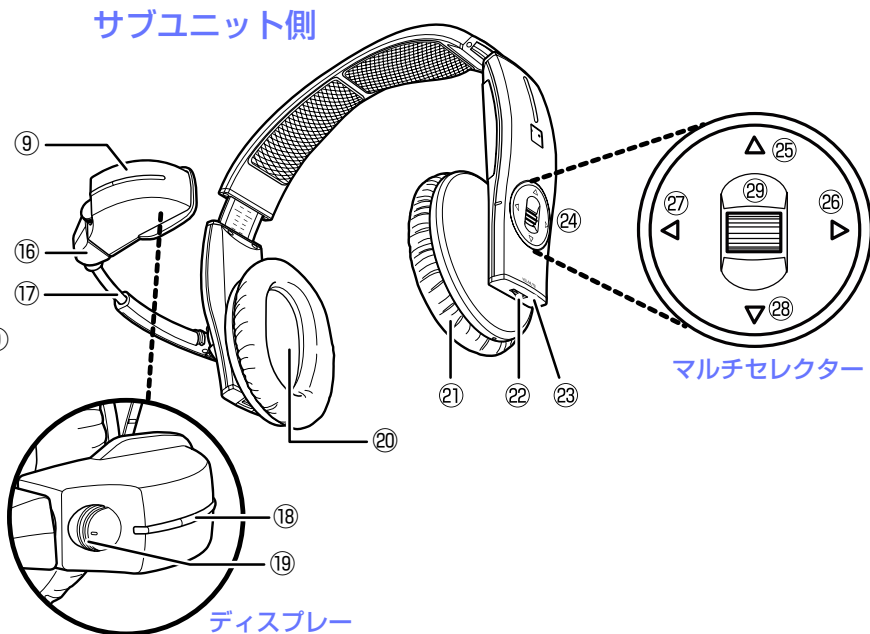
□ 三洋電機製電池および充電器の取扱説明書 / 保証書

各部の名称

メインユニット側



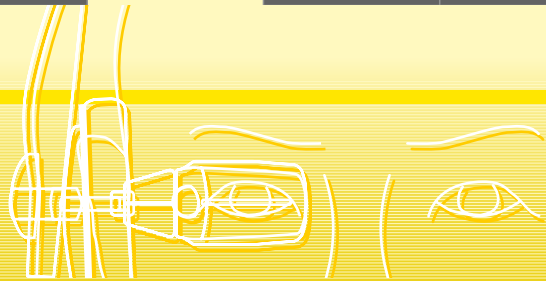
サブユニット側



- 1 ヘッドバンド
- 2 ヘッドパッド
- 3 スライダー
- 4 バッテリー室カバー
- 5 バッテリー室カバー開閉ノブ
- 6 ワイパーボタン
- 7 アームジョイント
- 8 アームサイン (点灯状態)
- 9 ディスプレー
- 10 ディスプレーウィンドウ

- 11 ディスプレーパッド
- 12 電源スイッチ
- 13 電源ランプ
- 14 ポジションスイッチ
- 15 マルチコネクター端子
- 16 ディスプレージョイント
- 17 アーム
- 18 背景光センサー & トップサイン
- 19 視度調節ダイヤル
- 20 スピーカー

- 21 イヤーパッド
- 22 ボリュームスイッチ
- 23 リモコン受光部
- 24 マルチセレクター
- 25 Play キー
- 26 OK キー
- 27 Back キー
- 28 Menu キー
- 29 ジョグダイヤル



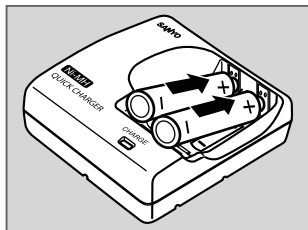
第 1 章： UP300/UP300x の装着方法

- バッテリーを充電する P.8
- バッテリーを入れる P.9
- 電源を ON/OFF する P.10
- 視聴する方の目を切り換える P.11
- 視度を調節する P.12
- パスワードを設定する P.13

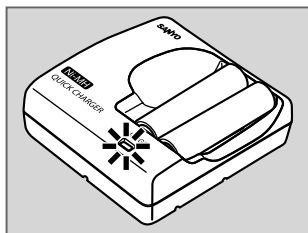
バッテリーを充電する

付属の充電式ニッケル水素電池 HR-3UTG（エネループ）は、ご購入直後にはフル充電されていません。また、バッテリー残量が少なくなったときや、長期間使用していなかった場合は、付属のエネループ HR-3UTG を、付属のエネループ用バッテリーチャージャー NC-MDR02 で充電してください。

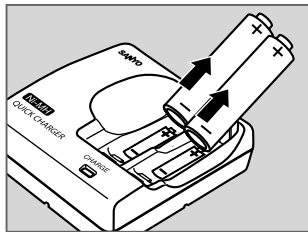
- 1 付属のバッテリーチャージャー本体に表示されている向きに合わせ、バッテリーをセットします。



- 2 バッテリーチャージャー本体をコンセントに差し込みます。「CHARGE」ランプが点灯し、充電が始まります。「CHARGE」ランプが消灯したら、充電が完了です。



- 3 充電が完了したら、バッテリーチャージャーをコンセントから抜き、バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外します。



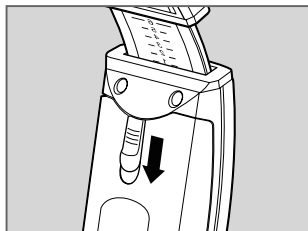
☑ 電池に関するご注意

- 電池およびバッテリーチャージャーの取り扱いについては、電池の使用説明書をご参照ください。また、電池を入れる際は「安全上のご注意」の「警告」、「危険」(P.viii ~ P.x) や「電池の取り扱いについて」(P.xiv) の注意事項を必ずお守りください。
- 電池の特性上、残量がなくなった電池を再度 UP300/UP300x に入れた場合、電池の容量が十分な状態を示すことがありますのでご注意ください。

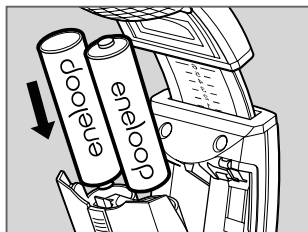
バッテリーを入れる

付属の充電式ニッケル水素電池 HR-3UTG（エネループ）を本体に入れます。ご購入直後またはバッテリー残量が少ないときは、付属のエネループ用バッテリーチャージャー NC-MDR02 で充電してからお使いください。

- 1** バッテリー室カバー開閉ノブを下に下げると、バッテリー室カバーが少し開きます。両端をつまんで、バッテリー室カバーを開けます。



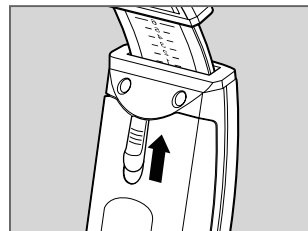
- 2** バッテリー室カバーの表示を見ながら、+と-を正しい向きで入れてください。



❑ ご注意

バッテリーの向きを間違えると、人体への危険または本体および電池が破損するおそれがあります。詳しくは「電池の取り扱いについて」(P.xiv) を参照してください。正しい向きになっているか、必ずご確認ください。

- 3** バッテリー室カバーを閉じます。バッテリー室カバー開閉ノブがカチッと音がするまで押し込みます。操作中などに開かないように、カバーがしっかりとロックされていることを確認してください。



❑ バッテリーの取り出し方法

バッテリーが入っている場合、バッテリー室カバー開閉ノブを押し下げながらバッテリー室カバーの両端をつまんで開いてください。

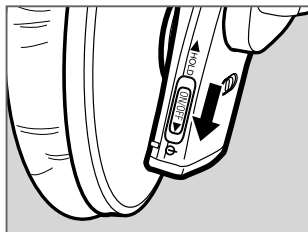
❑ 付属のバッテリー以外の使用可能な電池

付属のバッテリー以外にも、単 3 形アルカリ電池、単 3 形リチウム電池、オキシライド乾電池、エボルタ乾電池が使用できます。付属のバッテリー以外の電池を使用する場合、[\[電池設定\]](#) を変更してください。

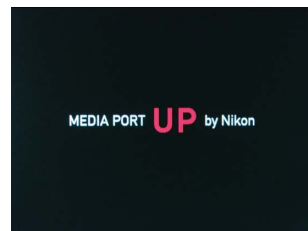
電源を ON/OFF する

電源を ON/OFF するには電源スイッチを使用します。

- 1 バッテリーを入れた後、電源スイッチを 1 秒以上押し下げます。



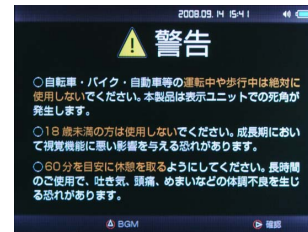
- 2 電源が ON になり、電源ランプが橙色に点灯します。また画面にオープニング画面が表示されます。約 20 秒で起動が完了し、電源ランプが緑色に点灯します。



- 3 お買い上げ後、初めて起動する場合は [フィットナビゲーター](#)が表示されます。画面に表示される指示に従って、操作をしてください。フィットナビゲーター終了後、[いいえ] を選ぶと、次回以降は表示されません。

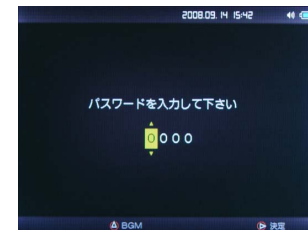


- 4 警告画面が表示されます。[確認] を押すと Home 画面が表示されます。

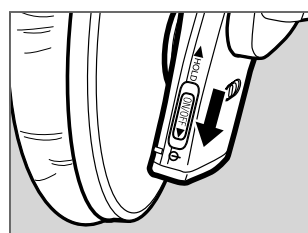


- 5 お買い上げ後、初めて起動する場合は [パスワードの設定画面](#)が表示されます。

パスワードを設定した場合、パスワード入力画面が表示されます。



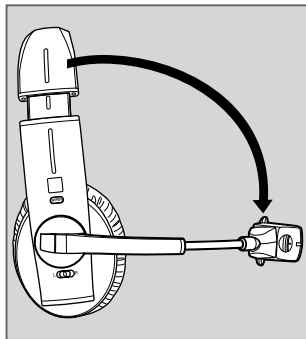
- 6 電源が ON の状態で電源スイッチを 1 秒以上押し下げると、電源ランプが橙色になり、約 4 秒でスリープ状態になります。再度電源スイッチを 1 秒以上押し下げると、約 3 秒でスリープ状態が解除されます。スリープ状態から約 2 時間後またはバッテリーを取り外すと OFF になります。



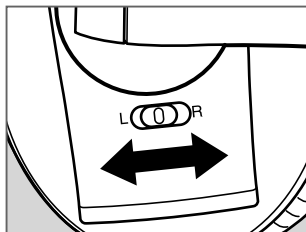
視聴する目を切り換える

UP300/UP300x は左右どちらの目でも視聴することができます。

- 1 視聴したい目に合わせて、アームを下げます。



- 2 左目に装着したい場合はポジションスイッチをL側に、右目に装着したい場合はポジションスイッチをR側にスライドします。



❑ ご注意

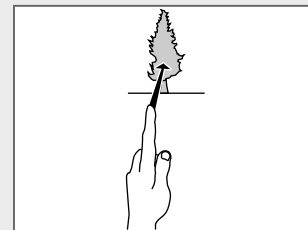
オープニング画面表示中は、ポジションスイッチを切り換えても画面は回転しません。

❑ 利き目の判別方法

人間には右利き / 左利きの利き手と同様に、目にも利き目があります。

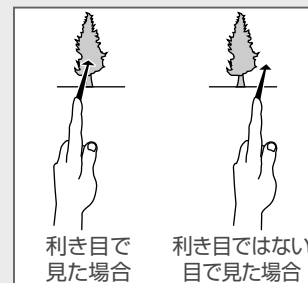
利き目を簡単に判別するには、次の方法で行います。

1. 両目を開けた状態で、遠くにあるものを対象物として指さします。



2. そのまま右目 / 左目を片方ずつ順番に閉じます。

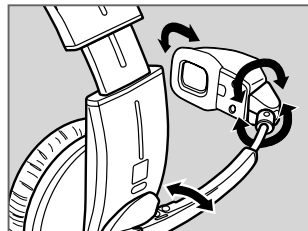
3. このとき、両目で見た状態と同じように対象物を指さして見える方が利き目です。利き目ではない方で見た場合、対象物から指がずれて見えません。



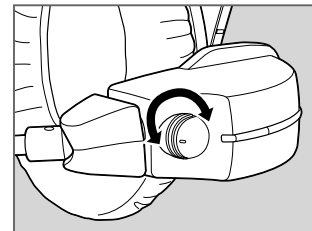
視度を調節する

UP300/UP300x を装着したら、視度（ピント）を調節します。

- 1** ディスプレーウィンドウが目の正面にくるように、アームなどを調節します。



- 2** 画面がはっきりと見えるように視度調節ダイヤルを回して調節します。



✓ アングルリミッターについて

製品出荷時はアングルリミッターが取り付けられています。うまくディスプレイウィンドウが目の正面にこない場合や、もっと自由な角度で映像を視聴したい場合は、アングルリミッターを取り外してください。

✓ 視界を確保するには

視界を確保するには、アームを上げてください。

✓ ワイパーボタンについて

周囲で人や物が動いているような状況で視聴したり、長時間装着していたりすると、画面に集中できずに画面の一部が見えづらくなることがあります。ワイパーボタンを押すと、画面内に白い線が表示され、左右に移動します。白い線を注視すると、画面に集中できるようになります。

✓ フィットナビゲーターについて

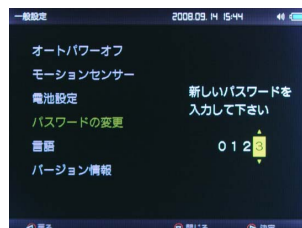
お買い上げ後、初めて起動する場合はフィットナビゲーターが表示されます。フィットナビゲーターでは、視度の調節方法やマルチセクターの使用方法など、基本的な使用方法を音声付きで解説しています。

フィットナビゲーターの最後で、次回以降の起動時にフィットナビゲーターを表示するかどうかを選べます。【いいえ】を選んだ場合でも、Home 画面のメニューの [映像設定] → [\[フィットナビゲーター\]](#) で変更できます。

パスワードを設定する

お買い上げ後、初めて起動する場合はパスワード設定画面が表示されます。パスワードを設定すると、起動時にパスワード入力求められます。初期設定のパスワードは「1234」です。

- 1 OK / Back キーで設定する桁を移動し、ジョグダイヤルで 0 ～ 9 までの数字を選びます。



- 2 4 桁目まで設定し、[▶ 決定] を押すとパスワードが設定されます。

パスワードを変更するには、Home 画面のメニューの [一般設定] → [パスワードの変更] で行います。

❗ パスワードを入力するには

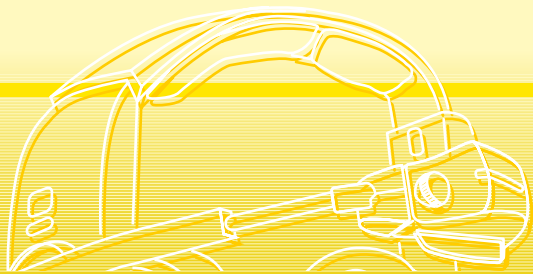
パスワードを設定すると、起動時に警告画面の次にパスワード入力画面が表示されます。OK/Back キーで入力する桁を移動し、ジョグダイヤルで 0 ～ 9 までの数字を選びます。4 桁目まで入力し、[▶ 決定] を押すと Home 画面が表示されます。パスワードが間違っていると、カーソルが 1 桁目に戻ります。

❗ パスワードを設定しない場合

「0000」を入力して [▶ 決定] を押すとパスワードが設定されず、次回以降の起動でもパスワード入力画面は表示されません。

❗ パスワードを忘れてしまった場合

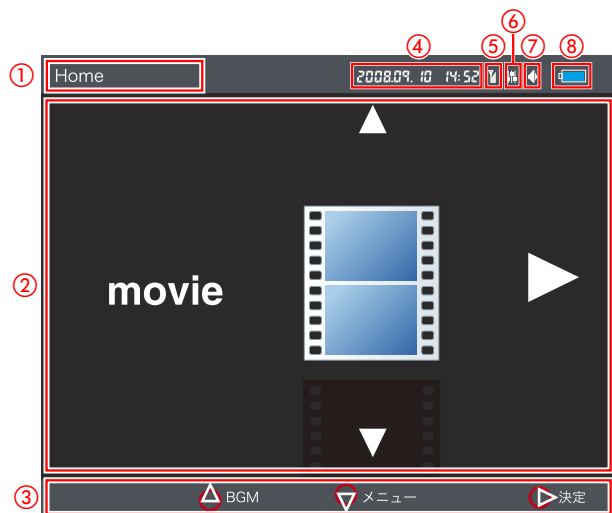
電源が ON またはスリープ状態で Back キーと Menu キーを押しながらボリュームスイッチを押し込むと、すべての設定が初期設定にリセットされパスワードも「1234」に戻ります。転送済みの動画ファイルや音楽ファイルなどはそのまま保存されています。



第 2 章： 基本的な使用方法

- UP300/UP300x の基本画面 P.15
- UP300/UP300x の基本操作 P.16
- 頭の動きで操作する（モーションセンサー） P.18
- パソコンと接続する P.19
- 無線 LAN アクセスポイントと接続する P.22

UP300/UP300x の基本画面



* 設定された時刻はバッテリーを取り外した状態で最大 3 日間保持されます。

① 画面タイトル	現在メイン画面に表示しているメニューのタイトルが表示されます。
② メイン画面	現在選べるメニューが表示されます。動画や音楽、画像などはここに再生されます。
③ キーガイド	マルチセクター で操作できる機能が表示されます。機能の名前の横に表示されているキーを押すと、その機能を実行できます。
④ 時計 *	日時が表示されます。日時は UPLink ソフトが起動しているパソコンと USB ケーブルで接続すると、パソコンに設定されている日時と自動的に同期します。
⑤ 電波強度	無線 LAN との接続中に、アクセスポイントの電波強度が表示されます。
⑥ イコライザー	イコライザーが [Normal] 以外に設定されている場合に表示されます。
⑦ 音量	音量を示すマークが表示されます。
⑧ 電池残量	電池残量が表示されます。

✓60 分ごとの警告画面について

本製品を連続して 60 分使用すると、警告画面が表示されます。そのまま続けて使用するには **[いいえ]** を選んで **[▶ 決定]** を押してください。 **[はい]** を選んで **[▶ 決定]** を押すと、スリープします。長時間連続使用すると、体調不良となるおそれがあるため、60 分ごとに休憩を取ることをおすすめします。

なお、ディスプレイを [ミュージックポジション](#) で使用している場合や USB ケーブルでパソコンに接続している場合は、60 分以上連続使用していても警告画面は表示されません。

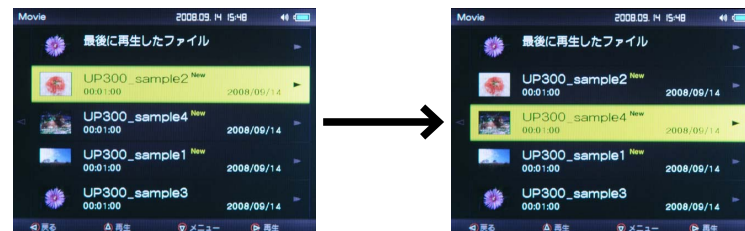
UP300/UP300x の基本操作

1/2

UP300/UP300x は、基本的にジョグダイヤルとマルチセクターで操作します。

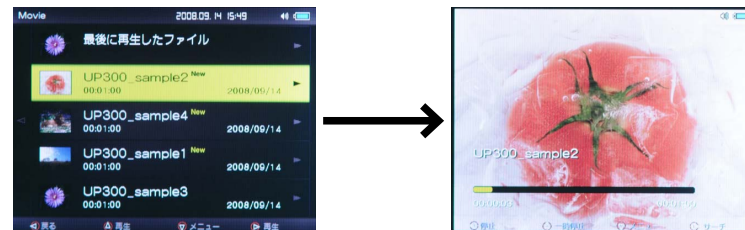
項目の選択

項目を選ぶには、ジョグダイヤルを使用します。現在選ばれている項目は、背景が黄色のカーソルで表示されます。ジョグダイヤルを↑方向に回すと上に、↓方向に回すと下にカーソルが移動します。また、選択項目が 1 画面に収まらない場合はジョグダイヤルの動きに合わせてページがスクロールします。Home 画面では、ジョグダイヤルを回すとアイコンが切り替わります。



機能の実行

画面の下部には、その画面で実行できる機能名がキーガイドとして表示され、その横には対応するマルチセクターのキーが表示されています。マルチセクターのその方向のキーを押すと、対応する機能名が黄色く表示されます。その状態からキーを押し込むと、機能を実行します。



❑ 操作がわからなくなったときは

Menu キーを長押しすると、すべての処理を中断して Home 画面に戻ります。

❑ 別売のリモコン MC-UP1 を使用する

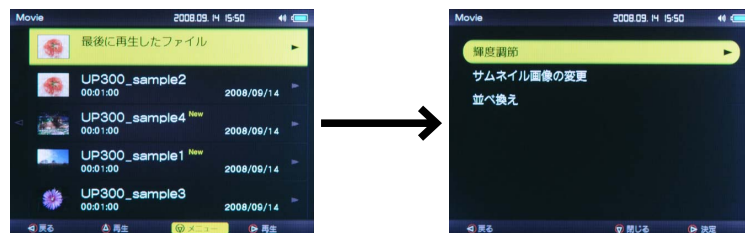
別売の専用リモコン MC-UP1 を使用すると、キーを見ながら手元で操作できます。詳しくは「[別売の専用リモコン MC-UP1 について](#)」を参照してください。

UP300/UP300x の基本操作

2/2

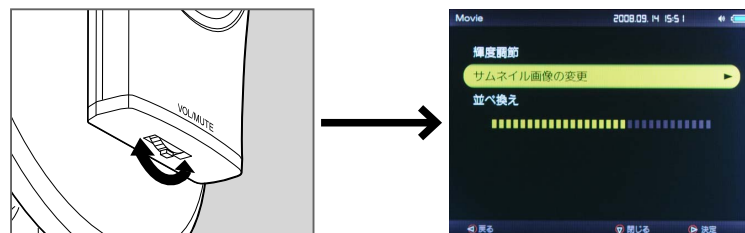
各メニューの表示方法

キーガイドに [▼メニュー] が表示されている場合、Menu キーを押すと各メニューが表示されます。



音量の調節

ボリュームスイッチを前後に倒すと、音量を調節できます。
また、ボリュームスイッチを押し込むと映像と音声を出さない（ミュート）ようにできます。再度ボリュームスイッチを押し込むか、ボリュームスイッチを前後に倒すと元に戻ります。



画面の明るさを調節する

ほぼすべてのメニューには、[輝度調節] が含まれています。[輝度調節] を実行すると、現在の画面に重なって輝度調整の目盛りが表示されます。ジョグダイヤルを↑に回すと明るく、↓に回すと暗く調節できます。輝度は 7 段階で調節できます。



頭の動きで操作する（モーションセンサー）

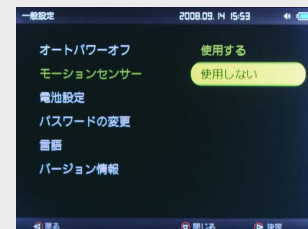
UP300x では、頭の動きだけで操作ができます（UP300 では使用できません）。各動作に対応するマルチセクターやジョグダイヤルの操作は次の表の通りです。それぞれの動作は、実行している機能によって変わります。

	上を向く	下を向く	右を向く	左を向く
通常時 *1	ジョグダイヤル：↑	ジョグダイヤル：↓	OK キー	Back キー
UP web 使用時	前のリンクにフォーカス (ジョグダイヤル：↑)	次のリンクをフォーカス (ジョグダイヤル：↓)	リンク先にジャンプ (OK キー長押し)	前のページに戻る (Back キー長押し)
音楽 / 動画再生時	ジョグダイヤル：↑	ジョグダイヤル：↓	一時停止 (Play キー)	Back キー
ミュージック ポジション使用時	ジョグダイヤル：↑	ジョグダイヤル：↓	一時停止 (Play キー)	一時停止 (Play キー)

*1: メニュー画面から呼び出される機能の一部では動作しません。

モーションセンサーを無効にするには

Home 画面で「▼メニュー」を押し、[一般設定] → [モーションセンサー] で [使用しない] を選べば、モーションセンサーが無効になります。



重要

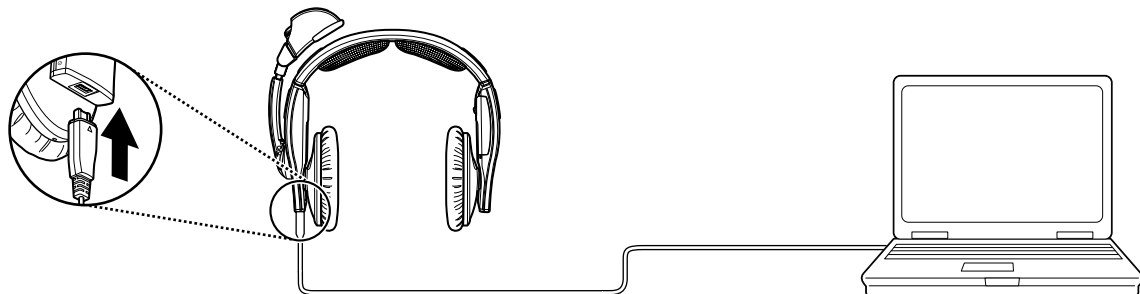
モーションセンサーを使用する場合は、周りに人がいないことをよく確かめてから実行してください。あまり強く頭を振るとアームが振れてディスプレイが顔面に当たるおそれがあるため、充分ご注意ください。

パソコンと接続する

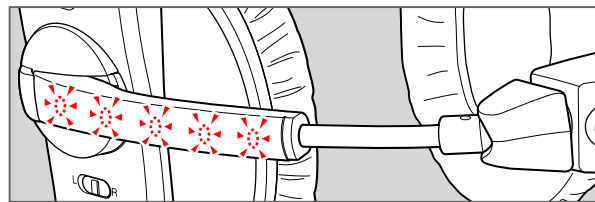
1/3

パソコンと接続して動画ファイルや音楽ファイルなどを転送できます。

1 付属の USB ケーブルでパソコンと接続します。



2 電源が OFF またはスリープしている場合、パソコンと接続すると自動的に電源が ON になり、アームサインが点灯します。



☑ USB ケーブルを接続するときのご注意

- パソコンや UP300/UP300x に USB ケーブルを接続するときは、端子の挿入方向を確認して無理な力を加えずに、まっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。
- USB ハブに接続した場合の動作は保証しておりません。
- パソコンと接続する際は、UP300/UP300x に電池を装填した状態でお使いください。電池を装填せずにパソコンと接続した場合は、起動後自動的に UP300/UP300x がシャットダウンします。

パソコンと接続する

2/3

パソコンに接続して、動画ファイルや音楽ファイルなどを転送する場合、2 種類のアプリケーション（Windows Media Player および UPlink ソフト）を使用します。これらは使用するメニューごとに役割が異なります。

Windows Media Player

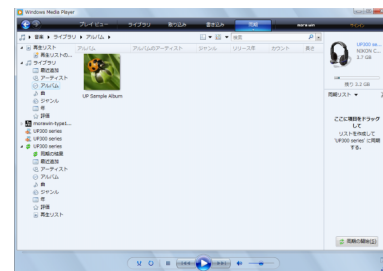
Windows に標準搭載されているメディアプレイヤーです。^{*1}

Windows Media Player は、次のメニューで使します。

使用するメニュー	参照
movie	movie で再生する動画ファイルを転送する
music	music で再生する音楽ファイルを転送する
photo	photo で表示する画像ファイルを転送する ^{*2}

^{*1}：連携できるバージョンは Windows Media Player 10 または Windows Media Player 11 です。

^{*2}：Windows Media Player 10 をご使用の場合は、転送できる解像度の上限は VGA となります。



UPlink ソフト (UP リンクソフト)

当社が提供するコンテンツ管理ソフトウェアです。コンテンツ配信サービス「[UP リンク](#)」と連携し、動画コンテンツをダウンロードしたり、podcast のコンテンツを管理したりできます。^{*1}

UPlink ソフトは、次のメニューで使します。

使用するメニュー	参照
UP download	UP download/UP stream の概要
UP stream	UP stream で番組を視聴する
podcast	podcast の概要 ^{*2}
UP web	UP web の基本的な使用方法

^{*1}：UPlink ソフトは、次の URL からダウンロードできます。 <http://www.upxup.jp/support/downloads/>

^{*2}：Windows Media Player 10 がインストールされているパソコンをご使用の場合は、AAC/M4A 形式の音声データを転送できません。

・転送可能なファイルサイズは、1 ファイルあたり最大 4GB です。それより大きなファイルは転送できません。



パソコンと接続する

3/3

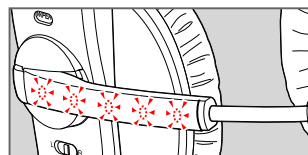
■UPLink ソフトの動作環境

OS	Microsoft Windows Vista Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate(すべて 32bit 版) (SP1 以前) Microsoft Windows XP Professional/Home Edition (SP2、SP3) ※各ブリーインストールモデルのみ
プロセッサ	クロック 1GHz 以上 Intel Celeron/Pentium 4/Core シリーズ
RAM	Windows Vista：1.5GB 以上の物理 RAM (400MB 以上の空き領域が必要) Windows XP：1 GB 以上の物理 RAM (400MB 以上の空き領域が必要)
モニター解像度	800 × 600 ピクセル以上 (1024 × 768 以上を推奨)、16bit カラー以上
ハードディスク容量	インストール時に 60MB 以上の空き容量が必要 (その他にコンテンツ格納用の領域が必要)
その他	USB ポートを標準装備 (Hi-Speed USB を推奨)、インターネット接続ができる環境 (ブロードバンドを推奨)、 .Net Framework3.0 および Windows Media Player10 または 11 がインストールされている環境

パソコンとの接続解除

動画ファイルなどを転送中は、ディスプレイに「PC と通信中です USB を取り外さないで下さい」と表示され、アームサインが点滅します。この状態の場合は USB ケーブルを抜かないでください。

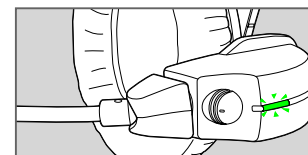
通信中に USB ケーブルを抜いて接続を解除すると、転送中のファイルが破損するおそれがあります。



左記の状態以外の場合、いつでも USB ケーブルを抜いて構いません。トップサインが緑に点灯し、アームサインが消灯していることを確認して USB ケーブルを抜いてください。「転送したデータを整理しています」と表示された後 Home 画面に戻ります。^{*1 *2}

*1：この画面が閉じるまで数分かかることがあります。

*2：画面タイトルおよびキーガイドを表示するエリアが点滅することがあります。



無線 LAN アクセスポイントと接続する

1/3

無線 LAN でインターネットに接続して動画コンテンツを再生したり、Web ページを閲覧したりできます。無線 LAN に接続するメニューは [UP stream]、[UP download]、[UP web] です。

無線 LAN ネットワークの設定

無線 LAN アクセスポイントに接続するには、UPlink ソフトを使用して無線 LAN ネットワークを設定する必要があります。ここで SSID やネットワーク認証方法、暗号化キーなどを設定すると、特定の無線 LAN アクセスポイントに接続できます。パソコンを接続した状態で UPlink ソフトを起動し、[setting] → [無線 LAN 設定] で設定できます。詳しい設定方法は UPlink ソフトのヘルプを参照してください。

無線 LAN 接続の設定について

対応する無線 LAN の規格は次のとおりです。

準拠規格	802.11b/g
アクセス方法	インフラストラクチャーモード
セキュリティ	WEP (64/128bit)、TKIP、AES

☑ 公衆無線 LAN について

メディア ポート UP は次の公衆無線 LAN サービスに対応しています。これら公衆無線 LAN サービスを利用するには、各サービスプロバイダーとの接続契約が必要です。契約方法については次のホームページでご確認ください。

- BB モバイルポイント： <http://www.softbanktelecom.co.jp/consumer/wlan/index.html>
- ホットスポット^{*1}： <http://www.hotspot.ne.jp/>
- フレッツ・スポット^{*2} (NTT 東日本)： <http://flets.com/spot/>
- フレッツ・スポット^{*2} (NTT 西日本)： <http://www.ntt-west.co.jp/flets/spot/>

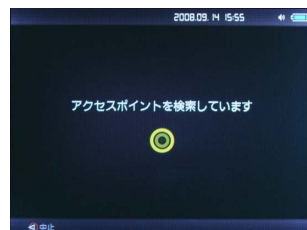
*1：IEEE802.1X オプションは利用できません。

*2：標準プランのみの対応となります。

無線 LAN アクセスポイントと接続する（設定されているアクセスポイントの場合） 2/3

あらかじめ Uplink ソフトで無線 LAN ネットワーク設定を行った無線 LAN アクセスポイントとの接続は、次の手順で行います。

- 1 無線 LAN に接続する必要がある場合、ディスプレイの表示が自動的に接続画面になり、無線 LAN アクセスポイントの SSID 検索が始まります。



〔無線 LAN 設定〕で〔無線 LAN 接続先〕が〔前回の選択を優先〕に設定されていて、前回接続した SSID が検出された場合、一覧は表示されません。ステップ 3 へお進みください。

- 2 SSID の一覧が表示されます。接続したい SSID をジョグダイヤルで選んで、〔▶ 決定〕を押します。



- 3 無線 LAN ネットワークの設定済みの SSID や、暗号化がされていない SSID の場合、接続が開始されます。接続に成功すると、UP stream や UP web の画面が表示されます。

無線 LAN 接続先の設定

〔無線 LAN 設定〕は Home 画面の〔▼メニュー〕→〔無線 LAN 設定〕で設定できます。〔前回の選択を優先〕または〔毎回選択〕を選びます。

〔前回の選択を優先〕を選ぶと、前回接続した SSID を検索し、自動的に接続します。前回接続した SSID と同じ名称の SSID が見つからなかった場合は、検索結果の SSID を電波強度の順に 10 件表示します。

〔毎回選択〕を選ぶと、検索結果の SSID を電波強度の順に 10 件表示します。



SSID が見つからなかった場合

SSID がひとつも見つからなかった場合、「アクセスポイントが見つかりませんでした」と表示されます。

同じ SSID が複数設定されている場合

Uplink ソフトでの無線 LAN ネットワーク設定時に入力したネットワーク名で設定情報を選択します。

無線 LAN の認証

約 60 秒経過しても接続できなかった場合、「接続に失敗しました。もう一度アクセスポイントを検索しますか?」と表示され、〔はい〕を選ぶと再度アクセスポイントを検索します。〔いいえ〕を選ぶと WEP キーを入力し直すことができます。

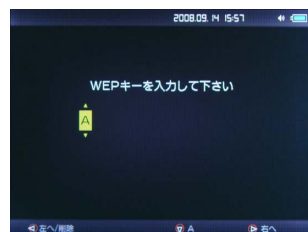
無線 LAN アクセスポイントと接続する（設定されていないアクセスポイントの場合） 3/3

無線 LAN ネットワークの設定をしていないアクセスポイントに接続する場合は、WEP キーなどを直接入力できます。^{*1}

- 無線 LAN に接続する必要がある場合、自動的に接続画面になります。SSID の一覧が表示されたら、接続したい SSID をジョグダイヤルで選んで、**[▶ 決定]** を押します。



- WEP キーの入力画面になります。ジョグダイヤルで文字を選び、OK キーで次の文字へ移動します。すべての文字を入力し終えたら、**[▲ 決定]** を押します。



WEP キーが正しくない場合、「WEP キーが正しくありません」と表示されます。WEP キーをご確認の上、再度入力してください。

- ID とパスワードを必要とする公衆無線 LAN アクセスポイントに接続している場合、ID とパスワードの入力画面が表示されます。

ID とパスワードを入力して **[▶ 決定]** を押します。

- 接続が開始されます。接続に成功すると、UP stream や UP web の画面が表示されます。

WEP キー、ID、パスワードのいずれかが正しくない場合、**[接続できませんでした 再入力しますか?]** と表示されます。WEP キーなどを入力し直して再接続する場合は、**[はい]** を選んで再度入力してください。

^{*1}: 接続するアクセスポイントの [認証] がオープンシステムで、[暗号化] が WEP の場合に限ります。

文字の入力文字の切り換え

マルチセレクトの Menu キーを押すと、大文字アルファベット→小文字アルファベット→数字→記号の順に入力文字が切り替わります。キーガイドには **[A]** (大文字アルファベット) / **[a]** (小文字アルファベット) / **[1]** (数字) / **[@]** (記号) と表示されます。



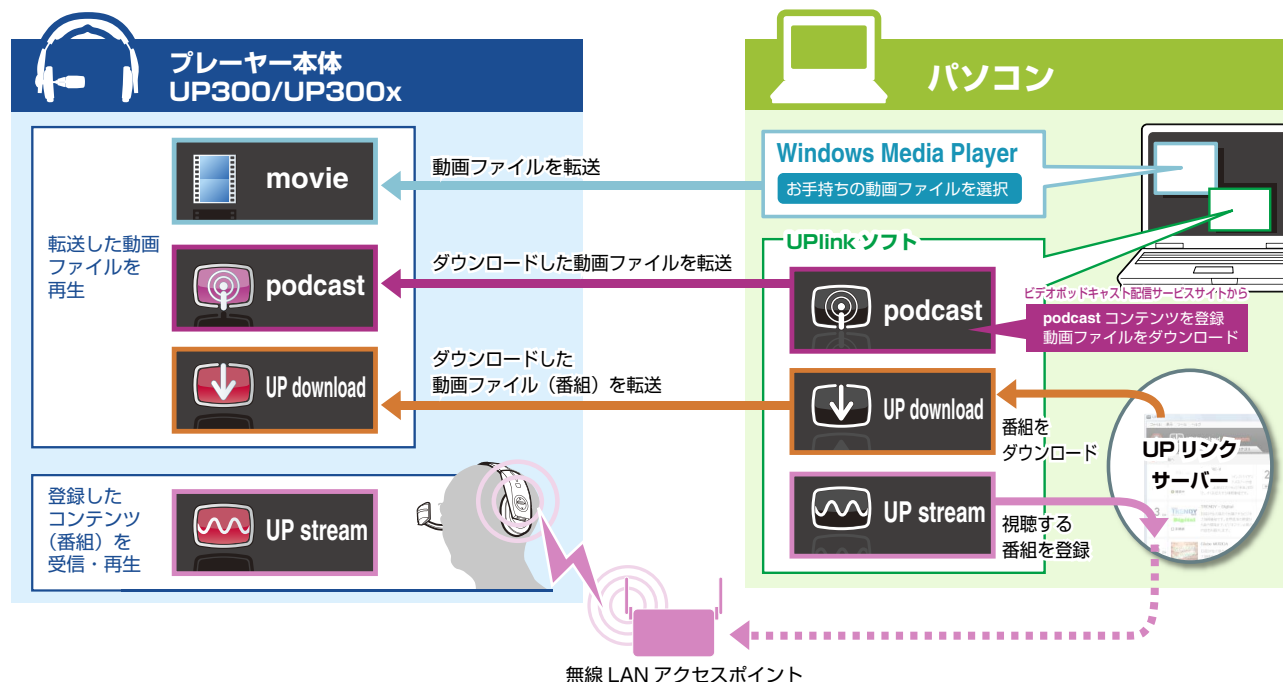
第 3 章 : 動画を見る



- 動画を再生できるメニュー P.26
- movie で再生する動画ファイルを転送する P.27
- movie で動画を再生する P.29
- UP リンクの概要 P.30
- UP download/UP stream の概要 P.31
- UP download で番組を再生する P.33
- UP stream で番組を視聴する P.35
- podcast の概要 P.37
- podcast で動画を再生する P.38
- 動画再生時の便利な機能 P.39

動画を再生できるメニュー

本製品で動画を再生できるメニューは、次のとおりです。



■[movie] で再生できる動画ファイル形式 *1

[movie] で再生できる動画ファイルの形式は、MPEG 形式 (拡張子 .mpg または .mpeg)、WMV9 形式 (拡張子 .wmv) です。AVI 形式^{*2} (拡張子 .avi) や MOV 形式 (拡張子 .mov)、MPEG4/H.264 形式 (拡張子 .mp4 または .m4v) などは再生できません。

*1: 対応しているフォーマットであってもすべてのファイルを再生できるとは限りません。

*2: Windows Media Player で再生可能なファイルは、転送時にフォーマット変換されます。

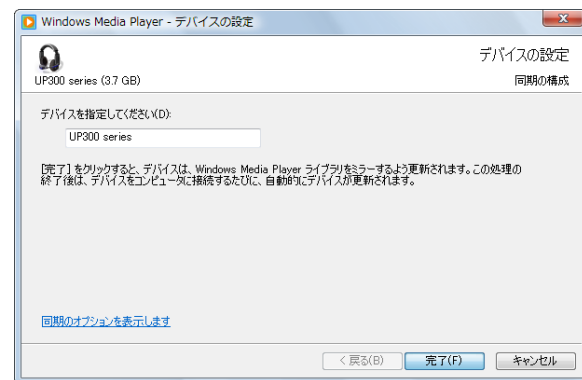
movie で再生する動画ファイルを転送する

1/2

[movie] で再生する動画ファイルをパソコンから転送するには、Windows Media Player を使用します。Windows Media Player の詳しい使用方法は、Windows Media Player のヘルプを参照してください。

1 付属の USB ケーブルでパソコンと接続します。

2 Windows のスタートメニューから Windows Media Player を選び、起動します。初めて Windows Media Player と接続した場合、**「デバイスの設定」** ダイアログが表示されます。**「完了」** をクリックすると、転送が開始されます。**「キャンセル」** をクリックすると、手動で転送します。



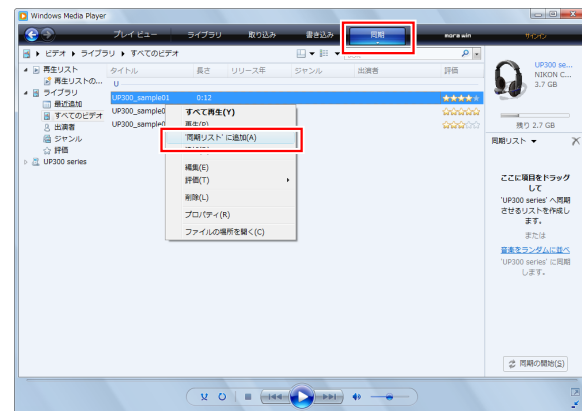
3 **「カテゴリの選択」** ボタンで **「ビデオ」** を選びます。Windows Media Player に登録されている動画ファイルの一覧が表示されます。



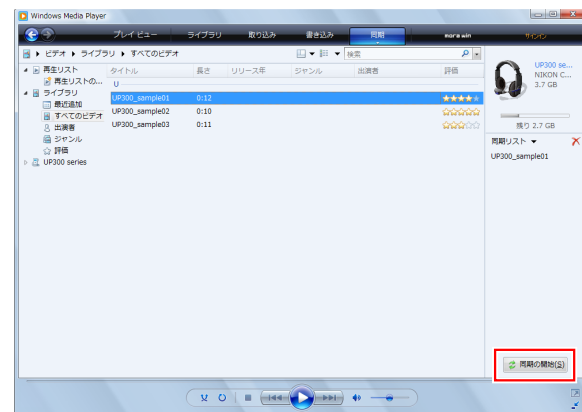
movie で再生する動画ファイルを転送する

2/2

- 4** **【同期】** タブをクリックして、画面の右側に **【同期リスト】** が表示させます。
転送したい動画ファイルを右クリックして **['同期リスト'に追加]** を選べが、
【同期リスト】 にドラッグ&ドロップします。
【同期リスト】 に転送する動画ファイルの一覧が表示されます。



- 5** **【同期の開始】** ボタンをクリックすると、転送が開始します。
転送が終了したら、Windows Media Player を終了してパソコンと接続
を解除します。



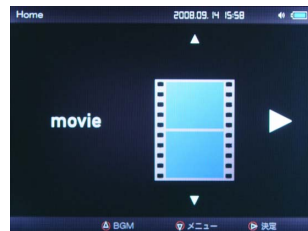
重要

転送が完全に終了するまで、接続を解除しないでください。ファイルが破損するおそれがあります。

movie で動画を再生する

[movie] で動画を再生するには、次の手順で操作します。

- 1 Home 画面の [movie] で **▶ 決定** を押します。



- 2 再生したい動画ファイルをジョグダイヤルでスクロールして選びます。^{*1}

一度も再生したことの無い動画ファイルには、[NEW] アイコンが表示されます。



*1: 著作権保護のかかった動画ファイルの場合、サムネイルは表示されません。

動画ファイルの並び順を変更する

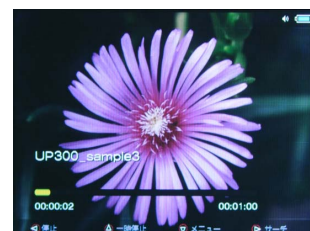
[▼ メニュー] を押して **[並べ換え]** を選ぶと、並び順を変更できます。

[最後に再生したファイル] とは

前回再生した動画ファイルが、**[最後に再生したファイル]** として **[ムービー選択メニュー]** 内の最上部に表示されています。

- 3 **▶ 再生** を押すと、再生を開始します。

以前に途中まで再生したファイルを選択した場合は、**[最後の位置から再生しますか?]** と表示されます。前回再生停止した位置から再生する場合は **[はい]**、最初から再生する場合は **[いいえ]** を選びます。



- 4 再生を一時停止したい場合は **[▲ 一時停止]**、停止したい場合は **[◀ 停止]** を押します。



UP リンクの概要

UP リンクは、当社が提供する動画コンテンツ配信サービスです。動画コンテンツ (番組) をストリーミング配信する UP stream と、ダウンロード配信する UP download があります。

UP stream は、UP300/UP300x で無線 LAN アクセスポイントに接続し、直接番組をお楽しみいただけます。

UP download はパソコンであらかじめ番組をダウンロードし、付属の USB ケーブルでパソコンに UP300/UP300x を接続して番組を転送して視聴できます。高ビットレートのきれいで高音質な番組をお楽しみいただけます。



UP リンクについて

- UP リンクで番組を視聴するには、利用登録して ID とパスワードを設定の上、お使いの UP300/UP300x を登録 (エントリー) する必要があります。
- 利用登録は次の URL から行ってください。
<http://www.upmedia.jp/users/reg/>
- お使いの UP300/UP300x を UP リンクにエントリーするには、お使いのパソコンをインターネットに接続した状態で、Uplink ソフトの [ツール] → [UP 設定] → [UP のエントリー] から行ってください。詳しくは Uplink ソフトのヘルプを参照してください。

UP download/UP stream の概要

1/2

[UP download] と [UP stream] では次のような違いがあります。

	UP download	UP stream
番組の取得および 管理方法	UPlink ソフトで、視聴したい番組をパソコンにダウンロードします。ダウンロードした番組は UPlink ソフトの [library] で管理されます。UP 本体で無線 LAN で直接ダウンロードすることもできます。	UPlink ソフトで、UP リンクサーバーに登録されている番組から、視聴を希望するものを選択（購読）します。番組の購読情報は UP リンクサーバーで管理され、UP300/UP300x が無線 LAN で UP リンクにアクセスした際に、購読設定した情報が UP300/UP300x にダウンロードされます。
番組の視聴方法	パソコンにダウンロードされた番組を、付属の USB ケーブルで接続して、あらかじめ UP300/UP300x に転送しておきます。視聴時は UP300/UP300x に転送された番組から、見たいものを選んで再生します。詳しい転送方法は UPlink ソフトのヘルプを参照してください。	無線 LAN で UP リンクサーバーに接続すると、あらかじめ購読設定されている番組の一覧をダウンロードします。ダウンロードした番組一覧から視聴したい番組を選ぶと、UP リンクサーバーから番組がストリーミング配信されます。
無線 LAN の使用	UP300/UP300x で直接番組をダウンロードするときのみ必要となります。	無線 LAN アクセスポイントに接続できない場所では視聴できません。
容量	UPlink ソフトで転送したり、UP300/UP300x でダウンロードする番組以上の空き容量が必要です。	空き容量を気にする必要はありません。

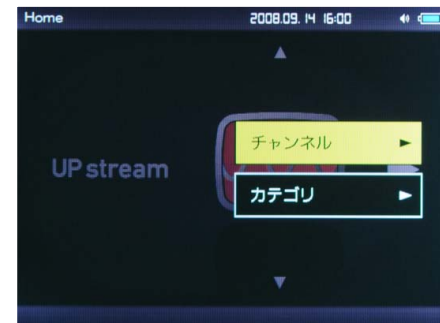
UP download/UP stream の概要

2/2

【チャンネル】 と 【カテゴリ】 について

UP リンクの UP stream と UP download で提供するサービスには【チャンネル】 と 【カテゴリ】 があります。これらはそれぞれ次のような特徴があります。

チャンネル	各チャンネルのテーマに沿ってさまざまな内容のコンテンツが一本の番組にまとめられています。一本の番組が定期的に更新され、いつでも最新の番組を視聴できます。 希望のチャンネルを購読設定すると、UP download では指定の日時に自動的に UP リンクサーバーから番組をダウンロードできます。UP stream では、購読設定することで設定されたチャンネルが UP300/UP300x で視聴できます。
カテゴリ	各カテゴリのテーマに沿ってさまざまな内容の番組がたくさん登録されています。UP download では視聴したい番組を選んでパソコンにダウンロードできます。UP stream では、あらかじめ見たい番組を UP リンクで購読設定することで、UP300/UP300x で無線 LAN で接続した際に視聴できます。



UP download で番組を再生する

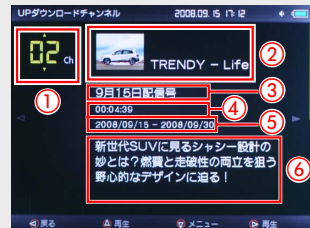
1/2

[UP download] の [チャンネル] で番組を再生するには、次の手順で操作します。

- 1 [UP download] → [チャンネル] を選んで [▶ 決定] を押します。
- 2 番組の情報が表示されます。ジョグダイヤルを回すと、チャンネルが切り替わります。
- 3 [▶ 再生] を押すと、再生が始まります。
番組によっては、番組の途中または最後にレーティングの入力を促す画面が表示されるので、ジョグダイヤルで星の数を選んで [▶ 決定] を押します。[変更しない] を選ぶと、レーティングを設定しません。

番組の情報画面について

- | | |
|---|--------------------|
| ① | チャンネル番号 |
| ② | サムネイル / チャンネル名 |
| ③ | 番組名 ^{*1} |
| ④ | 総時間 |
| ⑤ | 視聴期限 ^{*2} |
| ⑥ | 番組の説明 |

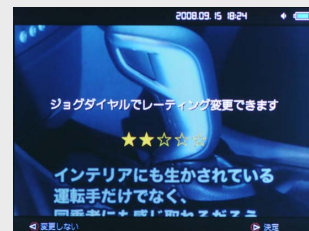


*1: 一度も再生したことのない番組には [NEW] アイコンが表示されます。

*2: 期限を越えて再生しようとした場合はエラーが表示されます。詳しくは [「動画が再生できない」](#) を参照してください。

レーティングとは

レーティングは、そのコンテンツの「お気に入り度」を設定する機能です。入力されたレーティングの値は、次回パソコンに接続したときに UPlink ソフトから UP リンクサーバーに送信されます。その際にレーティング情報以外の個人情報は送信されません。



最新のコンテンツをダウンロードする

[チャンネル] の場合、最新のコンテンツを UP300/UP300x でダウンロードできます。[チャンネル選択画面] のメニューから [最新番組の確認] を選ぶと、無線 LAN と接続して最新のコンテンツをチェックできます。番組が更新されている場合、番組をダウンロードできます。^{*1}

なお、UP300/UP300x で直接ダウンロードした番組は、パソコンにはコピーできません。

*1: 配信する番組には著作権保護がかかっているものがあり、番組のダウンロード時に同時にライセンス情報がダウンロードされます。ライセンスの発行回数は、UPlink ソフト、UP 本体それぞれ 1 回ずつとなっています。ご使用のパソコンを変更するなど、ライセンスの再発行が必要な場合は最終ページに記載されている UP カスタマーサポートセンターまでご連絡ください。

UP download で番組を再生する

2/2

[UP download] の [カテゴリ] で番組を再生するには、次の手順で操作します。

1 [UP download] → [カテゴリ] を選んで [▶ 決定] を押します。

2 カテゴリの一覧が表示されます。ジョグダイヤルを回してカテゴリを選んで [▶ 決定] を押します。

3 番組の一覧が表示されます。
[▶ 再生] を押すと、再生が始まります。



4 再生を一時停止したい場合は [▲ 一時停止]、停止したい場合は [◀ 停止] を押します。

番組の一覧画面について

- | |
|------------------|
| ① サムネイル |
| ② カテゴリ名 |
| ③ 選択中の番組の説明 |
| ④ 選択中の番組の再生時間 |
| ⑤ 選択中の番組の視聴期限 *2 |
| ⑥ 番組一覧 *1 |

*1: 一度も再生したことのない番組には [NEW] アイコンが表示されます。

*2: 期限を越えて再生しようとした場合はエラーが表示されます。詳しくは「[動画が再生できない](#)」を参照してください。



カテゴリ / 番組の並び順を変更する

カテゴリの一覧または番組の一覧を表示している際に、[▼ × ニュー] を押して [並べ換え] を選ぶと、並び順を変更できます。

UP stream で番組を視聴する

1/2

[UP stream] で番組を視聴するには、次の手順で操作します。[UP stream] では、あらかじめ UPlink ソフトで視聴する番組を UP リンクサーバーに登録（購読）しておく必要があります。番組の購読補方法は UPlink ソフトのヘルプを参照してください。[UP stream] の [チャンネル] で番組を視聴するには、次の手順で操作します。

- 1 [UP stream] → [チャンネル] を選んで [▶ 決定] を押します。
- 2 無線 LAN アクセスポイントとの接続が開始されます。
無線 LAN アクセスポイントと接続する詳しい方法は「[無線 LAN アクセスポイントと接続する](#)」を参照してください。
- 3 無線 LAN アクセスポイントへの接続が成功すると、購読している番組の一覧が表示されます。

- 4 [▲ 再生] または [▶ 再生] を押すと再生が開始します。^{*2}
番組によっては、番組の途中または最後にレーティングの入力を促す画面が表示されるので、ジョグダイヤルで星の数を選んで [▶ 決定] を押します。[変更しない] を選べど、レーティングを設定しません。
- 5 再生を一時停止したい場合は [▲ 一時停止]、停止したい場合は [◀ 停止] を押します。ジョグダイヤルを ↑ に回すと前のチャプター、↓ に回すと次のチャプターに進めます（番組の設定によっては、できない場合もあります）。^{*2}

番組の情報画面について

①	チャンネル番号
②	サムネイル / チャンネル名
③	番組名
④	総時間
⑤	視聴期限 ^{*1}
⑥	番組の説明



^{*1}: 期限を越えて再生しようとした場合はエラーが表示されます。詳しくは「[動画が再生できない](#)」を参照してください。

^{*2}: サーバーからの読み込みのため、再生開始まで時間がかかることがあります。

レーティングとは

レーティングは、そのコンテンツの「お気に入り度」を設定する機能です。入力されたレーティングの値は、再生停止時に UP リンクサーバーに送信されます。その際にレーティング情報以外の個人情報には送信されません。



UP stream で番組を視聴する

2/2

[UP stream] の [カテゴリ] で番組を視聴するには、次の手順で操作します。

1 [UP stream] → [カテゴリ] を選んで [▶ 決定] を押します。

2 無線 LAN アクセスポイントとの接続が開始されます。
無線 LAN アクセスポイントと接続する詳しい方法は「[無線 LAN アクセスポイントと接続する](#)」を参照してください。

3 無線 LAN アクセスポイントへの接続が成功すると、購読している番組の一覧が表示されます。

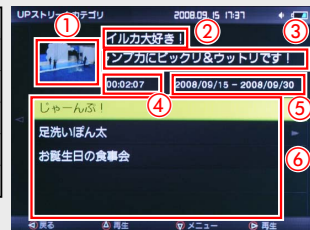
4 再生を一時停止したい場合は [▲ 一時停止]、停止したい場合は [◀ 停止] を押します。

■ カテゴリ / 番組の並び順を変更する

カテゴリの一覧または番組の一覧を表示している際に、[▼ メニュー] を押して [並べ換え] を選ぶと、並び順を変更できます。

■ 番組の一覧画面について

① サムネイル
② カテゴリ名
③ 選択中の番組の説明
④ 選択中の番組の再生時間
⑤ 選択中の番組の視聴期限 ^{*1}
⑥ 番組一覧



*1: 期限を越えて再生しようとした場合はエラーが表示されます。詳しくは「[動画が再生できない](#)」を参照してください。

podcast の概要

[podcast] は、動画コンテンツ (ビデオ podcast) を配信している Web サイトから登録 / ダウンロードした動画ファイルや音声ファイルを再生できます。

コンテンツの登録方法

[podcast] で視聴するコンテンツを購読 / 登録するには、UPlink ソフトの [podcast] → [library] から行います。

購読 / 登録 / 転送の詳しい方法は UPlink ソフトのヘルプを参照してください。



☑[podcast] で再生できる動画ファイル形式

podcast で再生可能なファイル形式は MPEG1 形式、MPEG2 形式 (拡張子 .mpg/.mpeg)、WMV 形式 (拡張子 .wmv) です。再生できないフォーマット、ビットレート of ファイルには、[PC] のアイコンが  と表示され、転送できません。

著作権保護のかかった WMV ファイルでライセンスの取得されていないものも転送できません。

podcast で動画を再生する

[podcast] で動画を再生するには、次の手順で操作します。

- 1 [podcast] で **[▶ 決定]** を押します。
- 2 再生したい動画ファイルが含まれているサイト名を選んで **[▶ 決定]** を押します。
- 3 再生したい動画ファイルをジョグダイヤルでスクロールして選びます。
一度も再生したことのない動画ファイルには、**[NEW]** アイコンが表示されます。
- 4 **[▶ 再生]** を押すと、再生が始まります。
- 5 再生を一時停止したい場合は **[▲ 一時停止]**、停止したい場合は **[◀ 戻る]** を押します。

動画ファイルの並び順を変更する

[▼ メニュー] を押して **[並べ換え]** を選ぶと、並び順を変更できます。

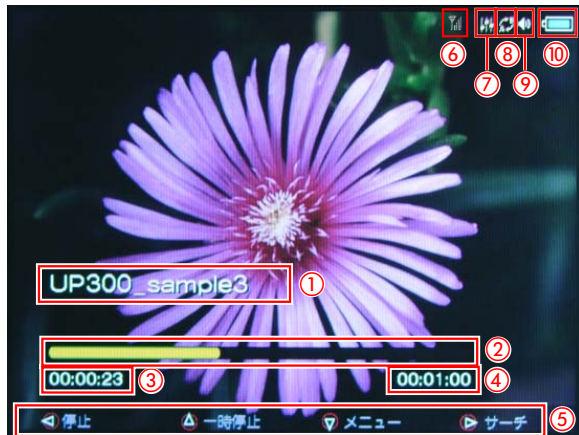
動画再生時の便利な機能

1/7

[movie]、[UP download]、[UP stream]、[podcast] で動画を再生する際に使用すると便利な機能を紹介します。

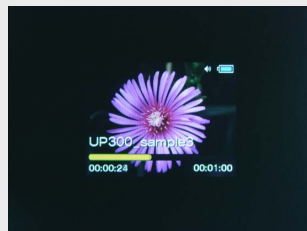
動画再生時の画面構成

動画ファイルを再生開始するか、なにか操作をすると下の画面になります。



☑ [表示サイズ] が [小] の場合

[動画表示設定] → [表示サイズ] で [小] を選んでいる場合、画面の大きさが半分にになり、キーガイド (⑤)、イコライザー (⑦) は表示されなくなります。



① タイトル	動画ファイル名が表示されます。*1
② プログレスバー	現在の再生位置が表示されます。
③ 現在の再生時間	現在までの経過時間が表示されます。
④ 総時間	動画ファイルの総時間が表示されます。
⑤ キーガイド	操作できる機能が表示されます。
⑥ 電波強度	無線 LAN との接続中に、アクセスポイントの電波強度が表示されます。
⑦ イコライザー	イコライザーが [Normal] 以外に設定されている場合に表示されます。
⑧ リピート	リピート再生 や A-B 間リピート再生 を設定している場合に表示されます。
⑨ 音量	音量を示すマークが表示されます。
⑩ 電池残量	電池残量が表示されます。

*1: [UP stream] [UP download] の [チャンネル] の場合はチャンネル名と番組名、[カテゴリ] の場合は番組名が表示されます。[podcast] の場合はコンテンツ名が表示されます。

☑ アイコンについて

この章で使用する各アイコンは、次のメニューを表しています。



= movie、



= UP download、



= UP stream、



= podcast

動画再生時の便利な機能

2/7

スキップ

動画再生中、ジョグダイヤルを↑に回すと 5 秒前、↓に回すと 5 秒後に再生位置を移動します。

チャプター送り

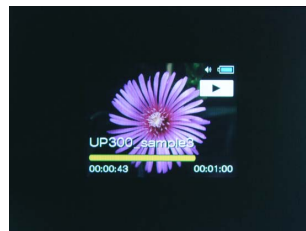
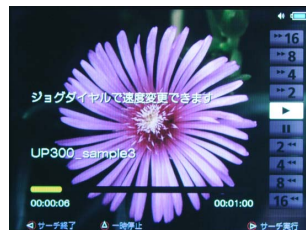
番組再生中、ジョグダイヤルを↑に回すと、チャプターの先頭から 1 秒以内の場合は前のチャプターに、1 秒以降の場合はチャプターの先頭に戻ります。↓に回すと次のチャプターにジャンプできます。*1

サーチ

動画再生中、[▶ サーチ] を押すとサーチボタンが表示されます。ジョグダイヤルで選んで [▶ サーチ実行] を押すと、お好みの早さで動画を再生 / 一時停止 / 早送り / 巻き戻しができます。*1

[表示サイズ] で [小] を選んでいる場合、OK キーを押すとサーチボタンがひとつ表示されます。ジョグダイヤルを回すとサーチボタンが切り替わります。お好みの早さを選んで、OK キーを押すとサーチが実行できます。

サーチを終了するには、一倍速の設定にしてしばらく再生を続けるか、[◀ サーチ終了] を押します。



▶▶ 16 ~ ▶▶ 2	2 ~ 16 倍速で早送りします。
▶	再生します。
⏸	一時停止します。
2 ◀◀ ~ 16 ◀◀	2 ~ 16 倍速で巻き戻します。

ストリームサーチ

番組再生中、[▶ サーチ] を押してジョグダイヤルを↑に回すと 15 秒前、↓に回すと 15 秒後に再生位置を移動します。*1

サーチを終了するには、しばらく再生を続けるか、[◀ サーチ終了] を押します。

*1: 設定によって実行できない番組もあります。

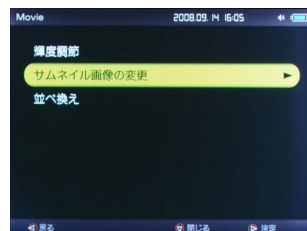
動画再生時の便利な機能

3/7

動画のサムネイルを変更する

動画ファイルを選択する際に表示されるサムネイルを、その動画ファイルのお好きな位置から指定できます。^{*1}

- 1 ムービー選択画面で [▼メニュー] を押し、[サムネイル画像の変更] を選んで [▶決定] を押します。



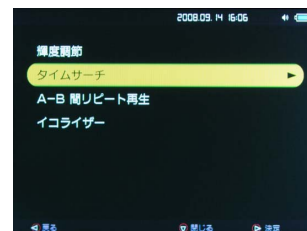
- 2 ジョグダイヤルでサムネイルに設定したい再生位置を選び、[▶決定] を押すとサムネイルが変更されます。
[▲再生] または [▲一時停止] で好きなところまで再生位置を進めることもできます。



見たい場所から見る

動画ファイルの再生位置をジョグダイヤルで直接指定できます。^{*2 *3}

- 1 動画ファイル再生中に [▼メニュー] を押し、[タイムサーチ] を選んで [▶決定] を押します。



- 2 プログレスバーと時間が画面に重なって表示されます。
ジョグダイヤルを↑に回すと前に、↓に回すと後ろに再生位置を移動ができます。再生したい場所に合わせたら、[▶決定] または [▲決定] を押して再生を開始します。



*1: 著作権保護のかかった動画ファイルの場合はこの機能は使用できません。

*2: 動画表示設定で [表示サイズ] が [小] に設定されている場合は実行できません。

*3: UP stream の場合は、サーバからの読み込みのため再生開始までしばらく時間がかかることがあります。

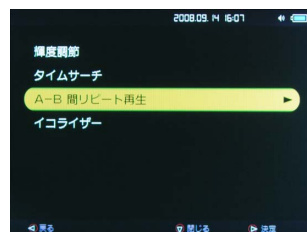
動画再生時の便利な機能

4/7

同じ部分を繰り返して見る

A-B 間リピートを設定すると、動画ファイルの同じ部分を繰り返して何度も見ることができます。*1*2

- 1 動画ファイル再生中に [▼メニュー] を押し、[A-B 間リピート再生] を選んで [▶決定] を押します。



- 2 繰り返す部分の最初となる A 点を希望の位置で [▶決定] を押して選びます。[▲一時停止] を押して再生が一時停止させ、5 秒ずつ送りながら A 点を設定することもできます。



- 3 繰り返す部分の最後となる B 点を希望の位置で [▶開始] を押して選びます。[▲一時停止] を押して再生が一時停止させ、5 秒ずつ送りながら B 点を設定することもできます。



- 4 ステップ 2～3 で設定した箇所が繰り返し再生されます。画面の右上にリピートマークが表示されます。

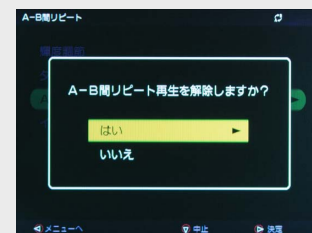


*1: 動画表示設定で [表示サイズ] が [小] に設定されている場合は実行できません。

*2: UP download の場合は、設定によって実行できない番組もあります。

■ A-B 間リピートの解除

A-B 間リピートを設定した動画ファイルを再生中に [▼メニュー] を押し、[A-B 間リピート再生] を選んで [▶決定] を押すと、A-B 間リピートの設定を解除するか確認が表示されます。解除する場合は [はい]、解除しない場合は [いいえ] をジョグダイヤルで選んで [▶決定] を押します。



また、再生を停止しても A-B 間リピート再生は解除されます。

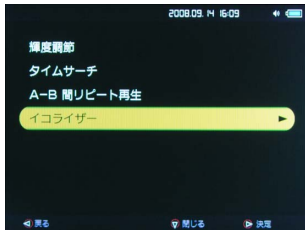
動画再生時の便利な機能

5/7

音声の効果を変更する

イコライザーで、より臨場感のある動画再生を楽しめます。

- 1 動画ファイル再生中に [▼メニュー] を押し、[イコライザー] を選んで [▶決定] を押します。



- 2 再生している動画に合った設定を選んで、[▶決定] を押します。



ユーザーセレクト

[ユーザーセレクト] を選んで [▶決定] を押すと、お好みの設定が可能です。OK キーと Back キーで周波数を移動し、ジョグダイヤルでそれぞれの周波数の音量を設定します。



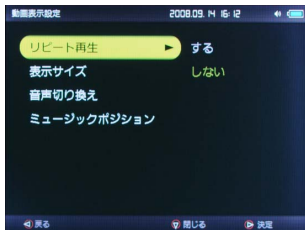
リピート設定を変更する

デフォルトで動画ファイルを繰り返して再生するかを設定できます。初期設定は [しない] に設定されています。

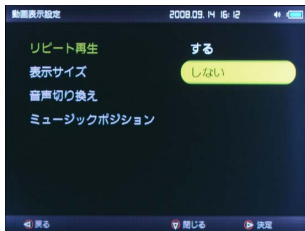
- 1 Home 画面で [▼メニュー] を押し、[動画表示設定] を選んで [▶決定] を押します。



- 2 [リピート再生] を選び、[▶決定] を押します。



- 3 繰り返し再生したい場合は [する]、繰り返したくない場合は [しない] を選び、[▶決定] を押します。[する] を選ぶと、動画終了時に自動的に最初に戻って再生を開始します。



動画再生時の便利な機能

6/7

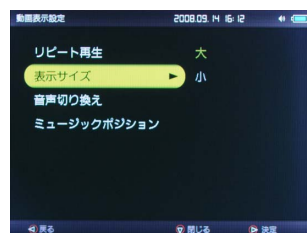
動画の表示サイズを変更する movie Download Stream Podcast

画面に表示する動画のサイズを変更できます。*

- 1 Home 画面で [▼メニュー] を押し、[動画表示設定] を選んで [▶決定] を押します。



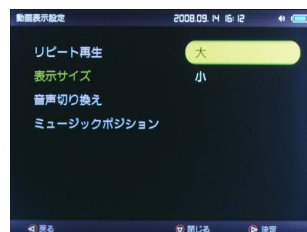
- 2 [表示サイズ] (Display Size) を選び、[▶決定] を押します。



- 3 表示倍率を選び、[▶決定] を押します。

[大]：画面いっぱいに動画を表示

[小]：画面中央の半分のサイズで表示

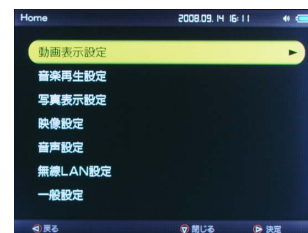


*1: 動画再生時の画面のみ

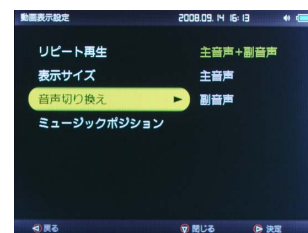
動画の音声を変更する movie Download Stream Podcast

動画ファイルに副音声がある場合、音声を切り換えられます。

- 1 Home 画面で [▼メニュー] を押し、[動画表示設定] を選んで [▶決定] を押します。



- 2 [音声切り換え] (Audio Switch) を選び、[▶決定] を押します。

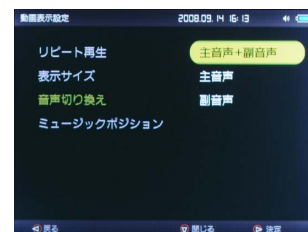


- 3 音声を選び、[▶決定] を押します。

[主音声 + 副音声]：主音声と副音声

[主音声]：主音声のみ

[副音声]：副音声のみ



動画再生時の便利な機能

7/7

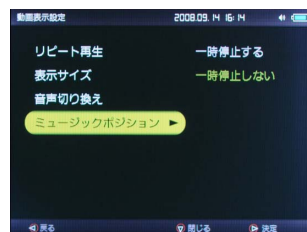
アームユニットで一時停止する

動画再生中にアームユニットを上げると、再生を一時停止できます。

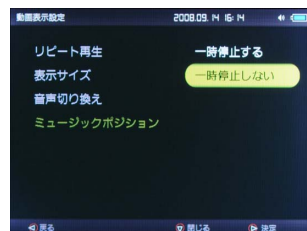
- 1 Home 画面で [▼メニュー] を押し、[動画表示設定] を選んで [▶決定] を押します。



- 2 [ミュージックポジション] を選び、[▶決定] を押します。



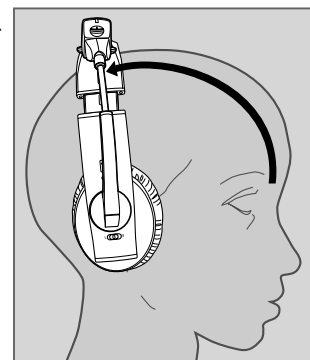
- 3 一時停止したい場合は [一時停止する]、一時停止したくない場合は [一時停止しない] を選び、[▶決定] を押します。



- 4 [一時停止する] を選んだ場合、動画再生中にヘッドバンドの位置までアームユニットを上げると、再生が自動的に一時停止します。

アームユニットを戻すと、一時停止した時点の5秒前から自動的に再生が再開します。

[一時停止しない] を選んだ場合は、ヘッドバンドの位置までアームを上げると、映像は表示されなくなりますが、音声は出力されます。





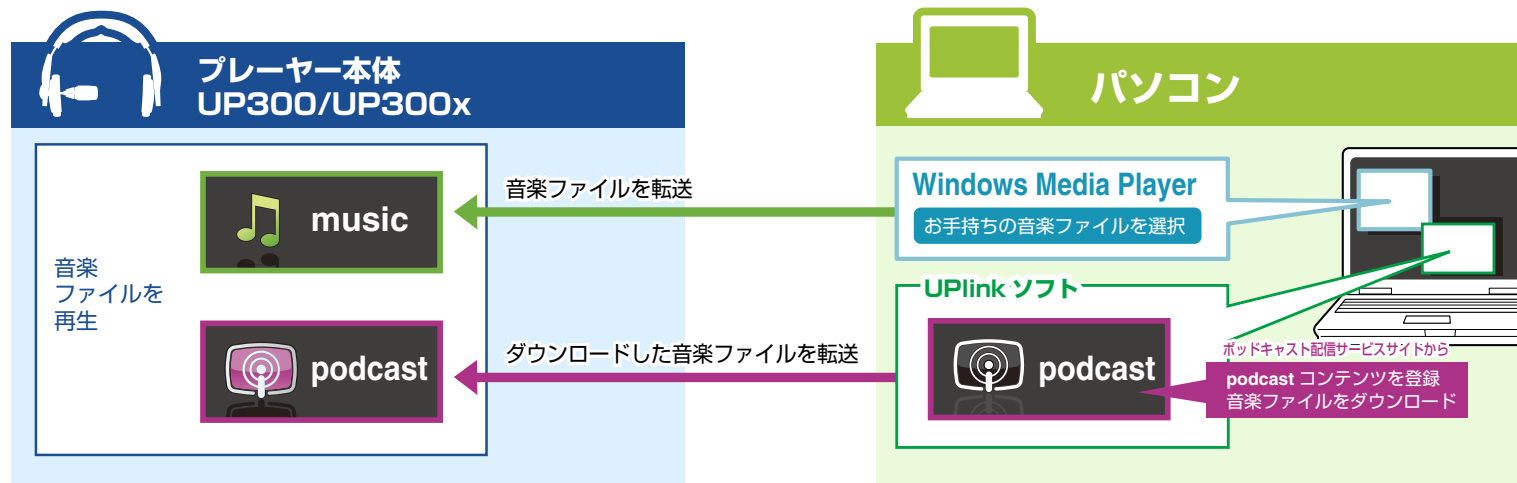
第 4 章 : 音楽を聴く



- 音楽を再生できるメニュー P.47
- music で再生する音楽ファイルを転送する P.48
- music で音楽を再生する P.51
- music で再生する音楽を選ぶ P.52
- podcast の概要 P.53
- podcast で音楽を再生する P.54
- 音楽再生時の便利な機能 P.55
- ミュージックポジションを使用する P.59

音楽を再生できるメニュー

本製品で音楽を再生できるメニューには、次のものがあります。



また、[photo] で [BGM] を選んで音楽を聴きながら写真を見ることができます。詳しくは「[音楽を聴きながら画像を表示する](#)」を参照してください。

メインメニューで [▲BGM] を選ぶと、音楽を聴きながらメニューを選べます。

☑ [music] で再生できる音楽ファイル形式 *1

[music] で再生できる音楽ファイルの形式は、MP3 形式 (拡張子 .mp3)、WMA 形式 (拡張子 .wma) です。AAC 形式 (拡張子 .3gp、.3g2、.aac、.m2ts、.m4a、.m4b、.m4p、.mov、.mp4) は再生できません。

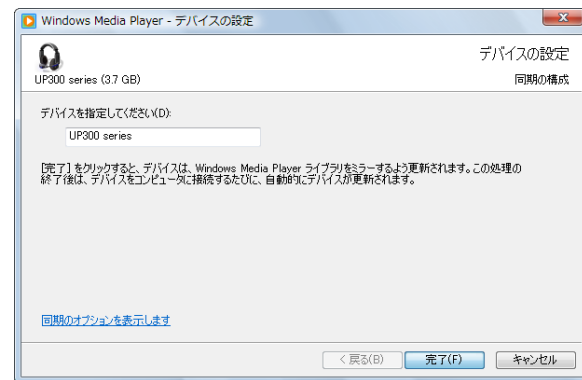
*1: 対応しているフォーマットであってもすべてのファイルを再生できるとは限りません。

music で再生する音楽ファイルを転送する

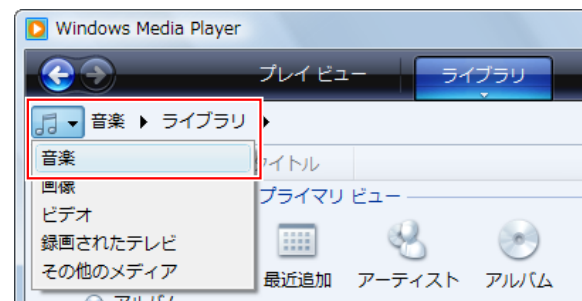
1/3

music メニューで再生する音楽ファイルをパソコンから転送するには、Windows Media Player を使用します。Windows Media Player の詳しい使用方法は、Windows Media Player のヘルプを参照してください。

- 1 付属の USB ケーブルでパソコンと接続します。
- 2 Windows のスタートメニューから Windows Media Player を選び、起動します。初めて Windows Media Player と接続した場合、**「デバイスの設定」** ダイアログが表示されます。**「完了」** をクリックすると、転送が開始されます。**「キャンセル」** をクリックすると、手動で転送します。



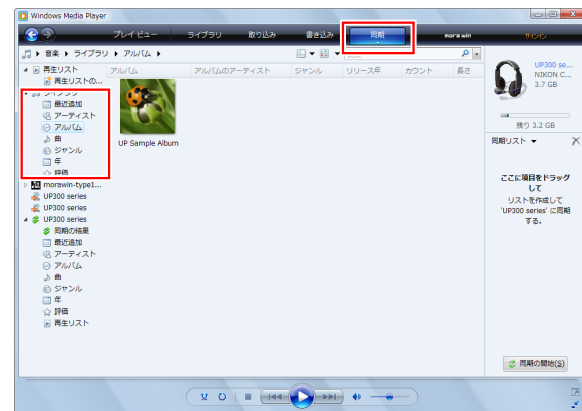
- 3 **「カテゴリの選択」** ボタンで **「音楽」** を選びます。
Windows Media Player に登録されている音楽ファイルの一覧が表示されます。



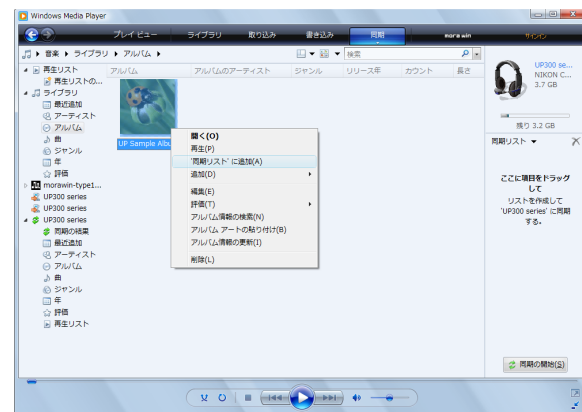
music で再生する音楽ファイルを転送する

2/3

- 4** **【同期】** タブをクリックして、画面の左側から同期させたい項目を選びます。
ここでは **【アルバム】** を選んでいます。



- 5** 転送したい音楽ファイルを右クリックして **['同期リスト'に追加]** を選ぶか、
【同期リスト】 にドラッグ&ドロップします。
【同期リスト】 に転送する音楽ファイルの一覧が表示されます。



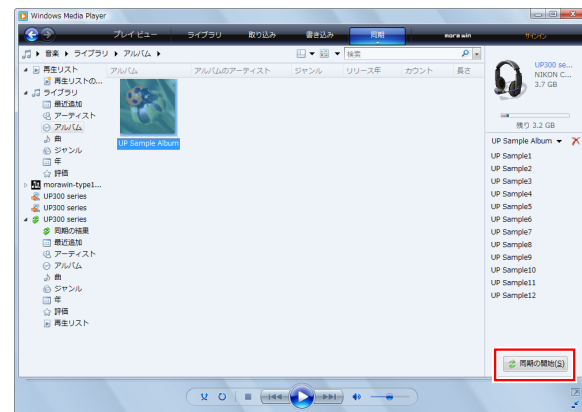
music で再生する音楽ファイルを転送する

3/3

- 6 [同期の開始] ボタンをクリックすると、転送が開始します。
- 転送が終了したら、Windows Media Player を終了してパソコンと接続を解除します。

重要

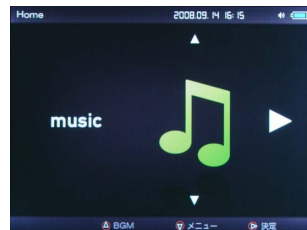
転送が完全に終了するまで、接続を解除しないでください。ファイルが破損するおそれがあります。



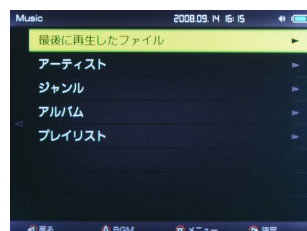
music で音楽を再生する

music メニューで音楽を再生するには、次の手順で操作します。

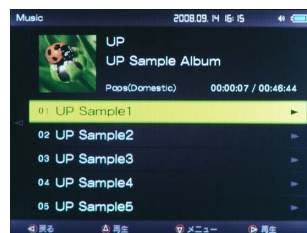
- 1** Home 画面の [music] で **▶決定** を押します。



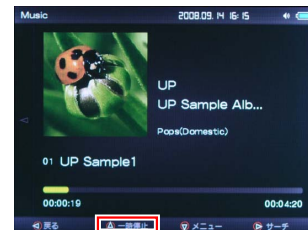
- 2** [最後に再生したファイル]、[アーティスト]、[ジャンル]、[アルバム]、[プレイリスト]の中から選び、**▶決定** を押します。



- 3** 再生したい音楽ファイルが表示されるまで、ジョグダイヤルで項目を選んで **▶再生** を押すと、再生が始まります。



- 4** 再生を一時停止したい場合は **▲一時停止** を押します。

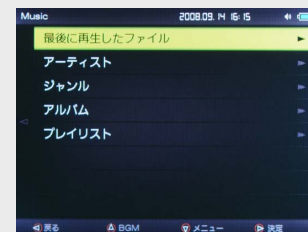


- 5** [**◀戻る**] を押すと音楽を再生したまま、前の画面に戻ります。^{*1}



最後に再生したファイルとは

前回再生した音楽ファイルが、[最後に再生したファイル]として[曲選択メニュー]内の最上部に表示されています。[最後に再生したファイル]を選んで **▲決定** を押すと、最後に再生したファイルを選択した状態で曲選択画面が表示されます。^{*2}



^{*1}: [**▲BGM**] と表示されている画面で [**▲BGM**] を押すと、再生が止まります。

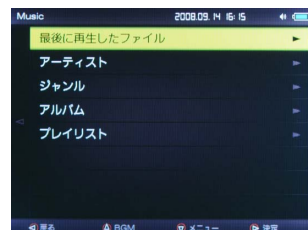
^{*2}: 最後に podcast を再生していた場合も、music の最後のファイルが選ばれます。

music で再生する音楽を選ぶ

music メニューで音楽を選ぶ際に、次のカテゴリから音楽ファイルを探すことができます。

最後に再生したファイル

前回再生した音楽ファイルが含まれるアルバムの内容が表示されます。



アーティスト

アーティストごとに音楽ファイルを探せます。アーティストを選んで **▶ 決定** を押すと、アルバムごとに音楽ファイルがまとめられています。^{*1}

ジャンル

ジャンルごとに音楽ファイルを探せます。ジャンルを選んで **▶ 決定** を押すと、アルバムごとに音楽ファイルがまとめられています。^{*1}

アルバム

アルバムごとに音楽ファイルを探せます。アルバムを選んで **▶ 決定** を押すと、音楽ファイルがまとめられています。^{*1}

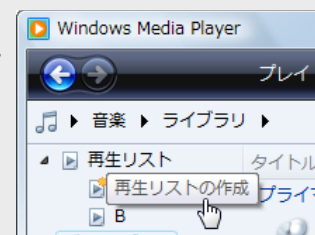
^{*1}: 各情報が含まれていない音楽ファイルは、それぞれ **[不明なアーティスト]** / **[不明なジャンル]** / **[不明なアルバム]** にまとめられています。**[すべてのアーティスト]** / **[すべてのジャンル]** / **[すべてのアルバム]** を選ぶと、現在表示しているカテゴリのすべての音楽ファイルを表示します。

プレイリスト

Windows Media Player で作成して転送したプレイリストから音楽ファイルを探せます。UP300/UP300x で対応しているプレイリストのフォーマットは WPL、ASX、M3U です。

プレイリストの作成方法

プレイリストは Windows Media Player の左側で **再生リストの作成** をクリックし、名前をつけて作成します。詳しくは Windows Media Player のヘルプを参照してください。



音楽を購入する

音楽ファイル選択時に **▼ メニュー** を押し、**購入する** を選んで **▶ 決定** を押すと、**[する]** または **[しない]** が選べます。**[する]** を選ぶと、次回パソコンを接続して Windows Media Player で同期を実行すると、その音楽ファイルを購入する画面に移動できます。

podcast の概要

podcast は、音楽コンテンツを配信している Web サイトから登録 / ダウンロードした音楽ファイルを再生できます。

コンテンツの登録方法

podcast で視聴するコンテンツを購読 / 登録するには、Uplink ソフトの [podcast] → [library] から行います。

購読 / 登録 / 転送の詳しい方法は Uplink ソフトのヘルプを参照してください。



☑ [podcast] で再生できるファイル形式

podcast で再生可能なファイル形式は MP3 形式 (拡張子 .mp3)、WMA9 形式 (拡張子 .wma)、AAC 形式 (拡張子 .m4a、.aac) です。再生できないフォーマット、ビットレート of ファイルには、[PC] のアイコンが  と表示され、転送できません。なお、Windows Media Player 10 がインストールされているパソコンでは AAC 形式 (拡張子 .m4a、.aac) のコンテンツは転送できません。

著作権保護のかかった WMA ファイルでライセンスの取得されていないものも転送できません。

podcast で音楽を再生する

podcast メニューで音楽を再生するには、次の手順で操作します。

- 1 [podcast] で **▶ 決定** を押します。
- 2 再生したい音声ファイルが含まれているサイト名を選んで **▶ 決定** を押します。
- 3 再生したい音声ファイルをジョグダイヤルでスクロールして選びます。
一度も再生したことのない音声ファイルには、**[NEW]** アイコンが表示されます。
- 4 **▶ 再生** を押すと、再生が始まります。
- 5 再生を一時停止したい場合は **▲ 一時停止** を押します。

サイト名と音声ファイルの並び順を変更する

[▼ メニュー] を押して **[並べ換え]** を選ぶと、並び順を変更できます。

音楽再生時の便利な機能

1/4

music、podcast で音楽を再生する際に使用すると便利な機能をご紹介します。

音楽再生時の画面構成

音楽ファイルを再生開始するか、なにか操作をすると下のよう画面になります。



アイコンについて

この章で使用する各アイコンは、次のメニューを表しています。

 = music、 = podcast

① アルバムアート *	再生中の曲のアルバムアートが表示されます。
② アーティスト * 	再生中の曲のアーティスト名が表示されます。
③ アルバム * 	再生中の曲のアルバム名が表示されます。
④ ジャンル *	再生中の曲のジャンルが表示されます。
⑤ トラック番号 * 	再生中の曲のトラック番号が表示されます。
⑥ タイトル *	再生中の曲名が表示されます。
⑦ プログレスバー	現在の再生位置が表示されます。
⑧ 現在の再生時間	現在までの経過時間が表示されます。
⑨ 総時間	音楽ファイルの総時間が表示されます。
⑩ キーガイド	操作できる機能が表示されます。
⑪ 時計	現在の日時が表示されています。
⑫ イコライザー	イコライザーが [Normal] 以外に設定されている場合に表示されます。
⑬ リピート	リピート再生 や A-B 間リピート再生 を設定している場合に表示されます。
⑭ 音量	音量を示すマークが表示されます。
⑮ 電池残量	電池残量が表示されます。

* Windows Media Player で設定されている場合に表示されます。設定されていない場合、[アルバムアート] は「No Image」、[アーティスト] は「不明なアーティスト」、[アルバム] は「不明なアルバム」、[タイトル] はファイル名が表示されます。[ジャンル] は「不明なジャンル」、[トラック番号] は「00」と表示されます。

音楽再生時の便利な機能

2/4

サーチ

音楽ファイルを再生中、[サーチ ▶] を押すとサーチボタンが表示されます。ジョグダイヤルで選んで [▶ サーチ実行] を押すと、お好みの早さで音楽を再生 / 一時停止 / 早送り / 巻き戻しができます。

サーチを終了するには、一倍速の設定にしてしばらく再生を続けるか、[◀ サーチ終了] を押します。

また、[music] では、再生中にジョグダイヤルを ↑ に回すと前の曲、↓ に回すと次の曲にスキップできます。[podcast] ではそのファイルの先頭に戻ります。



▶▶4 / ▶▶2	2 または 4 倍速で早送りします。
▶	再生します。
⏸	一時停止します。
2◀◀ / 4◀◀	2 または 4 倍速で巻き戻します。

音楽を聴きながらスライドショーを見る

音楽を聴きながら [photo] メニューで管理している画像を見ることができます。

1 音楽再生中に [▼ メニュー] を押し、[スライドショー] を選んで [▶ 決定] を押します。

2 スライドショーで表示したい画像が含まれるフォルダを選んで [▶ 決定] を押します。

[すべての写真] を選ぶと、[photo] で表示可能なすべての写真が対象となります。

3 スライドショーを開始したい画像を選んで選んで [▶ 決定] を押すと、スライドショーが開始します。決定した画像から順に選択したフォルダ内の画像を表示します。

スライドショーのトランジションおよび表示順は、メインメニューの [▼ メニュー] 内の [写真表示設定](#) で変更できます。

4 スライドショーをやめたい場合は、[▼ メニュー] を押し、[スライドショー] を選んで [▶ 決定] を押します。

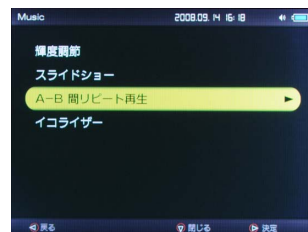
音楽再生時の便利な機能

3/4

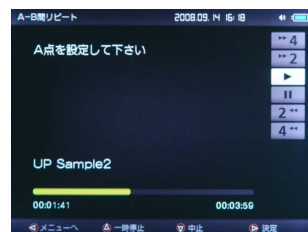
同じ部分を繰り返して聴く

A-B 間リピート再生を設定すると、音楽ファイルの同じ部分を繰り返して何度も聴くことができます。

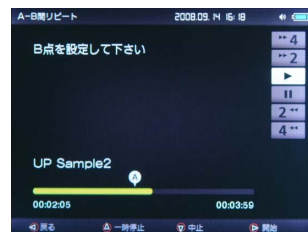
- 1 音楽ファイル再生中に [▼メニュー] を押し、[A-B 間リピート再生] を選んで [▶決定] を押します。



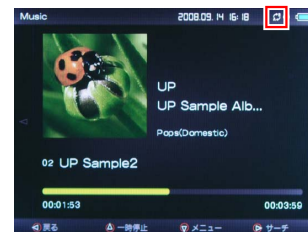
- 2 繰り返す部分の最初となる A 点を希望の位置で [▶決定] を押して選びます。



- 3 繰り返す部分の最後となる B 点を希望の位置で [▶開始] を押して選びます。

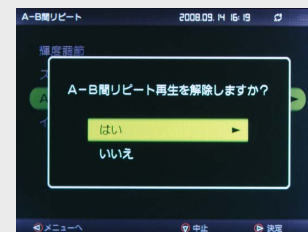


- 4 ステップ 2、3 で設定した箇所が繰り返し再生されます。画面の右上にリピートマークが表示されます。
A-B 間リピート再生の設定は、再生を停止すると解除されます。



A-B 間リピート再生の解除

A-B 間リピートを設定した音楽ファイルを再生中に [▼メニュー] を押し、[A-B 間リピート再生] を選んで [▶決定] を押すと、A-B 間リピート再生の設定を解除するか確認が表示されます。解除する場合は [はい]、解除しない場合は [いいえ] をジョグダイヤルで選んで [▶決定] を押します。



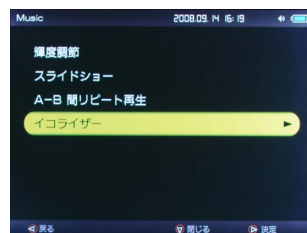
音楽再生時の便利な機能

4/4

音声の効果を変更する

イコライザーで、より臨場感のある音楽再生を楽しめます。

- 1 音楽ファイル再生中に [▼メニュー] を押し、[イコライザー] を選んで [▶決定] を押します。



- 2 再生している音楽に合った設定を選んで、[▶決定] を押します。



ユーザーセレクト

[ユーザーセレクト] を選んで [▶決定] を押すと、お好みの設定が可能です。OK キーと Back キーで周波数を移動し、ジョグダイヤルでそれぞれの周波数の音量を設定します。



リピートの方法を変更する

音楽のリピートやランダム再生の方法を変更できます。

- 1 Home 画面で [▼メニュー] を押し、[音楽再生設定] を選んで [▶決定] を押します。



- 2 [リピート再生] を選んで [▶決定] を押します。

設定	内容
しない	リピート / ランダム再生しない
一曲リピート	1 曲を繰り返し再生
全曲リピート	アルバムの曲すべてを繰り返し再生 *1
ランダム	アルバムの曲をランダムに再生 *2
ランダムリピート	アルバムの曲をランダムに再生し、全曲再生し終わったら再度すべての曲をランダムに再生 *1

*1: [podcast] では 1 曲リピートと同じ動作となります。

*2: [podcast] ではリピートしない設定と同じ動作となります。

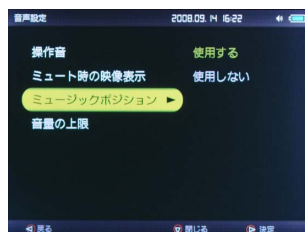
ミュージックポジションを使用する

ミュージックポジションを使用すると、ヘッドバンドの位置までアームを上げた際の操作キーの割り当てが変更され、ミュージックプレーヤーとして使用できます。*1

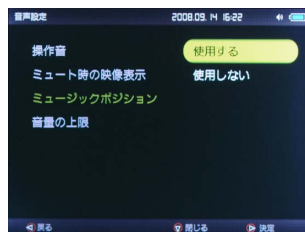
- 1** Home 画面で [▼メニュー] を押し、[音声設定] を選んで [▶決定] を押します。



- 2** [ミュージックポジション] を選び、[▶決定] を押します。

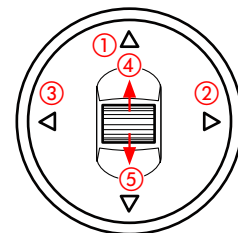


- 3** ミュージックポジションを使用したい場合は [使用する]、使用したくない場合は [使用しない] を選び、[▶決定] を押します。



- 4** [使用する] を選んだ場合、キー操作は次のようになります。

①	再生 / 一時停止
②	早送り
③	巻き戻し
④	1 曲前にスキップ
⑤	1 曲後にスキップ



早送り / 巻き戻しについて

一度押すと 4 倍速で早送り、巻き戻しします。1 倍速に戻すには [▲再生] [◀巻き戻し] [▶早送り] のいずれかを押します。

*1: 次の場合はミュージックポジションは使用できません。

- 動画再生時
- 音楽を再生する画面表示時
- 写真表示時
- [AV-in] 使用時
- [UP web] 使用時



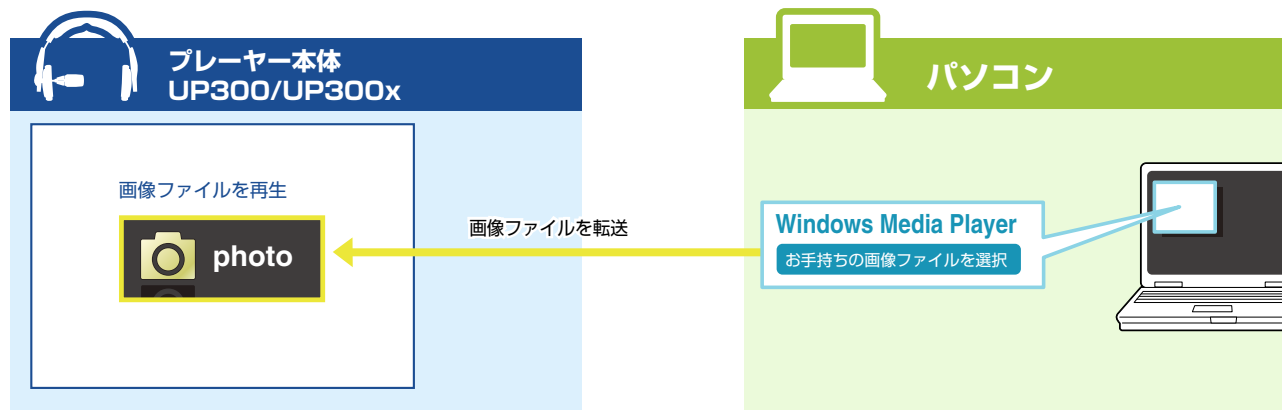
第 5 章 : 写真を見る



- photo 概要 P.61
- photo で表示する画像ファイルを転送する P.62
- photo で画像を表示する P.66
- 音楽を聴きながら画像を表示する P.68

photo 概要

パソコンに保存してある画像を、Windows Media Player を使用して転送すると、**[photo]** メニューでその画像を表示できます。画像はスライドショーにしたり、BGM として **[music]** メニューで使用する音楽ファイルを聴きながら表示したりできます。



❑ **[photo]** で表示できる画像ファイル形式

[photo] で表示できる画像ファイルの形式は、JPEG 形式（拡張子 .jpg、.jpeg）です。

Windows Media Player 10 をご使用の場合は、VGA（横 640 × 縦 480 ピクセル）より大きな画像ファイルは転送できません。

photo で表示する画像ファイルを転送する

1/4

photo メニューで表示する画像ファイルを転送するには、Windows Media Player を使用します。Windows Media Player の詳しい使用法は、Windows Media Player のヘルプを参照してください。

ここでは画像ファイルを「ピクチャ」フォルダ（Windows XP の場合は「マイ ピクチャ」フォルダ）で管理していることを前提に説明します。

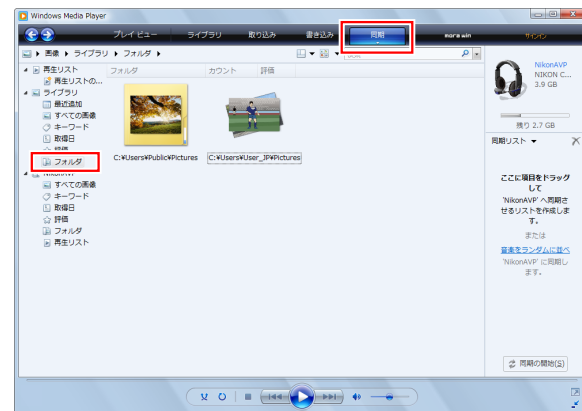
- 1 付属の USB ケーブルでパソコンと接続します。
- 2 Windows のスタートメニューから Windows Media Player を選び、起動します。
- 3 「カテゴリの選択」 ボタンで「画像」を選びます。



photo で表示する画像ファイルを転送する

2/4

4 [同期] タブをクリックし、画面の左側から「フォルダ」をクリックします。



5 「C:\ユーザー名\Pictures」フォルダ (Windows XP の場合は「C:\Documents and Settings\ユーザー名\My Documents\My Pictures」フォルダ) をダブルクリックします。

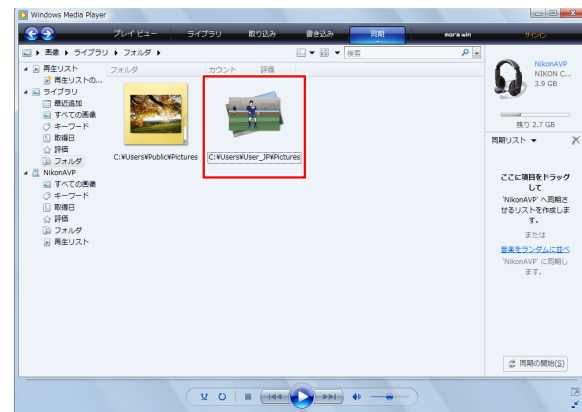
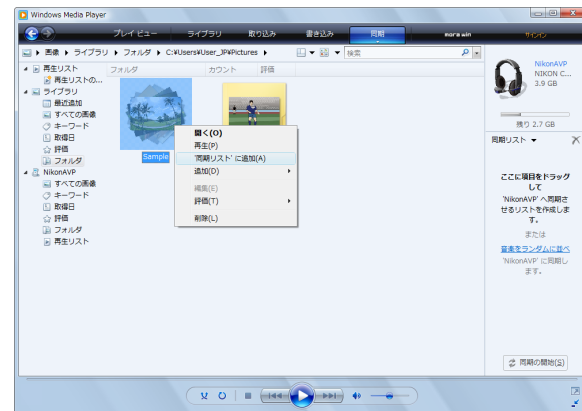


photo で表示する画像ファイルを転送する

3/4

- 6 転送したい画像ファイルを右クリックして「同期リスト」に追加］を選ぶか、
 〔同期リスト〕にドラッグ&ドロップします。
 〔同期リスト〕に転送する画像ファイルの一覧が表示されます。



フォルダの階層

パソコンの「ピクチャ」フォルダ (Windows XP の場合は「マイ ピクチャ」フォルダ) の一階層下のフォルダ内の画像まで表示されます。サブフォルダやサブフォルダ内にある画像ファイルは本製品で表示されません。

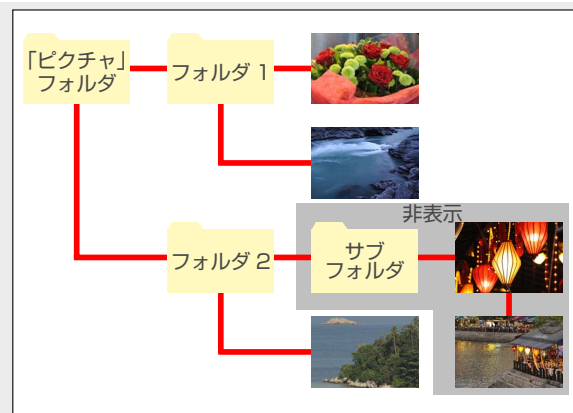


photo で表示する画像ファイルを転送する

4/4

7 [同期の開始] ボタンをクリックすると、転送が始まります。*1

*1: Windows Media Player 11 をご使用の場合は、転送されたファイルは横 640 × 縦 480 ピクセル以下にリサイズされます。また、Windows Media Player 10 をご使用の場合は、VGA (横 640 × 縦 480 ピクセル) より大きな画像ファイルは転送できません。

重要

転送が完全に終了するまで、接続を解除しないでください。ファイルが破損するおそれがあります。

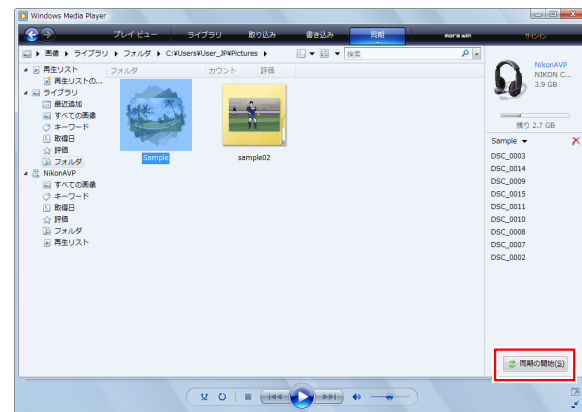


photo で画像を表示する

1/2

photo メニューで画像を表示するには、次の手順で操作します。

1 [photo] メニューで **▶決定** を押します。

2 表示したい画像ファイルが含まれるフォルダを選び、**▶決定** を押します。

[すべての写真] を選ぶと、[photo] で表示可能なすべての写真が対象となります。



3 表示したい画像ファイルを選択して **▶決定** を押します。



☑ 画像の並び順を変更する

[▼メニュー] を押して [並べ換え] を選ぶと、並び順を変更できます。

4 画像が表示されます。
ジョグダイヤルの↓で次の画像に、↑で前の画像に切り換えられます。フォルダ内の画像はループして表示されます。

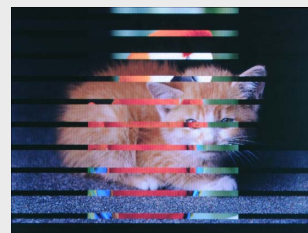


5 表示したい画像を選び直したり、フォルダを変更したい場合は **◀戻る** を押します。



☑ スライドショーで再生する

画像表示中に **▶スライドショー** を押すと、フォルダ内の画像がスライドショーで表示されます。画面の切り替わる時間やトランジション効果などは Home 画面の **▼メニュー** を押して表示される **[写真表示設定]** で設定できます。

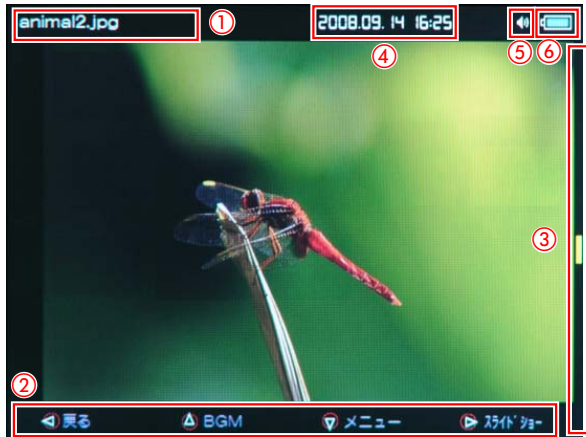


[▶停止] を押すと、スライドショーをやめて通常の画像表示に戻ります。

photo で画像を表示する 2/2

画像ファイル表示時の画面構成

画像ファイルを表示するか、各キーやジョグダイヤルを操作すると下のような画面になります。画像ファイルの表示またはジョグダイヤルの操作から 10 秒経過すると、画像だけが表示されます。スライドショー再生中に各キーやジョグダイヤルを操作すると、キーガイドのみ表示されます。



① 画像ファイル名	表示中の画像ファイルのファイル名が表示されます。
② キーガイド	操作できる機能が表示されます。
③ スクロールバー	現在表示中の画像ファイルが、フォルダ内のどの位置にあるかが表示されます。
④ 時計	現在の日時が表示されています。
⑤ 音量	音量を示すマークが表示されます。
⑥ 電池残量	電池残量が表示されます。

音楽を聴きながら画像を表示する

画像ファイルを表示中に、転送済みの音楽ファイルを聴くこともできます。

最後に聴いた音楽ファイルを BGM として聴く

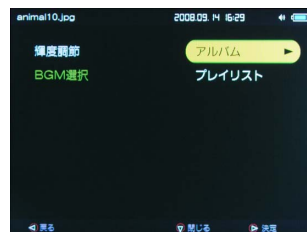
画像ファイルの表示中またはスライドショー再生中に、[▲BGM] を押すと、最後に聴いた音楽ファイルが再生されます。再度 [▲BGM] を押すと音楽ファイルの再生が停止します。



聴きたい音楽ファイルを選ぶ

BGM として再生する音楽ファイルを選ぶこともできます。

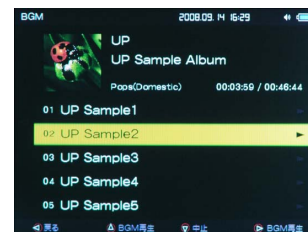
- 1 画像ファイルの表示中またはスライドショー再生中に [▼メニュー] を押し、[BGM 選択] を選んで [▶ 決定] を押します。



- 2 [アルバム] または [プレイリスト] を選んで [▶ 決定] を押し、再生したい音楽ファイルを選びます。

選ばれたファイルから、指定したアルバムもしくはプレイリストを順に再生します。再生順およびリピート再生については、[音楽再生設定] → [リピート再生] で設定されている順となります。

[▲BGM] を押すと、再生を停止します。





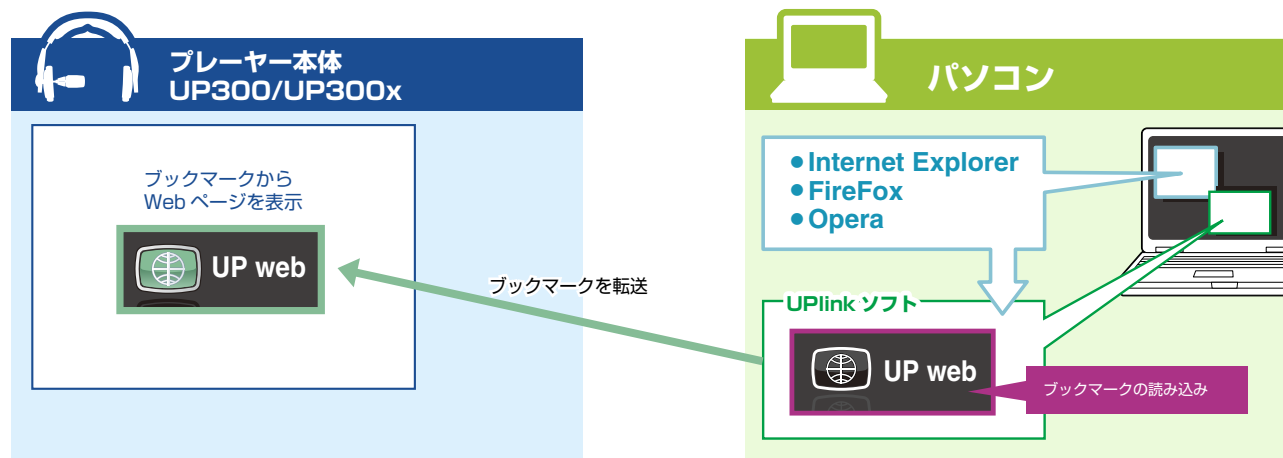
第 6 章 : Web ページを閲覧する



- UP web 概要 P.70
- UP web の基本的な使用方法 P.71
- UP web の設定 P.75

UP web 概要

「UP web」では、無線 LAN でインターネットに接続して、Web ページを閲覧することができます。また、Adobe Flash を使用したリッチコンテンツも楽しめます。



✓ UP web での文字入力

「UP web」では文字入力機能や URL 入力機能はありません。このため、ブックマークからリンクをジャンプしてページを表示します。

✓ ブックマークを転送できる Web ブラウザー

本製品にブックマークを転送できる Web ブラウザーは Internet Explorer、FireFox、Opera です。詳しくは UPlink ソフトのヘルプを参照してください。

✓ Flash Player のバージョンについて

「UP web」に搭載している Flash Player はバージョン 7 です。バージョン 8 以降の Flash Player に対応したコンテンツは表示できません。

UP web の基本的な使用方法

1/4

Home 画面で [UP web] を選んで [▶ 決定] を押すと無線 LAN との接続画面になります。無線 LAN アクセスポイントへの詳しい接続方法については、「[無線 LAN アクセスポイントと接続する](#)」を参照してください。無線 LAN アクセスポイントへの接続が成功すると、ブラウザが起動し、ホームページが表示されます。

UP web の画面構成

[UP web] での画面構成は下のような画面になります。



① ステータスバー	表示中の Web ページの URL が表示されます。また、Web ページ読み込み中は「Loading...」と表示されます。
② リンクのフォーカス	現在選択されているリンクがフォーカスされ、黄色の枠で囲まれます。
③ キーガイド	操作できる機能が表示されます。
④ スクロールバー	表示している Web ページが画面からはみ出る場合に表示されます。
⑤ 時計	現在の日時が表示されています。
⑥ 電波強度	無線 LAN アクセスポイントからの電波の強度を 5 段階で表示されます。
⑦ 音量	音量を示すマークが表示されます。
⑧ 電池残量	電池残量が表示されます。

はじめに	第 1 章： UP300/UP300x の装置方法	第 2 章： 基本的な使用方法	第 3 章： 動画を見る	第 4 章： 音楽を聴く	第 5 章： 写真を見る	第 6 章： Web ページを閲覧する	第 7 章： 外部再生機器と接続する	第 8 章： 便利な機能
------	------------------------------	--------------------	-----------------	-----------------	-----------------	------------------------	-----------------------	-----------------

UP web の基本的な使用方法

2/4

フォーカスの移動

フォーカスの移動はジョグダイヤルで行います。キーガイドに「▲ ジョグ：縦」と表示されている場合はジョグダイヤルを↓に回すと下方向に、↑に回すと上方向にフォーカスが移動します。また、キーガイドに「▲ ジョグ：横」と表示されている場合はジョグダイヤルを↓に回すと右方向に、↑に回すと左方向にフォーカスが移動します。フォーカスの移動方向は Play キーで変更できます。

ページのジャンプ

ジョグダイヤルを回すと、それに合わせてリンクフォーカスが上下に移動します。ジャンプしたいリンクにフォーカスを合わせ、「▶ 右へ / 進む」を長押しするとリンク先の Web ページを表示します。また、「◀ 左へ / 戻る」を長押しすると直前のページに戻ります。

マウスカーソルを表示するには

マウスカーソルの表示 / 非表示を切り換えるには、Play キーを長押しします。マウスカーソルの移動は、フォーカスの移動と同様にジョグダイヤルで行います。キーガイドに「▲ ジョグ：縦」と表示されているときはマウスカーソルは縦に、「▲ ジョグ：横」と表示されているときはマウスカーソルは横に移動します。マウスカーソルの下にリンクがある場合、「▶ 右へ / 進む」を長押しするとリンク先に移動します。

ファイルのダウンロード

「UP web」はファイルのダウンロードにも対応しています。

ダウンロードしたファイルを展開したり、他のアプリケーションを起動したりすること（例：PDF ファイルをダウンロードして Adobe Reader を起動するなど）はできません。

ダウンロードしたファイルは、パソコンと接続した際に Explorer で表示できます。必要に応じてパソコンにコピーしてください。

ダウンロードしたファイルの場所はパソコンにインストールされている Windows Media Player のバージョンによって異なります。

Windows Media Player 10/UP300 の場合：マイ コンピュータ ¥NIKON UP300 4G¥ データ ¥DOWNLOAD

Windows Media Player 10/UP300x の場合：マイ コンピュータ ¥NIKON UP300X 8G¥ データ ¥DOWNLOAD

Windows Media Player 11/UP300 の場合：マイ コンピュータ ¥UP300 series¥UP300 by Nikon (4G)¥DOWNLOAD

Windows Media Player 11/UP300x の場合：マイ コンピュータ ¥UP300 series¥UP300x by Nikon (8G)¥DOWNLOAD

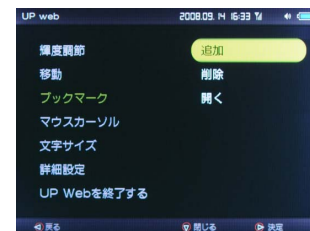
UP web の基本的な使用方法

3/4

ブックマークの追加と削除

Web ページ表示中に [▼メニュー] を押して、[ブックマーク] を選んで [▶決定] を押すと、次の項目が選べます。

追加	現在表示しているページをブックマークに追加
削除	登録してあるブックマークを削除
開く	登録してあるブックマークから表示するページを選択



✓ ブックマークの削除

[削除] を選んで [▶決定] を押すと、ブックマークの一覧が表示されます。削除したいブックマークをジョグダイヤルで選び、[▶選択] を押すとブックマークにチェック ☒ が入ります。チェックを外したい場合は [▶解除] を押します。[▲削除実行] を押すとチェックを入れたブックマークが削除されます。

✓ ブックマークの登録

UP リンクの [bookmark] を使用して、パソコンの Web ブラウザーのブックマークをインポートできます。Web ブラウザーから UP リンクへのインポートの方法や、ブックマークの転送は、UPlink ソフトのヘルプを参照してください。



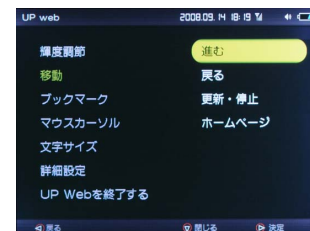
UP web の基本的な使用方法

4/4

ページの移動

Web ページ表示中に [▼ メニュー] を押し、[移動] を選んで [▶ 決定] を押すと、次の項目が選べます。
ジョグダイヤルで項目を選んで [▶ 決定] を押すと、Web ページを移動できます。

進む	次のページに移動（[戻る] を実行したときに使用できます）
戻る	直前のページに移動
更新・停止	現在のページを再読み込み / 読み込みを中止
ホームページ	設定しているホームページに移動



マウスカーソルを表示

Web ページ表示中に [▼ メニュー] を押し、[マウスカーソル] を選んで [▶ 決定] を押すと、マウスカーソルの表示 / 非表示が選べます。
また、Play キーを長押ししても表示 / 非表示を切り換えられます。

文字サイズの変更

Web ページ表示中に [▼ メニュー] を押し、[文字サイズ] を選んで [▶ 決定] を押すと、文字サイズが [最大]、[大]、[中]、[小]、[最小] から選べます。

UP web の終了

Web ページ表示中に [▼ メニュー] を押し、[UP web を終了する] を選んで [▶ 決定] を押すと、UP web が終了し、Home 画面に戻ります。

☑ [進む][戻る] の履歴

[進む] [戻る] で移動できる履歴数は、最大で 100 件まで保存されます。

UP web の設定

Web ページ表示中に [▼メニュー] を押し、[詳細設定] を選んで [▶決定] を押すと、次の設定ができます。

ホームページ

現在のページ	現在表示しているページをホームページとして設定
初期設定に戻す	初期設定のホームページ (http://www.upxup.jp/upwelcome/) に戻す
空白のページ	何も表示しない

表示幅

画面に合わせる	画面の横幅に合わせてページのレイアウトを調節して表示
画面に合わせない	画面の幅よりも横幅があるページを表示する場合、画面の幅に合わせてページを折り返さず、横にスクロールして表示する

文字コード

自動選択	文字コードを自動判別して表示
EUC	それぞれの文字コードでページを表示
シフト JIS	
JIS	
Unicode	

画像表示設定

静止画・アニメーション	対応するファイル形式 (.gif、.jpg、.bmp、.xbm、.png) の画像とアニメーション (アニメーション gif) を表示
静止画のみ	画像ファイルを表示。アニメーションの場合、最初の 1 コマのみ表示
表示しない	画像を非表示

JavaScript

使用する	JavaScript を使用
使用しない	JavaScript を不使用

ActiveX コントロール

使用する	ActiveX コントロールを使用
使用しない	ActiveX コントロールを不使用

削除

キャッシュを削除	ページのキャッシュを削除
Cookie を削除	使用した Cookie を削除
履歴を削除	[移動] で使用する履歴を削除



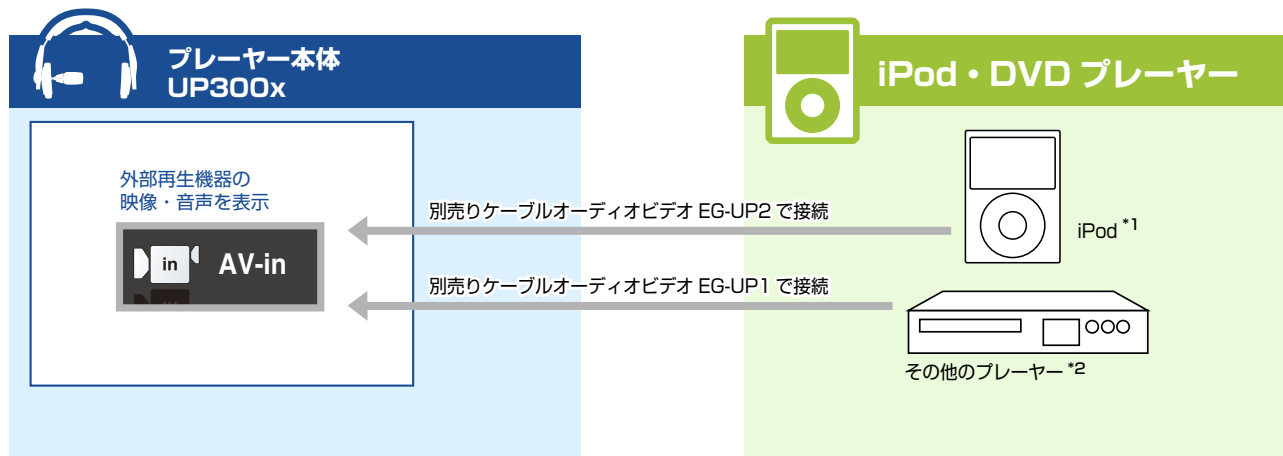
第 7 章 : 外部再生機器と接続する



- 外部再生機器と接続する P.77

外部再生機器と接続する

〔AV-in〕では、iPod や DVD プレイヤーなどの外部再生機器を専用の別売ケーブルで接続して、映像や音声を楽しむことができます (UP300x のみ)。



接続するケーブルは、接続する機器によって異なります。

iPod：オーディオビデオケーブル EG-UP2*1

その他の再生機器：オーディオビデオケーブル EG-UP1*2

ケーブルの端子をマルチコネクター端子に差し込み、外部再生機器の電源を入れてから Home 画面の〔AV-in〕を選んで〔**決定**〕を押すと、外部再生機器の映像と音声が表示されます。

表示可能なビデオ信号

表示可能なビデオ信号は NTSC 形式です。PAL、SECAM は表示できません。

ビデオ信号が検出されない場合

外部再生機器を接続していなかったり、ケーブルが抜けた場合、ブルーバックの画面になり、「ビデオ信号が検出できません」と表示されます。音声信号が入力されている場合、音声は再生されます。

*1: 対応機種は iPod (第 5 世代 with Video)、iPod Photo (スライドショーのみ) となります。

*2: EIAJ CPR-1902 に準拠した再生機器で使用できます。ご使用になる機器の仕様をご確認ください。



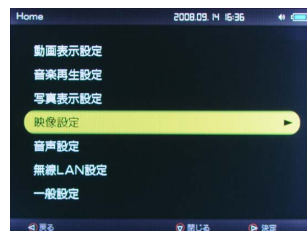
第 8 章 : 便利な機能

- 画面の表示設定を変更する P.79
- 音声の設定を変更する P.81
- 本体の設定を変更する P.82
- 別売の専用リモコン MC-UP1 について P.84
- トラブルシューティング P.85
- エラーメッセージ一覧 P.93
- 主な仕様 P.99
- UP300/UP300x プリインストールソフトウェアの
ご使用条件 P.100
- U300/U300x で使われるフリーソフトウェア
コンポーネントに関するエンドユーザーライセンス
アグリーメント原文 (英語) P.101
- 索引 P.110
- カスタマーサポートについて P.114

画面の表示設定を変更する

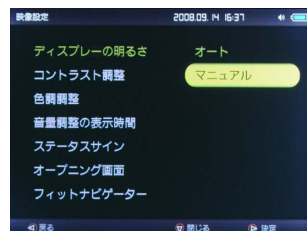
1/2

Home 画面のメニューから「映像設定」を選ぶと、画面表示に関する設定を変更できます。



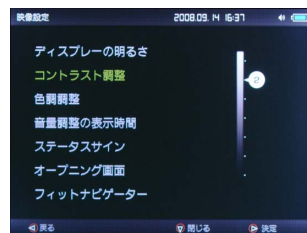
画面の明るさを自動的に調節

「ディスプレイの明るさ」で「オート」を選ぶと、画像の明るさに合わせて自動的に明るさが調節されます。



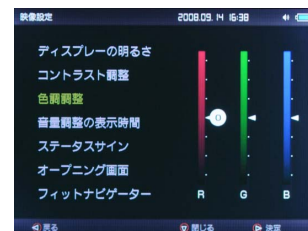
画面のコントラストを調整

「コントラスト調整」では画面のコントラストを調整できます。ジョグダイヤルを↑に回して値を大きくするとコントラストが強まり、↓に回して値を小さくするとコントラストが弱まります。



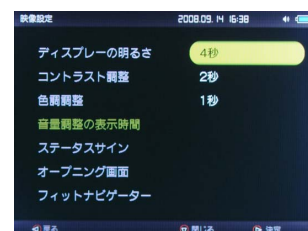
画面のカラーバランスを調整

「色調調整」では画面のカラーバランスを調整できます。OK キーと Back キーで [R] [G] [B] の項目を移動し、ジョグダイヤルでそれぞれの項目を調節します。



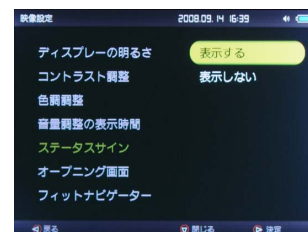
音量調整の表示時間の変更

「音量調整の表示時間」ではボリュームスイッチで音量を変更する際に表示する、音量目盛りの表示時間を [4 秒]、[2 秒]、[1 秒] から選べます。



ステータスサインの表示の変更

「ステータスサイン」では電源の ON/OFF 時やパソコンとの接続時に表示するステータスサインの表示を切り換えられます。

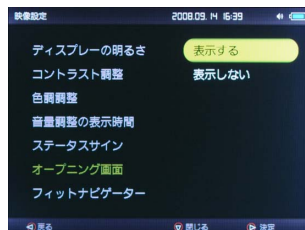


画面の表示設定を変更する

2/2

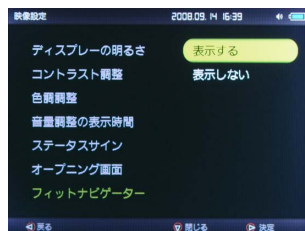
オープニング画面の表示 / 非表示を変更

「オープニング画面」では、電源を ON にした際に起動画面を表示するかを選べます。



フィットナビゲーターの表示 / 非表示を変更

「フィットナビゲーター」では、電源を ON にした際にフィットナビゲーターを表示するかを選べます。



音声の設定を変更する

Home 画面のメニューから「**音声設定**」を選ぶと、音声に関する設定を変更できます。

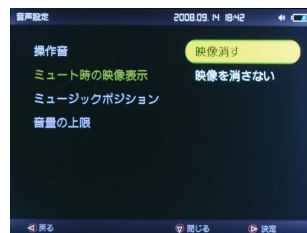
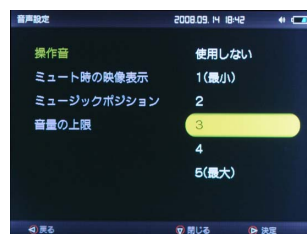
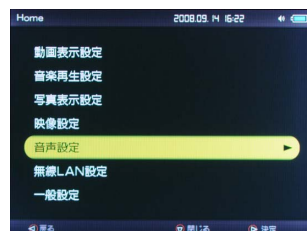
操作音の音量を変更

「**操作音**」では、キーを押したときの効果音を「**使用しない**」～「**5（最大）**」の6段階で変更できます。

ミュート時の画像表示を変更

「**ミュート時の映像表示**」では、ボリュームスイッチを押し込んでミュート（消音）にした際の画像表示を変更できます。

「**映像を消す**」を選んだ場合、画像も表示されなくなります（再生の一時停止はされません）。

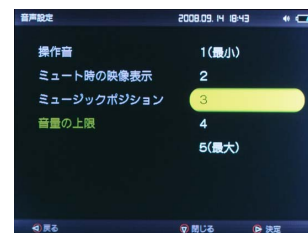
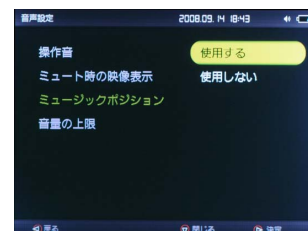


ミュージックポジションを使用

「**ミュージックポジション**」ではアームをヘッドバンドの位置に移動させたときにミュージックプレーヤーとして使用するかどうかを切り換えられます。詳しくは「[ミュージックポジションを使用する](#)」を参照してください。

音量の上限を変更

「**音量の上限**」では最大音量の上限を「**1（最小）**」～「**5（最大）**」の5段階で変更できます。



本体の設定を変更する

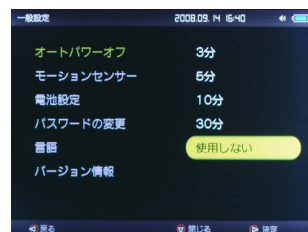
1/2

Home 画面のメニューから「一般設定」を選ぶと、UP300/UP300x 本体に関する設定を変更できます。



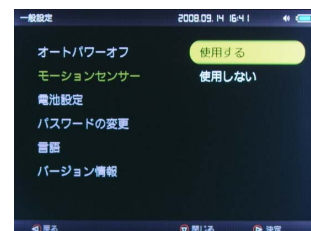
オートパワーオフの時間を変更

オートパワーオフは動画ファイルや音楽ファイルが再生していない状態で、一定時間操作を行わないと自動的にスリープ状態にする機能です。[オートパワーオフ]では、スリープするまでの時間を[3分]、[5分]、[10分]、[30分]、[使用しない]から選べます。[使用しない]を選ぶと、オートパワーオフは適用されません。



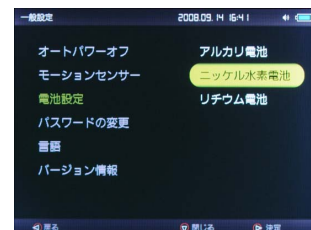
モーションセンサーの使用 / 不使用を変更 (UP300x のみ)

[モーションセンサー]では首の動きに合わせて操作するかを選べます。詳しくは「[頭の動きで操作する \(モーションセンサー\)](#)」を参照してください。



使用する電池の種類を設定

[電池設定]では、使用する電池の種類を[アルカリ電池]、[ニッケル水素電池]、[リチウム電池]から設定できます。使用する電池に合わせて変更してください。



正しく設定されていないと、電池残量が正確に表示されません。

☑ オキシライド、エボルタ電池の場合

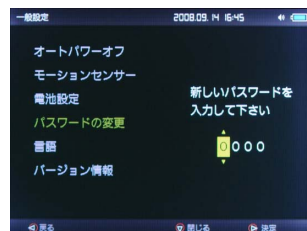
オキシライド単 3 形乾電池をご使用の場合は[リチウム電池]、エボルタ単 3 形乾電池をご使用の場合は[アルカリ電池]に設定してください。

本体の設定を変更する

2/2

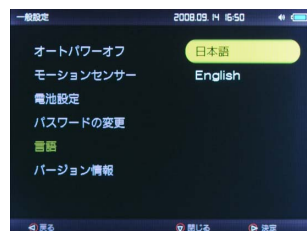
パスワードを変更

「パスワードの変更」では、新しい数字 4 桁のパスワードを設定できます。詳しくは「[パスワードを設定する](#)」を参照してください。



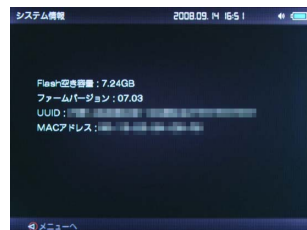
表示する言語を設定

「言語」では、表示する言語を「日本語」または「English」から選べます。



ファームウェアのバージョンを表示

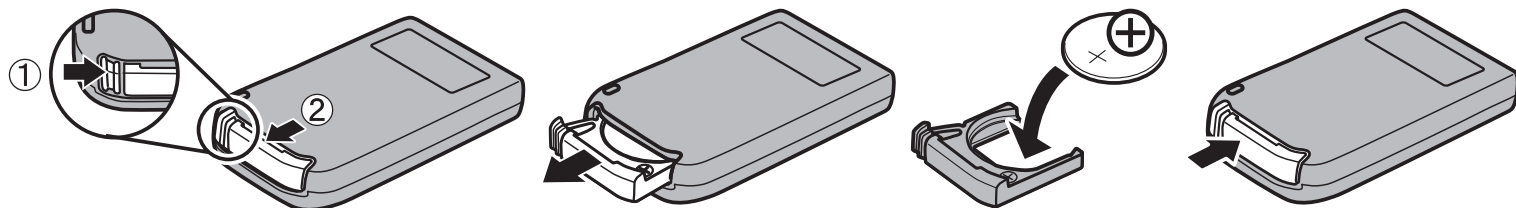
「バージョン情報」では、Flash メモリーの空き容量や、ファームバージョン、UUID、MAC アドレスが表示されます。



別売の専用リモコン MC-UP1 について

別売の専用リモコン MC-UP1 を使用すると、キーを見ながら手元で操作できます。

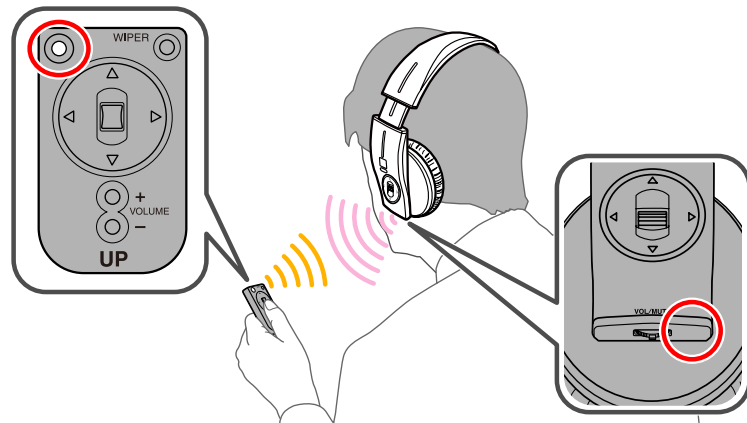
リモコン用リチウム電池（CR2025）の入れ方



電池室のノブを右側に押しながらか①、隙間に爪などを差し込んで②手前に引き出してください。リチウム電池を入れる際は、「+」と「-」の向きをよくご確認ください。

使用時のリモコンの向きについて

UP300/UP300x は、ボリュームスイッチの横にリモコン受光部を備えています。リモコンを使用する場合は、リモコン発光部を自分の方へ向け、リモコン受光部と距離を近づけてください。



リモコンを使用する場所について

日中の屋外などの明るい場所でリモコンを使用すると反応が鈍くなる場合があります。日陰などの明るすぎない場所でご使用ください。

トラブルシューティング

1/8

UP300/UP300x の動作がおかしいとお感じになったときは、ニコンサービス機関にお問い合わせになる前に、次の項目をご確認ください。

動画再生関連

症状	ここをご確認ください	ページ
動画が転送できない	Windows Media Player で扱えない動画ファイルは転送できません。	P.26
	動画ファイルが壊れていないか確認してください。	—
	UP download の場合、視聴期限が過ぎていないか確認してください。	P.33
	空き容量を確認してください。	P.83
	Windows Media Player 10 あるいは 11 がインストールされていることを確認してください。	P.20
	時計が正しくセットされているか確認してください。著作権保護のかかっているコンテンツでは正しく時計がセットされていないと転送できないことがあります。	—
	転送できるファイルサイズは最大 4GB です。ファイルサイズを確認してください。	P.20
動画が再生できない	UP300/UP300x で再生できる形式の動画ファイルかを確認してください。	P.26
	UP download/UP stream の場合、視聴期間が過ぎていないかを確認してください。	P.33 P.35
	時計が正しくセットされているか確認してください。著作権保護のかかっているコンテンツでは正しく時計がセットされていないと再生できないことがあります。	—
UP stream が実行できない	ご使用の UP300/UP300x をあらかじめエントリーする必要があります。	P.30
UP stream の番組が表示されない	UPlink ソフトで購読予約をしているか確認してください。	P.31
	無線 LAN の電波状況が悪い場合は、購読中の番組一覧の取得に失敗することがあります。	—
	ご使用の UP300/UP300x が UP リンクサーバーで無効化されている可能性があります。最終ページに記載されている UP カスタマーサポートセンターまでご連絡ください。	—

トラブルシューティング

2/8

症状	ここをご確認ください	ページ
UP stream の再生がとぎれる	無線 LAN の電波状況が悪い場合やアクセスポイントが混雑している場合は十分な転送速度が出ないことがあります。	—
UP stream、UP download で [サーチ]、[A-B 間リピート]、[一時停止] やチャプターの移動ができない	番組によってこれらの機能を禁止しているものがあります。	—
UP download で番組をダウンロードできない	購読設定したチャンネルがない場合はダウンロードできません。	P.31
	空き容量を確認してください。	P.83
	同一番組を本製品でダウンロードできる回数は 1 回です。データが壊れたなど再度ダウンロードする必要がある場合は最終ページに記載されている UP カスタマーサポートセンターまで連絡してください。	—
再生がぎこちない	UP stream の場合、サーバーからの読み込みのため、再生開始まで時間がかかったり、無線 LAN の状況によっては再生がぎこちなくなったりすることがあります。	—
	ビットレートの高い動画を再生すると、コマ落ちやブロックノイズが発生することがあります。	—
キーの反応が悪い	ビットレートの高い動画を再生すると、キーの反応が鈍くなるすることがあります。	—
再生画面が小さい	[動画表示設定] → [表示サイズ] が [小] になっていないか確認してください。	P.39
サムネイルを変更できない	著作権保護のかかった動画ファイルではサムネイルを変更できません。	P.41
音が悪い	[イコライザー] がご希望の設定になっているか確認してください。	P.43
ディスプレイをヘッドバンドの位置に移動すると再生が停止する	再生を一時停止したくない場合は、[動画表示設定] → [ミュージックポジション] で [一時停止しない] を選びます。	P.45

トラブルシューティング

3/8

音楽再生関連

症状	ここをご確認ください	ページ
音楽が転送できない	Windows Media Player で扱えない音楽ファイルは転送できません。	P.47
	転送できるファイルサイズは最大 4GB です。ファイルサイズを確認してください。	P.20
	音楽ファイルが壊れていないか確認してください。	—
	空き容量を確認してください	P.83
	Windows Media Player 10 あるいは 11 がインストールされていることを確認してください。	P.20
	時計が正しくセットされているか確認してください。著作権保護のかかっているコンテンツでは正しく時計がセットされていないと転送できないことがあります。	—
音楽が再生できない	UP300/UP300x で再生できる形式の音楽ファイルかを確認してください。	P.47
	時計が正しくセットされているか確認してください。著作権保護のかかっているコンテンツでは正しく時計がセットされていないと再生できないことがあります。	—
順番通りに再生されない	[音楽再生設定] → [リピート再生] の設定が [ランダム] になっていないかを確認してください。	P.58
音が悪い	[イコライザー] がご希望の設定になっているか確認してください。	P.58
ディスプレイをヘッドバンドの位置に移動するとキーが正しく操作できなくなる	[音声設定] → [ミュージックポジション] で [使用しない] を選びます。	P.59

画像再生関連

症状	ここをご確認ください	ページ
画像が表示されない	UP300/UP300x で再生できる形式の画像ファイルかを確認してください。	P.61
	転送時のフォルダの階層を確認してください。	P.64
画像が転送できない	空き容量を確認してください	P.83

トラブルシューティング

4/8

症状	ここをご確認ください	ページ
画像が転送できない	Windows Media Player 10 あるいは 11 がインストールされていることを確認してください。	P.20
	Windows Media Player 10 をご使用の場合は、VGA（横 640 × 縦 480 ピクセル）以上の画像は転送できません。	P.61
	転送時のフォルダの階層を確認してください。	P.64

UP web 関連

症状	ここをご確認ください	ページ
レイアウトが崩れる	[▼メニュー] → [詳細設定] → [表示幅] で [画面に合わせない] に設定にしてください。	P.75
画像が表示されない	UP web で表示できない画像形式の可能性があります。[▼メニュー] → [詳細設定] → [画像表示設定] で [静止画・アニメーション]、もしくは [静止画のみ] に変更してください。	P.75
文字化けする	[▼メニュー] → [詳細設定] → [文字コード] で適切な文字コードを選んでください。	P.75
Flash コンテンツが表示されない	Flash Player8 以降に対応している Flash コンテンツは表示できません。 [▼メニュー] → [詳細設定] → [ActiveX コントロール] で [使用する] を選んでください。	P.75 P.75
開けないリンクがある	フォーマットが対応していないファイル（音声、動画ファイル、エクセル、PDF 形式などのファイル）は表示できません。またプラグインに対応したページは開けないことがあります。	—
キーが反応しない	ページの読み込み中はキーが反応しにくくなることがあります。ページの読み込みが完了してからキーを選んでください。	—
文字入力できない	本製品では文字の入力はできません。また文字入力を要求するダイアログなどは表示されません。	P.70

AV-in 関連

症状	ここをご確認ください	ページ
外部再生機器の画像が表示されない	接続を確認してください。	P.77
	再生機器で映像を出力する設定になっているか確認してください。	P.77

トラブルシューティング

5/8

症状	ここをご確認ください	ページ
外部再生機器の画像が表示されない	正しい AV ケーブルを使用しているか確認してください。	P.77
	表示可能なビデオ信号は NTSC です。外部再生機器の出力ビデオ信号を確認してください。	P.77
外部再生機器の音声出力されない	接続を確認してください。	P.77
	接続した再生機器で音声を再生しているか確認してください。	P.77
	正しい AV ケーブルを使用しているか確認してください。	P.77
音声の音量が小さい	外部再生機器のヘッドホン端子に接続している場合は、音量が UP 本体で再生する音声より小さいことがあります。	—

無線 LAN 関連

症状	ここをご確認ください	ページ
UPlink ソフトで UP300/UP300x が検出されない	接続を確認してください。	P.19
	UP300/UP300x の電源が ON になっているかを確認してください。	P.19
SSID が表示されない	接続先を設定してください。詳しくは UPlink ソフトのヘルプを参照してください。	—
	SSID が非公開に設定されている可能性があります。無線 LAN アクセスポイントの管理者に問い合わせてください。	—
	電波状態が悪い可能性があります。無線 LAN アクセスポイントとの間に障害物がある場合は取り除いてください。	—
	電波強度が強い順に 10 台まで SSID を表示します。そのため、多くのアクセスポイントが設置されている場合、目的の SSID が表示されないことがあります。	—
アクセスポイントに接続できない	無線 LAN の認証設定を確認してください。詳しくは UPlink ソフトのヘルプを参照してください。	—
	公衆無線 LAN に接続の場合は、ID とパスワードが正しいか確認してください。またあらかじめサービスプロバイダと接続契約を結ぶ必要があります。	—

トラブルシューティング

6/8

症状	ここをご確認ください	ページ
アクセスポイントに接続できない	アクセスポイントが WEP 認証でない場合、UP300/UP300x でキーを入れても接続できません。あらかじめ UPLink ソフトで設定してください。	—

その他

症状	ここをご確認ください	ページ
電源が入らない	バッテリー残量は充分ですか？ バッテリー残量が少ない場合は付属のバッテリーチャージャーで充電してください。	P.8
	バッテリーが装填されているか確認してください。	P.9
電源が突然切れる	バッテリー残量がありません。バッテリーを充電してください。	P.8
	しばらくキーが操作されない場合、オートパワーオフが働きます。	P.82
	低温下では UP300/UP300x やバッテリーが正しく動作しないことがあります。	—
	〔一般設定〕 → 〔電池設定〕 の設定が装填している電池と合っているかを確認してください。	P.82
ディスプレイ内がはっきり見えない	視度調節ダイヤルで調節してください。	P.12
	レンズを清掃してください。	—
ディスプレイの表示が上下反転している	ポジションスイッチが正しく入っていることを確認してください。	P.11
充電してもすぐに残量がなくなる	新しいバッテリーと交換してください。	—
	〔一般設定〕 → 〔電池設定〕 の設定が装填している電池と合っているかを確認してください。	P.82
パソコンが UP300/UP300x を認識しない	パソコンと正しく接続できているかを確認してください。	P.19
	USB ハブを使用している場合、正しく認識されないことがあります。パソコン本体の USB ポートに接続してください。	P.19
	対応する OS は Windows Vista (SP1 以前)、Windows XP (SP2、SP3) のみです。Mac OS や Linux には対応していません。	P.21

トラブルシューティング

7/8

症状	ここをご確認ください	ページ
音が聞こえない	音量が最小になっていないか、ミュートになっていないかを確認してください。	P.17
ボリュームを最大にしても音量が小さい	[音声設定] → [音量の上限] で音量の上限を変更してください。	P.81
勝手に次の曲や前の曲に移動する	モーションセンサーが有効になった状態で首を動かしていませんか？ モーションセンサーを使用したくない場合は [一般設定] → [モーションセンサー] で [使用しない] を選んでください。	P.18
画面が見づらい	利き目を判別して利き目に装着してみてください。 無地の壁や床などを背景にして視聴してみてください。	P.11 —
電池残量が正しく表示されない	[一般設定] → [電池設定] の設定が使用しているバッテリーと合っているかを確認してください。	P.82
画面が一部しか見えない / 画面が中央しか見えない / 画面が傾く	クイックスタートガイドに従って正しく装着してください。	—
画面が暗い	節電機能により、しばらくキーが操作されないときは画面が暗くなります。 [輝度調節] で見やすい明るさになるように調整してください。	— P.17
画面の色がおかしい	[映像設定] → [色調調整] または [コントラスト調整] を調整してください。 背景や周囲の色、明かりの種類によっては、画面の色が変わって見えることがあります。	P.79 —
起動時に「転送したデータを整理しています」と表示される	USB の転送中、もしくは転送後切断処理が終了する前に電源が OFF にされた可能性があります。	—
画面に変な模様が表示される または黒い縞が表示される	周囲が非常に明るい場合、レンズを上に向けて放置した場合など、周囲の明かりの影響で LCD に模様が表示されることがありますが、故障あるいは不良ではありません。また炎天下などでレンズを上に向けて放置すると、太陽光が焦点を結び火災などの原因となりますので、絶対におやめください。	—

トラブルシューティング

8/8

症状	ここをご確認ください	ページ
UP300/UP300x の操作ができない	電源スイッチが「HOLD」に入っていないかを確認してください。	—
液晶パネル上に点灯したまま、もしくは点灯しない点（ドット）がある	カラー液晶パネルは特性として、表示面上に輝点（点灯したままの点）や、減点（点灯しない点）がある場合があります。これは故障あるいは不良ではありません。	—
レンズの中が光って見える	斜め後ろに明るい光源があると、中のミラーが光って見えることがあります。	—
画面が切り替わったときに、前の画面が残って見える	使用している液晶パネルの特性として、まれに画面が切り替わったときなどに前の画面が残って見えることがあります。故障ではありません。	—
USB で接続するとデジタルイメージングデバイスとして認識される	UP300/UP300x をパソコンに接続した場合、まれにデジタルイメージングデバイスとして認識されることがあります。デバイスマネージャで誤認識したデバイスを削除し、再度 UP300/UP300x を認識させてください。	—
UPlink ソフトまたは Windows Media Player で転送中にソフトが動かなくなる	一度 USB を抜き差しして、再度実行してください。	—

別売専用リモコン（MC-UP1）関連

症状	ここをご確認ください	ページ
キーが反応しない	電池が消耗していないか確認してください。	P.84
	電池が正しく装着されているか確認してください。	P.84
	日中の屋外のような明るいところでは、リモコンの赤外線が届かず反応しないことがあります。	P.84
	リモコン発光部をリモコン受光部に正しく向けてください。	P.84

エラーメッセージ一覧

1/6

再生全般

メッセージ	意味	対処法
ファイルが登録されていません	再生する動画 / 音楽 / 写真コンテンツが本製品に転送されていません。	[movie]、[music]、[photo] は Windows Media Player を使ってコンテンツを転送してください。 [UP download]、[podcast] は UPlink ソフトを使って番組 / コンテンツを転送してください。
ファイルが壊れています	動画 / 音楽 / 写真ファイルが壊れています。	
スライドショーを開始できませんでした	スライドショーで表示しようとした画像ファイルが壊れているか対応していないファイルです。	- Windows Media Player ではなく Explorer からファイルを転送すると、適切なフォーマットに変換されずに転送されることがあります。Windows Media Player を使ってを転送してください。 - ファイルが壊れていないかパソコンで再生するなどして確認してください。
ファイルが大きすぎるため読み込めません	画像ファイルが本製品で表示できる最大の大きさを超えています。	
サポートされていないファイル形式です	再生する動画 / 音楽 / 写真コンテンツが、本製品で再生できないフォーマットです。	
フォルダ選択中はサムネイル変更はできません	フォーカスがフォルダにあたっているためサムネイル変更を実行できません。	サムネイルを変更したい動画ファイルを選択してから実行してください。

AV-in

メッセージ	意味	対処法
ビデオ信号が検出できません	正しい映像信号が入力されていません。	- 接続を確認してください。 - 再生機器で映像出力する設定かを確認してください。 - 正しい AV ケーブルを使用しているか確認してください。 - ビデオ信号が NTSC か確認してください。

エラーメッセージ一覧

2/6

DRM

メッセージ	意味	対処法
ライセンス情報がありません	著作権保護されたコンテンツに適切なライセンスがないか、視聴期限を越えています。	- Windows Media Player で転送したファイルの場合は、適切なライセンスがパソコンにあるか確認してください。 - UPlink ソフトで転送した番組の場合、UP 本体で直接ダウンロードした番組の場合、UP stream の番組の場合は番組の視聴期限を確認し、問題がない場合は最終ページに記載されている UP カスタマーサポートセンターまで連絡してください。
このファイルは著作権保護により制限されているため実行できません	著作権保護がかかっている動画ファイルは、サムネイルを変更することができません。	—

UP リンク

メッセージ	意味	対処法
UP リンクサーバーにお使いの UP を登録してください	本製品がエントリーされていないため、UP リンクサーバーに接続できません。	UPlink ソフトからエントリーしてください
UP リンクサーバーにログインできませんでした	UP リンクサーバーへの接続認証に失敗しました。	- 正しくエントリーがされていない可能性があります。再度エントリーしてください。 - UP リンクサーバーで、お使いの機器が無効化されている可能性があります。最終ページに記載されている UP カスタマーサポートセンターまで連絡してください。
購読中の番組がありません	[UP stream] で、再生する番組が UP リンクサーバーに登録されていません。	UPlink ソフトから、チャンネルの購読設定をしてください。
購入済の番組がありません		

エラーメッセージ一覧

3/6

メッセージ	意味	対処法
ネットワークが異常なため番組情報を取得できませんでした	UP リンクサーバーからの番組情報の取得に失敗しました。	- 無線 LAN の接続を確認してください。 - 電波が弱い場合はアンテナの近くに移動する、遮蔽物を避けるなどの対処をしてください。
取得できなかった番組情報があります	UP リンクサーバーからの番組情報の取得に一部失敗しました。	
ネットワークが異常なため再生できませんでした	[UP stream] で、番組の動画データの取得に失敗しました。	
ネットワークが異常なため再生を中止します		
ネットワークが異常なためダウンロードを中止します		
ネットワークが異常なためレーティング情報を送信できませんでした	[UP stream] 再生後に、レーティング情報のアップロードに失敗しました。	
無線 LAN が切断されたため再生できませんでした	[UP stream] で、番組の動画データの取得に失敗しました。	- 無線 LAN の接続を確認してください。 - 電波が弱い場合はアンテナの近くに移動する、遮蔽物を避けるなどの対処をしてください。 - アクセスポイントが正常に動作しているか確認してください
無線 LAN が切断されたため再生を中止します		
無線 LAN が切断されたためレーティング情報を送信できませんでした		
無線 LAN が切断されたため番組情報を取得できませんでした	UP リンクサーバーからの番組情報の取得に失敗しました。	
無線 LAN が切断されました。ダウンロードを中止します	[UP download] で、番組の動画データの取得に失敗しました。	

エラーメッセージ一覧

4/6

メッセージ	意味	対処法
ディスクがいっぱいのため番組情報を取得できませんでした	ディスクがいっぱいのため、ダウンロードした番組情報を書き込むことができませんでした。	UPlink ソフトあるいは Windows Media Player で、不要なファイルを削除してください。
すべての番組を削除しても空き容量が不足しています	番組をダウンロードして保存できるだけの空き領域がありません。	
削除可能な番組がありません。 PC から不要なファイルを削除してください		
ディスクがいっぱいのためダウンロードを中止します		
この番組はタイムサーチ出来ません	この番組はタイムサーチの実行が禁止されています。	1 倍速で再生してください。
この番組は AB リピート出来ません	この番組は A-B 間リピートの実行が禁止されています。	
番組がダウンロードされていません	[UP download] で、番組がひとつも登録されていません。	• UPlink ソフトで視聴する番組をダウンロードし、本製品に転送してください。 • 番組を UP リンクサーバーからダウンロードしてください。

USB

メッセージ	意味	対処法
転送したデータを整理しています	Uplink ソフト、Windows Media Player で転送されたコンテンツ / 番組を整理しています。	電源を切らずにこのメッセージが消えるまでお待ちください。

エラーメッセージ一覧

5/6

UP web

メッセージ	意味	対処法
ディスクがいっぱいになりました。ダウンロードを中止します	[UP web] でファイルをダウンロード中にディスクがいっぱいになりました。	UPlink ソフトあるいは Windows Media Player で、不要なファイルを削除してください。
ディスクがいっぱいのためダウンロードできません	[UP web] で、ファイルをダウンロードで きだけの充分な空き容量がありません。	
同名のページが登録されています。上書きして良いですか？	登録されているのと同じ名の Web サイトを bookmark に登録しようとしています。	上書きしていい場合は上書きしてください。上書きしたくない場合は、UPlink ソフトで bookmark 情報を変更した後で再度登録してください。
同名のファイルが存在します。上書きして良いですか？	ダウンロードしようとしているファイルと 同じ名前のファイルが存在します。	上書きしていい場合は上書きしてください。上書きしたくない場合は、パソコンに USB で接続し、ファイル名を変更する、パソコンにコピーするなどの対処をしてください。
登録できるページは最大 64 です	登録できる bookmark 数の上限を超えています。	UPlink ソフトで bookmark を整理した後、再度登録してください。
ブックマークが選択されていません	bookmark を選択せずに削除を実行しよう としています。	削除する bookmark を先に選択してください。
ブックマークが登録されていません	bookmark に登録されていないため、移動 する Web サイトを選択できません。	UPlink ソフトで、あらかじめ bookmark を登録してください。
このページは登録できません	bookmark に登録できないサイトです。	エラーページや空白のページは登録できません。

エラーメッセージ一覧

6/6

無線 LAN

メッセージ	意味	対処法
アクセスポイントが見つかりませんでした	アクセスポイントがひとつも見つかりませんでした。	- 電波状態を確認し、アクセスポイントに近づく、遮蔽物を避けるなどの対処をしてください。 - 非通知設定されたアクセスポイントに接続したい場合は、UPlink ソフトであらかじめ UP 本体に登録してください。
接続できませんでした。ID とパスワードを再入力しますか？	ログイン ID、パスワード、暗号キーなどが間違っています。	UPlink ソフトから、接続したいアクセスポイントの設定を確認してください。
接続できませんでした。キーを再入力しますか？		
WEP キーが正しくありません		
接続に失敗しました。もう一度アクセスポイントを検索しますか？(いいえ、で WEP キー入力)		
ID もしくはパスワードが正しくありません	登録できるアクセスポイント数の上限を超えています。	UPlink ソフトで不要な無線 LAN 設定を削除した後で、再度接続してください。
このアクセスポイント情報は、最大登録数を超えているため登録されません		

その他

メッセージ	意味	対処法
一時間毎に休憩するようにして下さい。使用を終了しますか？	使用開始から一時間経過しました。	目の健康のために一時間ごとに休憩を取るようにしてください。
異常な温度を検出しました。シャットダウンします	正しく動作する温度を超えました。	電池を取り外し、温度が下がってから再度電源を入れてください。

主な仕様

型番	UP300 / UP300x
表示	LCD 0.44 型 透過型 LCOS 640x480x3 画素、1677 万色
レンズ	密着複層型 DOE 接眼レンズ 視野角約 24°
スピーカーユニット	密閉ダイナミック型 再生周波数帯域 3 ～ 25,000Hz
入力端子	マルチコネクター端子
電源	アルカリ単 3 形電池× 2 本 リチウム単 3 形電池× 2 本 ニッケル水素単 3 形充電電池× 2 本
記憶媒体	内蔵フラッシュメモリー： 4 GB(UP300)/ 8 GB(UP300x) *1
対応フォーマット	動画：MPEG1、MPEG2、WMV9 (DRM10 対応) 音声：MP3 *2、WMA9 (DRM10 対応)、AAC *2 静止画：JPEG その他：SWF (Flash Player 7 相当対応)
インターフェース	Hi-Speed USB
無線 LAN	通信規格：802.11b/g 到達距離：20m(見通し距離) *3 変調方式：DS-SS/OFDM セキュリティ：WEP(64、128bit)/TKIP/AES 使用周波数帯：2.4GHz アクセス方式：インフラストラクチャーモード
プロトコル	MTP
ビデオ入力	映像：NTSC 1Vp-p 75 Ω 音声：500mVrms 47k Ω

Web ブラウザー	HTML：HTML4.01、フレーム対応、JavaScript、 SSL(V2、3)、TLS1.0、CSS (2、3) イメージファイル：GIF、Animated GIF、JPG、 BMP、XBM、PNG プロトコル：HTTP1.0、HTTP1.1、FTP Flash：Ver.7
連続再生時間	動画再生：約 120 分 *4 音楽再生：約 270 分 *5
動作環境	使用温度：0 ～ 40℃ 使用湿度：85% 以下 (結露しないこと)
質量	約 385 g (付属電池含む)

- *1: システム領域として 120MB 使用。
- *2: 著作権保護されたファイルは再生できません。
- *3: 通信距離は遮蔽物や天候などにより影響されます。
- *4: 明るさ設定がマニュアル設定で設定値 3、WMV 2Mbps の動画ファイルを再生時。Windows Media DRM10 で保護されたコンテンツを除きます。
- *5: バックライト非点灯状態、WMA9.2 320Kbps の音声ファイル再生時。Windows Media DRM10 で保護されたコンテンツを除く

仕様中のデータは、すべて常温 (25℃)、付属のバッテリーをフル充電して使用した場合のものです。

UP300/UP300x プリインストールソフトウェアのご使用条件

1. 本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに（株）ニコンまたは第三者の著作権が存在します。
2. 本製品には（株）ニコン自身が開発もしくは作成したソフトウェアが含まれており、これらのソフトウェアおよびそれに付帯したドキュメント類には（株）ニコンの著作権が存在し著作権法、国際条約条項およびその他の準拠法により保護されています。これら（株）ニコン自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。
3. （株）ニコンよりこの製品を取得した場合、上記のソフトウェアコンポーネントを除き、この製品のソースコードを（株）ニコンより取得することが可能となります。

これに関する（株）ニコンの連絡先は以下です。

UP カスタマーサポートセンター：ナビダイヤル **0570-02-2125** 営業時間：9:30 ～ 18:00（年末年始、夏期休業等を除く毎日）
携帯電話、PHS、IP 電話などをご使用の場合は、03-5977-7348 におかけください。

4. ソースコードは無償で提供されますが、ソースコード提供にかかるメディア費などの実費は（株）ニコンに支払うよう要求される場合があります。ソースコード提供の申し出は、（株）ニコンの製品を取得した日付から 3 年間有効です。

ソフトウェア製品名	適用される使用条件
MPEG オーディオ、AAC デコーダ MPEG2 ビデオデコーダ MPEG2 デマルチプレクス (UP300/UP300x 本体にプリインストール)	本使用説明書に記載されている「U300/U300x で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント原文（英語）Exhibit A」を参照願います。
MPEG オーディオデコーダ (UP300/UP300x 本体にプリインストール)	本使用説明書に記載されている「U300/U300x で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント原文（英語）Exhibit B」を参照願います。
上記以外のソフトウェア製品	本製品に添付されている、ソフトウェアのご使用条件を参照願います。

U300/U300x で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント原文（英語） 1/9

Exhibit A

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.

51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software—to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

はじめに	第 1 章 : UP300/UP300x の装置方法	第 2 章 : 基本的な使用方法	第 3 章 : 動画を見る	第 4 章 : 音楽を聴く	第 5 章 : 写真を見る	第 6 章 : Web ページを開覧する	第 7 章 : 外部再生機器と接続する	第 8 章 : 便利な機能
------	-------------------------------	---------------------	------------------	------------------	------------------	-------------------------	------------------------	------------------

U300/U300x で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント原文 (英語) 2/9

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

- a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making

modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular

はじめに	第 1 章 : UP300/UP300x の装置方法	第 2 章 : 基本的な使用方法	第 3 章 : 動画を見る	第 4 章 : 音楽を聴く	第 5 章 : 写真を見る	第 6 章 : Web ページを開覧する	第 7 章 : 外部再生機器と接続する	第 8 章 : 便利な機能
------	-------------------------------	---------------------	------------------	------------------	------------------	-------------------------	------------------------	------------------

U300/U300x で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント原文 (英語) 3/9

circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF

ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<One line to give the program's name and a brief idea of what it does.>

Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

U300/U300x で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント原文（英語） 4/9

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989 Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

Exhibit B

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc. 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

はじめに	第 1 章 : UP300/UP300x の装置方法	第 2 章 : 基本的な使用方法	第 3 章 : 動画を見る	第 4 章 : 音楽を聴く	第 5 章 : 写真を見る	第 6 章 : Web ページを開覧する	第 7 章 : 外部再生機器と接続する	第 8 章 : 便利な機能
------	-------------------------------	---------------------	------------------	------------------	------------------	-------------------------	------------------------	------------------

U300/U300x で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント原文（英語）5/9

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom

and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a"work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs(which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your

はじめに	第 1 章 : UP300/UP300x の設置方法	第 2 章 : 基本的な使用方法	第 3 章 : 動画を見る	第 4 章 : 音楽を聴く	第 5 章 : 写真を見る	第 6 章 : Web ページを開覧する	第 7 章 : 外部再生機器と接続する	第 8 章 : 便利な機能
------	-------------------------------	---------------------	------------------	------------------	------------------	-------------------------	------------------------	------------------

U300/U300x で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント原文（英語） 6/9

option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) The modified work must itself be a software library.
- b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
- d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the

notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code

はじめに	第1章： UP300/UP300xの装置方法	第2章： 基本的な使用方法	第3章： 動画を見る	第4章： 音楽を聴く	第5章： 写真を見る	第6章： Web ページを開覧する	第7章： 外部再生機器と接続する	第8章： 便利な機能
------	---------------------------	------------------	---------------	---------------	---------------	----------------------	---------------------	---------------

U300/U300x で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント原文（英語）7/9

for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

- a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
- b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2)will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
- c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
- d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
- e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is

normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

- a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
- b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this

はじめに	第 1 章： UP300/UP300x の装置方法	第 2 章： 基本的な使用方法	第 3 章： 動画を見る	第 4 章： 音楽を聴く	第 5 章： 写真を見る	第 6 章： Web ページを開覧する	第 7 章： 外部再生機器と接続する	第 8 章： 便利な機能
------	------------------------------	--------------------	-----------------	-----------------	-----------------	------------------------	-----------------------	-----------------

U300/U300x で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント原文（英語） 8/9

License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and"any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for

permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the"copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>

U300/U300x で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント原文（英語） 9/9

Copyright (C) <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library 'Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990

Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

索引

1/4

A

A-B 間リピート再生	42, 57
AAC 形式	47, 53
ActiveX コントロール	75
AES	22
AV-in	77
AVI 形式	26
Back キー	6
BGM	47, 51, 68
BGM 選択	68
DVD プレイヤー	77
FireFox	70
Flash Player	70
ID	24
Internet Explorer	70
iPod	77
JavaScript	75
JPEG 形式	61
MC-UP1	16, 84

Menu キー	6
movie	20, 26, 27, 29, 39
MOV 形式	26
MP3 形式	47, 53
MPEG1 形式	37
MPEG2 形式	37
MPEG 形式	26
music	20, 47, 51
NTSC 形式	77
OK キー	6
Opera	70
PAL	77
photo	20, 61
Play キー	6
podcast	20, 26, 37, 38, 39, 53
SECAM	77
SSID	23, 24
TKIP	22

Uplink ソフト	20, 22, 31, 35, 37, 70
UP リンク	2, 30
UP リンクサーバー	2, 31
UP download... ..	20, 26, 30, 31, 39
UP stream	20, 26, 30, 31, 35, 36, 39
UP web	20, 70
UP web を終了する	74
WEP	22
WEP キー	24
Windows Media Player	2, 20, 26, 27, 48, 62
WMA9 形式	53
WMA 形式	47
WMV9 形式	26
WMV 形式	37

あ

アーティスト	51, 52, 55
アーム	6
アームサイン	6, 19, 21

索引

2/4

アームジョイント.....	6
アームユニット.....	45
アクセス方法	22
アルバム	51, 52, 55, 68
アルバムアート.....	55
イコライザー	15, 39, 43, 55, 58
一時停止	29, 34, 35, 36, 38, 51, 54
一時停止しない.....	45
一時停止する	45
一曲リピート	58
一般設定	13, 18, 82
移動.....	74
イヤープッド	6
インフラストラクチャーモード.....	22
映像設定	79
エボルタ乾電池.....	9
オーディオビデオケーブル EG-UP1	77
オーディオビデオケーブル EG-UP2	77

オートパワーオフ.....	82
オープニング画面.....	80
オキシライド乾電池	9
音楽再生設定	58, 68
音声切り換え	44
音声設定	81
音量	15, 39, 55, 67, 71
音量調整の表示時間	79
音量の上限	81

か

画像表示設定	75
画像ファイル名.....	67
カテゴリ	32, 34, 36
カテゴリ名	34, 36
画面タイトル	15
キーガイド	15, 39, 55, 67, 71
利き目	11
輝度調節	17
警告画面	10

言語	83
現在の再生時間.....	39, 55
公衆無線 LAN.....	22
更新・停止	74
購入する	52
コントラスト調整.....	79

さ

サーチ	40, 56
サーチ終了	40
最後に再生したファイル... ..	29, 51, 52
最新番組の確認.....	33
再生.....	29, 33, 34, 35, 38, 51, 54
再生時間	34, 36
削除.....	73, 75
サムネイル	33, 34, 35, 36
サムネイル画像の変更	41
色調調整	79
視聴期限	33, 34, 35, 36
視度調節ダイヤル.....	6, 12

索引

3/4

写真表示設定	56, 66
ジャンル	51, 52, 55
主音声	44
主音声 + 副音声	44
準拠規格	22
詳細設定	75
ジョグ：縦	72
ジョグ：横	72
ジョグダイヤル	6, 16, 18
スキップ	40
スクロールバー	67, 71
進む	74
ステータスサイン	79
ステータスバー	71
ストリームサーチ	40
スピーカー	6
すべての写真	66
スライダー	6
スライドショー	56, 66
スリープ状態	10

セキュリティ	22
全曲リピート	58
操作音	81
総時間	33, 35, 39, 55

た

タイトル	39, 55
タイムサーチ	41
単 3 形アルカリ電池	9
単 3 形リチウム電池	9
チャプター送り	40
チャンネル	32, 33, 35
チャンネル番号	33, 35
チャンネル名	33, 35
追加	73
停止	29, 66
ディスプレイ	6
ディスプレイウィンドウ	6
ディスプレイジョイント	6
ディスプレイの明るさ	79

ディスプレイパッド	6
電源スイッチ	6, 10
電源ランプ	6
電池残量	15, 39, 55, 67, 71
電池設定	9, 82
電波強度	15, 39, 71
動画表示設定	39, 43, 44, 45
時計	15, 55, 67, 71
トップサイン	21
トラック番号	55

な

並べ換え	29, 34, 36, 38, 54, 66
------------	------------------------

は

バージョン情報	83
背景光センサー & トップサイン	6
パスワード	13, 24
パスワードの設定	10
パスワードの変更	13, 83
バッテリー	8

バッテリー室カバー	6, 9	ホームページ	75	文字コード	75
バッテリー室カバー開閉ノブ	6, 9	ポジションスイッチ	6, 11	文字サイズ	74
バッテリーチャージャー	8, 9	ボリュームスイッチ	6, 17	戻る	34, 35, 36, 38, 51, 66, 74
番組一覧	34, 36				
番組の説明	33, 34, 35, 36				
番組名	33, 35				
左へ / 戻る	72				
表示サイズ	39, 44				
表示幅	75				
開く	73				
ファイルのダウンロード	72				
フィットナビゲーター	10, 12, 80				
フォーカスの移動	72				
フォルダの階層	64				
副音声	44				
ブックマーク	73				
プレイリスト	51, 52, 68				
プログレスバー	39, 55				
ヘッドパッド	6				
ヘッドバンド	6, 45, 59				

カスタマーサポートについて

製品の使い方と修理に関するお問い合わせ

<UPカスタマーサポートセンター>



市内通話料でOK[®]
ナビダイヤル[®]

☎ 0570-02-2125

市内通話料金でご利用いただけます

営業時間:9:30～18:00(年末年始、夏期休業等を除く毎日)

携帯電話、PHS、IP電話等をご使用の場合は、(03)5977-7348におかけください。

修理サービスのご案内

修理サービスのご案内を下記URLにて行っております。

<http://www.upxup.jp/support/>

<インターネットをご利用できない方の修理品送り先>

(株)ニコン イメージング ジャパン 修理センター UP係

〒230-0052 横浜市鶴見区生麦2-2-26 電話:(045)500-3050

営業時間:9:30～17:30(土、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業など弊社定休日を除く毎日)

● 修理センターではご来所の方の窓口がございません。送付のみの対応となりますのでご了承ください。

株式会社 **ニコン**

株式会社 **ニコン イメージング ジャパン**

© 2008 Nikon Corporation

SB8K01(10)
6MUA0110-01